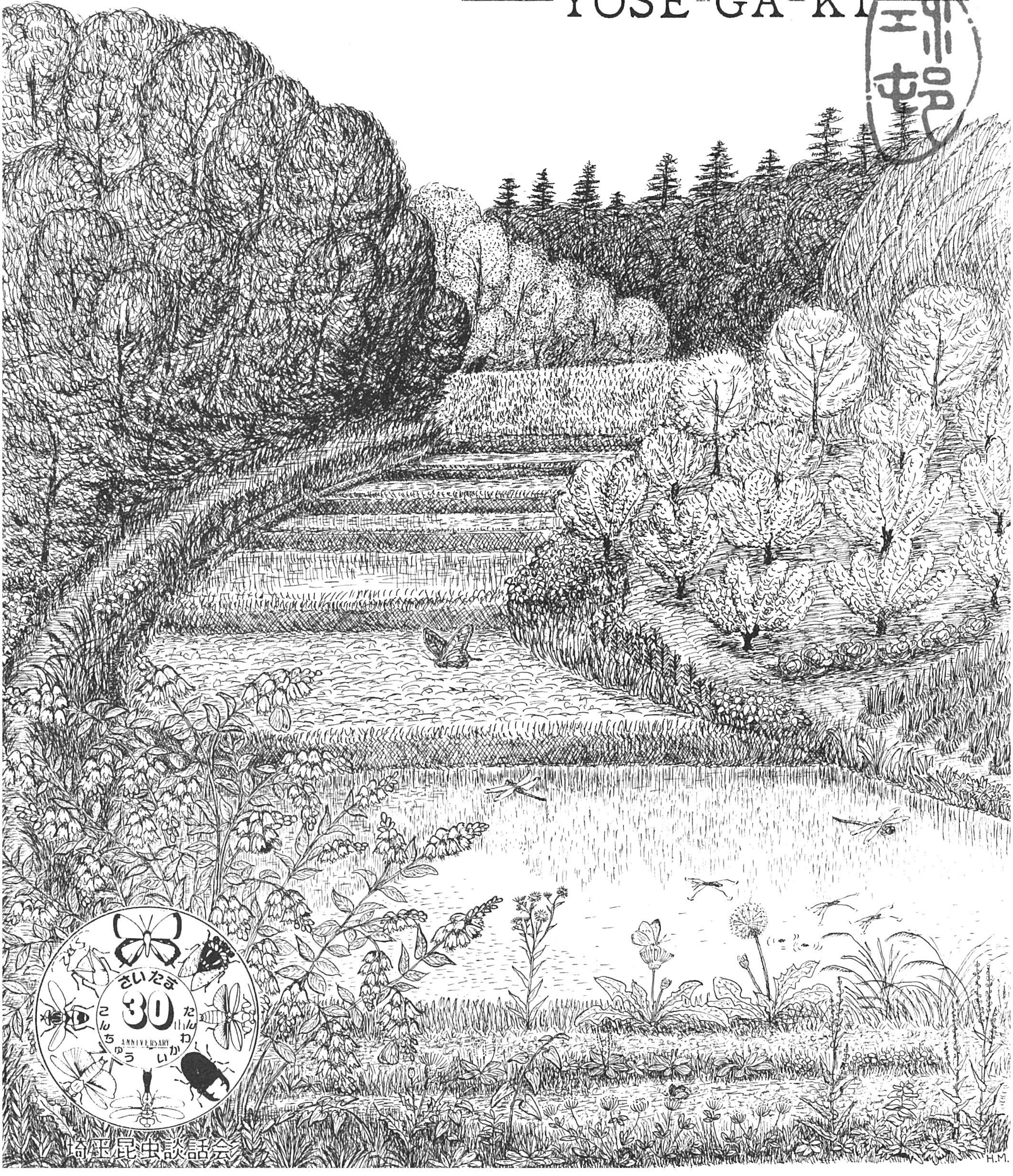
ISSN 0917-5695

No.72 1994.6.30

寄せ蛾記

—YOSE-GA-KI—



埼玉昆虫談話会

初 夏 の 谷 津 田

滑川町にて.　1994年5月29日　　　松井 英子

身のまわりの草や木や虫たちは饒舌です。
彼らのそのことばをききとれる感覚を
いつまでも失わないようにしたいものです。
小さい頃は，みんなできたことですから。

表紙原画：松井 英子
デザイン：小堀 文彦

群馬県赤城山山頂部のミバエ科（1）

（電撃殺虫器による）

Fruitflies caught in fluorescent light trap on
Mt. Akagi, Central Honshu, Japan.

伊藤 修四郎（奈良県生駒郡斑鳩町）・玉木 長寿（埼玉県入間郡毛呂山町）

はじめに

著者の一人，玉木は，かねてその双翅類相に興味を持ち，調査していた赤城山山頂部（ここでは海抜高約1350m程に在る大沼を中心とし，ほぼ外輪山に囲まれる地域を謂う）に於いて，1986～1990年の5年間（毎年ほぼ5～10月），大沼湖畔の2軒の旅館・山荘の主人等の御好意と協力により，それぞれの屋内に各1個設置されていた「電撃殺虫器」（15W蛍光灯2灯，高圧電流を通した裸線と，落下する昆虫を受ける貯槽との組み合わせによる防除器具）に集まった多数の昆虫群の提供を受けられる様になった為に，採集される双翅類の種，個体の数も飛躍的に増加し，捕虫網では採集困難であった種や，未記録のものなどもその中に多く含まれる様になった。その装置及び設置場所の概要と，ミズアブ科，キアブモドキ科，シギアブ科，ムシヒキアブ科については既に発表した（Nagatomi, A. and Tamaki, N.: Stratiomyiidae, Xylomyidae, Rhagionidae and Asilidae Caught in light trap on Mt. Akagi, Central Honshu, Japan. Jpn. J. Ent., 58(3):563-572, fig.1-8, 1990）が，今回ここで報告するミバエ科では，特に他の採集方法では仲々標本が得られなかったハマダラミバエ亜科の種は，その種数，内容，個体数とも，一死火山山頂部の限られた地域での成果としては，瞠目すべきものがあるのではないかと思われる。これらの器具による採集品に，それ以前からの捕虫網による若干の標本を加えた標本群の内，著者の一人，玉木によって分類，抽出された標本は，他の一人，伊藤によって同定され，ひと先ずその結果を，計2亜種，30属，38種，870頭の目録にまとめ，ここに報告する。

次に記録する目録の中には，明らかに新種と考えられる1種（No.7，伊藤によって図示，記載されるが，今回は命名されない）や；ニューギニアから記載された属で，頭部が円く，翅は無斑，肘脈（cu）にも刺毛列がある奇妙な特徴の日本初記録属の1種（No.23）；本州からはじめて記録される1種（No.11）；♂の前額部に得意な角状突起のある種を含み，従来は採集記録が少なかった*Vidalia*属（No.28～31）については，かなりの個体数が得られたことによって，変異の幅の認識に役立ち，新シノニムとして種小名を整理したもの2種（No.28～29）；♂の触角第2節に強く前出する突起を具える1種（No.2）などが記録され，また，原記載にも図示がなかったが，伊藤によって，本稿ではじめて図示されるNo.29の♀の頭部図，左翅を除く体背面図，及び♂頭部図，No.27の右翅図。玉木によってはじめて紹介されるNo.28～29の♂標本の全体側面写真などが掲載される。

これらによって，地域の昆虫相の解明に少しでも前進があれば著者等の幸いとする所である。

記述に先立ち，電撃殺虫器に集まった昆虫群の提供を頂くなど，一方ならぬ御協力を頂いた大沼湖畔の「高原荘・今西」の今西章次郎，「みやま山荘」の田中忠雄の両氏に対し，心から御礼を申し上げる。

目録の記述法

1．採集データの内，略号で記したものは，「電撃殺虫器」による採集品で，略号の内容は4項の略号表（表1）の通り。地名で記したものは捕虫網による採集品。
2．採集データの内，※印を附した部分は，「多分，その種に該当する」ことを，また，分布域名の後に§印のあるものは，それが追加される地域であることを示す。
3．特別なものについては，伊藤による記載，又は図示，共著による解説と，玉木による写真掲載を行った。
4．電撃殺虫器による採集データの略号表（表1）
5．捕虫網による採集者は玉木長寿。
本目録に収録された標本のすべては玉木の手元に保管されている。

表1　略号表

M		I	
採集場所：みやま山荘 採集者　：（M－Ⅰ－1）玉木長寿 （　その他　）田中忠雄		採集場所：高原荘・今西 採集者　：今西章次郎	
略号	採集期間	略号	採集期間
M－Ⅰ－1	中旬.Ⅴ. ～ 3.Ⅷ.1986		
M－Ⅰ－2	3 ～ 31.Ⅷ.1986		
M－Ⅰ－3	1 ～ 30.Ⅸ.1986	Ⅰ－Ⅰ－1	1.Ⅷ. ～ 30.Ⅸ.1986
M－Ⅱ－1	Ⅴ. ～ 6.Ⅵ.1987	Ⅰ－Ⅱ－1	Ⅴ. ～ 7.Ⅵ.1987
M－Ⅱ－2	7.Ⅵ. ～ 2.Ⅶ.1987	Ⅰ－Ⅱ－2	7.Ⅵ. ～ 2.Ⅶ.1987
M－Ⅱ－3	3.Ⅶ. ～ 1.Ⅷ.1987	Ⅰ－Ⅱ－3	3.Ⅶ. ～ 1.Ⅷ.1987
M－Ⅱ－4	2 ～ 29.Ⅷ.1987	Ⅰ－Ⅱ－4	2 ～ 29.Ⅷ.1987
M－Ⅱ－5	29.Ⅷ. ～ 30.Ⅸ.1987	Ⅰ－Ⅱ－5	29.Ⅷ. ～ 30.Ⅸ.1987
M－Ⅱ－6	1.Ⅹ. ～ 3.Ⅺ.1987	Ⅰ－Ⅱ－6	1.Ⅹ. ～ 3.Ⅺ.1987
M－Ⅲ－1	Ⅴ. ～ 4.Ⅵ.1988	Ⅰ－Ⅲ－1	Ⅴ. ～ 4.Ⅵ.1988
M－Ⅲ－2	5 ～ 30.Ⅵ.1988	Ⅰ－Ⅲ－2	5 ～ 30.Ⅵ.1988
M－Ⅲ－3	1.Ⅶ. ～ 2.Ⅷ.1988	Ⅰ－Ⅲ－3	1.Ⅶ. ～ 2.Ⅷ.1988
M－Ⅲ－4	3.Ⅷ. ～ 2.Ⅸ.1988	Ⅰ－Ⅲ－4	3.Ⅷ. ～ 2.Ⅸ.1988
M－Ⅲ－5	3.Ⅸ. ～ 2.Ⅹ.1988	Ⅰ－Ⅲ－5	3.Ⅸ. ～ 2.Ⅹ.1988
M－Ⅳ－1	5 ～ 30.Ⅵ.1989	Ⅰ－Ⅳ－1	5 ～ 30.Ⅵ.1989
M－Ⅳ－2	1 ～ 31.Ⅶ.1989	Ⅰ－Ⅳ－2	1 ～ 31.Ⅶ.1989
M－Ⅳ－3a	1 ～ 14.Ⅷ.1989		
M－Ⅳ－3b	15 ～ 31.Ⅷ.1989	Ⅰ－Ⅳ－3	1 ～ 31.Ⅷ.1989
M－Ⅳ－4	1 ～ 30.Ⅸ.1989	Ⅰ－Ⅳ－4	1 ～ 30.Ⅸ.1989
M－Ⅴ－1	Ⅴ. ～ 2.Ⅵ.1990	Ⅰ－Ⅴ－1	Ⅴ. ～ 2.Ⅵ.1990
M－Ⅴ－2	3.Ⅵ. ～ 5.Ⅶ.1990	Ⅰ－Ⅴ－2	3.Ⅵ. ～ 5.Ⅶ.1990
M－Ⅴ－3	6.Ⅶ. ～ 8.Ⅷ.1990	Ⅰ－Ⅴ－3	6.Ⅶ. ～ 8.Ⅷ.1990
M－Ⅴ－4	9 ～ 31.Ⅷ.1990	Ⅰ－Ⅴ－4	9 ～ 31.Ⅷ.1990
M－Ⅴ－5	1.Ⅸ. ～ 5.Ⅹ.1990	Ⅰ－Ⅴ－5	1.Ⅸ. ～ 5.Ⅹ.1990
M－Ⅴ－6	6.Ⅹ. ～ 1.Ⅺ.1990	Ⅰ－Ⅴ－6	6.Ⅹ. ～ 1.Ⅺ.1990

群馬県赤城山山頂部のミバエ科目録

Tephritidae ミバエ科

I. Trypetinae　ハマダラミバエ亜科

1．*Acrotaeniostola scutellaris* (Matsumura, 1916)　ナツササハマダラミバエ

地蔵岳西側草原，3.Ⅷ.1986，1♂；大洞，14.Ⅷ.1988，2♀；M-Ⅲ-3，1♀；M-Ⅲ-4，2♀〔計1♂，5♀（内，捕虫網採集1♂，2♀）〕　夏期にササの葉に集まる種。

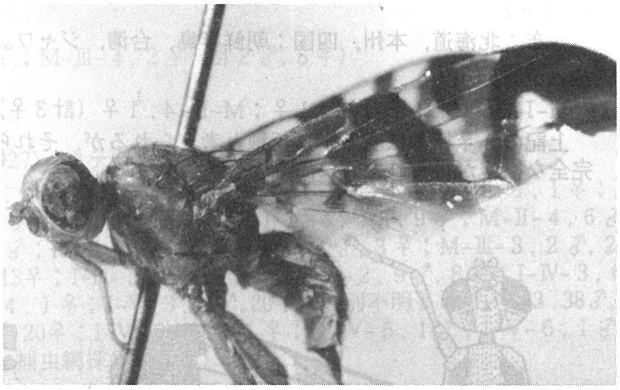
分布：北海道，本州，四国，九州，沖縄；朝鮮半島。

2．*Aischrocrania jucunda* Ito, 1972　ヒゲツノハマダラミバエ

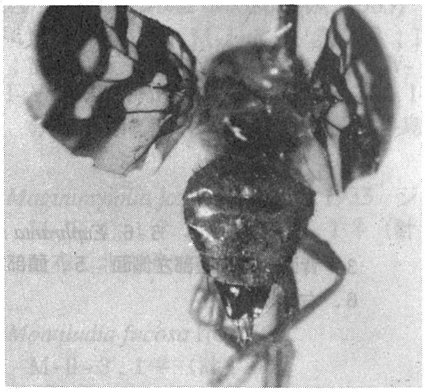
関東地方初記録。稀種。

M-Ⅴ-4，1♀（計1♀）（写真1，2）

この種の♂は，触角第2節内縁に強い角状突起と，第1節先端に1，第2節上節に若干数の強大な剛毛を具える。♀の触角にはこの様な突起や剛毛はないが，第5，6腹部背板の両側縁に各1個の暗褐色小斑を具え，産卵管の基部環節は黒褐色。



1



2

1-2．*Aischrocrania jucunda* Ito，♀
1．左側面　　2．後背面

分布：北海道，本州。

3．*Alsangelisca takeuchii* (Ito, 1951)　シシウドハマダラミバエ

M-Ⅱ-4，1♂；M-Ⅲ-4，2♂，1♀；M-Ⅳ-3b，1♀（計3♂，2♀）

色彩は*Vidalia mica* に似るが，本種ではR5室は翅の外方に向かって徐々に幅広くなる傾向を示す。頭部では単眼剛毛（ｏｃ）はよく発達し，前額眼縁剛毛（ｏｒ）は2：2。

分布：北海道，本州。

4．*Anastrephoides matsumurai* Shiraki, 1933　フタヤマハマダラミバエ

M-Ⅲ-3，1♀；Ⅰ-Ⅳ-2，1♂（計1♂，1♀）　稀種。

分布：北海道，本州。

5．*Angelogelasinus naganoensis* (Shiraki, 1933)

新坂平～鈴ケ岳，3.Ⅷ.1985，1♀；M-Ⅰ-1，1♂；M-Ⅰ-3，2♀；M-Ⅱ-3，1♀；M-Ⅱ-5，2♀；M-Ⅲ-5，1♀；M-Ⅳ-3b，1♂；M-Ⅳ-4，1♀；M-Ⅴ-4，1♀；M-Ⅴ-5，1♀〔計2♂，10♀（内，捕虫網採集1♀）〕

分布：本州，四国，九州。

6．*Erectovena speciosa* (Hendel, 1915)　キバラハマダラミバエ

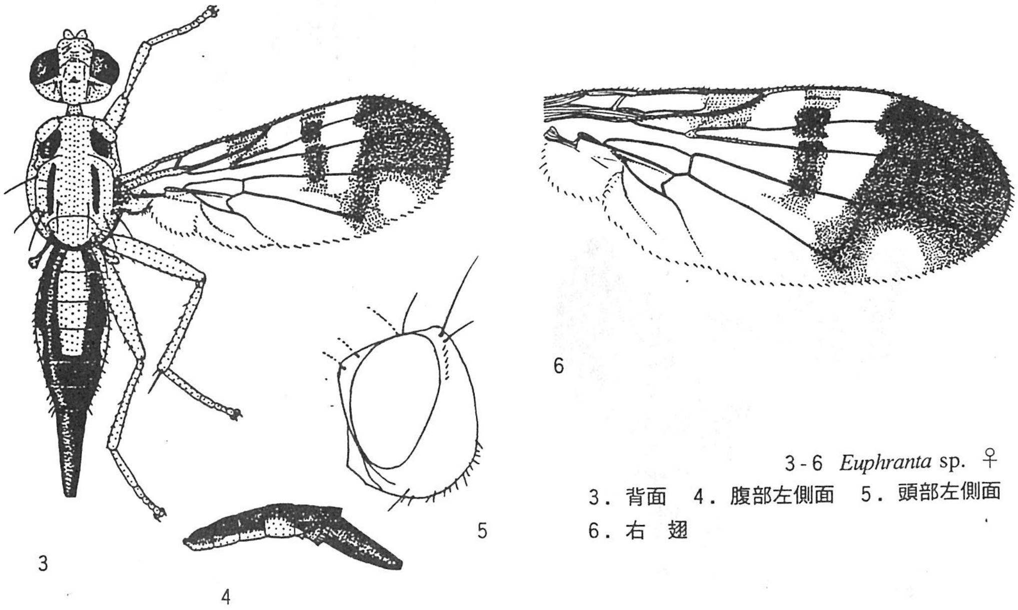
Ⅰ-Ⅰ-1，2♂，2♀；Ⅰ-Ⅱ-4，2♀；Ⅰ-Ⅱ-5，1♂，2♀；Ⅰ-Ⅲ-4，1♂；Ⅰ-Ⅳ-3，2♂（計6♂，6♀）

分布：北海道，本州，四国；朝鮮半島，台湾，ジャワ。

7．*Euphranta* sp.

M-Ⅰ-2，1♀；Ⅰ-Ⅰ-1，1♀；M-Ⅱ-4，1♀（計3♀）（図3-6）

上記の3♀標本は明らかに新種と考えられるが，それらの標本の状態が良くないので，命名は後日完全な標本が得られた時に譲りたい。



3-6 *Euphranta* sp. ♀

3．背面　4．腹部左側面　5．頭部左側面

6．右　翅

♀．頭部は淡黄褐色，前額中央に濃褐色の1小点紋がある。胸部背面は赤黄色，横線前方の側部に大形で円味のある2黒色斑紋と，横線より後方に黒色の2縦条がある。肩瘤と，肩瘤から翅の基部まで走っている上下が狭く黒色に縁取られた1本の線とは白黄色，その下側の黒い縁取りのみは更に伸

びて，と切れと切れながら平均棍基部まで続く。側小楯板の最奥部に１小黒点がある。中胸分割甲は黒色。脚は黄褐色。

翅は大きく，透明，末端の１/４は黒褐色で，IIM2室にのみ後縁に開く透明紋がある。Ｓｃ室とその後方ｒ2+3脈までは黒褐色。ｒ-ｍ横脈上を走る黒褐色の横帯はＣｕ脈には達しない。

腹部は黒褐色，第１-４背板の中央１/３と両側縁は黄褐色。

但し第４背板中央の黄褐色紋は後縁に達せず，後端は狭いながら黒色に縁取られ，側縁の黄褐色紋は幅広くなって後方は第５背板前縁の黄褐色紋に連続する。第６背板と産卵管基部環節は光沢ある黒色で，後者は長円錐形，その長さは腹部末端の３背板の長さの合計に等しい。

体長：産卵管基部環節を含めて９-9.5㎜。翅長：７㎜。

分布：日本（本州）。産地：３♀♀，赤城山（上野（こうつけ）），海抜高1350m，（Ⅷ.1986，１♀，田中忠雄；１♀，今西章次郎；Ⅷ.1987，１♀，田中忠雄・採集），玉木所蔵。

これまで未知であったこの種は，翅の斑紋に於いては，満州産の *Euphranta flavorufa* HERING, 1936（Konowia，15:180-181，図１）に近いが，体の黒色斑紋によって直ちに識別される。体の斑紋に於いては，日本（九州）産の*Euphranta longicauda* SHIRAKI, 1950 キジョランハマダラミバエ（日本昆虫図鑑，第２版，1658頁，図4772）に似るが，本種は次の特徴によって識別される：　第５背板は背中部で黒色で，黄褐色の正中斑を欠く。産卵管の基部環節は腹部自体の長さよりも短い。

（因に，後者のキジョランハマダラミバエは原記載以後は採集記録はない）。分布：本州§。

８. *Hendelina pulla* ITO, 1952

M-II-３，２♂，５♀；M-II-３，１♀；M-III-４，２♀（計２♂，８♀）

分布：本州，四国，九州。

９. *Lenitovena pteropleuralis* (HENDEL, 1927)　タテジマハマダラミバエ

M-I-１，７♂，７♀；M-I-２，２♂，８♀；M-I-３，１♀；I-I-１，15♂，17♀；I-II-１，１♀；I-II-３，10♂，８♀；M-II-３，７♂，８♀；大沼，２.Ⅷ.1986，１♂；I-II-４，４♂，９♀；M-II-４，６♂，５♀；I-II-５，１♂，２♀；M-II-５，１♂；M-II-６，１♀；I-III-３，４♂，３♀；M-III-３，２♂，２♀；I-III-４，15♂，27♀；M-III-４，13♂，13♀；I-IV-２，２♂，２♀；M-IV-２，９♂，８♀；I-IV-３，６♂，12♀；M-IV-３ｂ，８♂，９♀；I-IV-４，１♀；I-V-３，14♂，20♀，性別不明２；M-V-３，38♂，29♀；I-IV-４，６♂，15♀；M-V-４，７♂，20♀；I-V-５，１♂，１♀；M-V-５，１♂；I-V-６，１♂，１♀（計181♂，230♀，性別不明２（内，捕虫網採集１♂））

分布：北海道，本州，四国，九州；ロシア極東部，朝鮮半島，中国。

10. *Lenitovena trigona* (MATSUMURA, 1905)　シラホシハマダラミバエ

M-I-１，１♀；M-I-２，１♂，１♀；I-I-１，１♂；M-II-１，２♀；I-II-２，１♀；M-II-３，１♀；M-III-４，１♀；I-III-４，１♂；I-IV-１，２♀；I-IV-３，１♀；M-IV-３ｂ，１♀；M-V-１，１♀；I-V-２，１♀；I-V-３，１♀（計３♂，14♀）

分布：北海道，本州，九州；朝鮮半島，中国。

11. *Maginimyiolia jozana* SHIRAKI, 1933　ジョウザンハマダラミバエ

M-II-４，１♀；M-IV-３ｂ，１♀（計２♀）　本州初記録。稀種。

分布：北海道，本州§。

12. *Montiludia fucosa* ITO, 1984

M-II-３，１♀（計１♀）

中部山岳地帯産の１♂，３♀により記載された種。分布：本州。

13. *Morinowotome egregia* (ITO, 1953)　モリハマダラミバエ

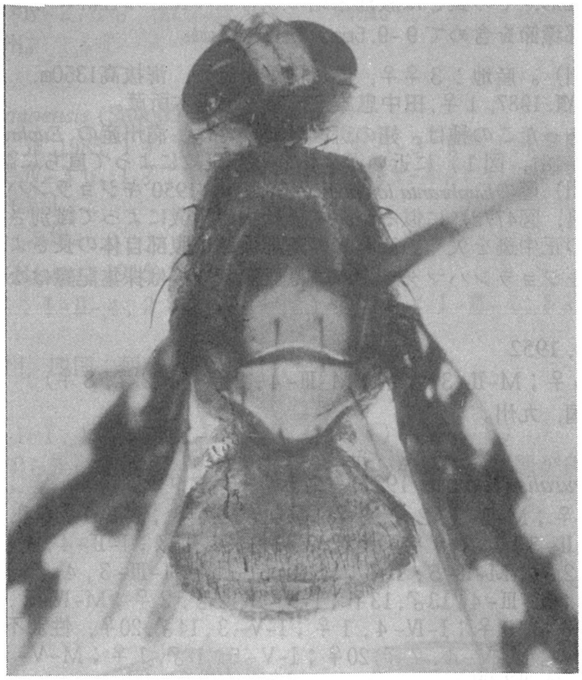
M-I-１，２♀；I-I-１，２♀；M-I-２，１♀；M-II-３，１♀；M-II-４，２♀；M-III-３，１♀；M-III-４，２♀；M-IV-２，６♀；M-V-３，１♀；※I-III-３，１♂（計18♀，※１♂）

分布：北海道，本州。

14. *Nemeurinus leucocelis* Ito, 1984　セジロハマダラミバエ

M-Ⅱ-3，1♀；M-Ⅳ-2，1♂；M-Ⅳ-3，2♀（計1♂，3♀）（写真7）

中胸楯板後部から小楯板背面にかけて，大型，白色の1長卵型斑を具え，また頭部眼縁剛毛（2ors，3ori）はすべて後方へ向かって湾曲する特異な種。



7．*Nemeurinus leucocelis* Ito,　♀（背面）

分布：北海道，本州，九州；千島。

15. *Orienticaelum femoratum* (Shiraki, 1933)　ハシグロハマダラミバエ

M-Ⅰ-2，1♀；Ⅰ-Ⅰ-1，1♂，3♀；M-Ⅱ-3，1♂；Ⅰ-Ⅱ-4，2♀；M-Ⅱ-4，3♂；M-Ⅱ-5，2♂；M-Ⅱ-6，1♀；M-Ⅲ-4，2♀；M-Ⅲ-5，1♂；M-Ⅲ-6，1♀；M-Ⅳ-3b，1♂，2♀；M-Ⅴ-3，1♀；M-Ⅴ-4，2♂，1♀；Ⅰ-Ⅴ-5，1♂；M-Ⅴ-5，1♂，4♀（計13♂，18♀）

分布：本州，四国。

16. *Ortalotrypeta isshikii* (Matsumura, 1916)　イッシキハマダラミバエ

Ⅰ-Ⅱ-5，1♂；M-Ⅲ-4，1♀；Ⅰ-Ⅲ-5，1♂；Ⅰ-Ⅴ-3，1♂；M-Ⅴ-4，1♀（計3♂，2♀）

分布：本州，四国，九州。

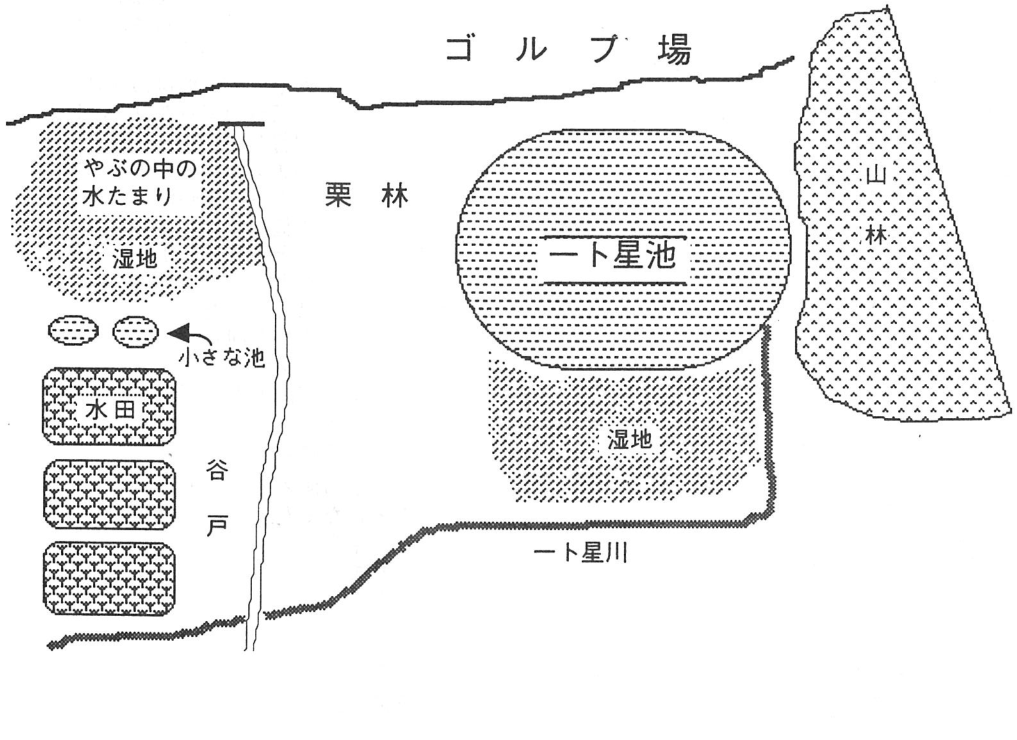
（いとう　しゅうしろう　〒636-01 奈良県生駒郡斑鳩町服部 2丁目 10-6）
（たまきながひさ　〒350-04 入間郡毛呂山町大字前久保 332-122）

皆野町国神一ト星池付近のトンボ

松崎 雄一

埼玉県秩父郡皆野町国神（くにかみ）にある一ト星池（ひとほしいけ）は，皆野の市街の北東，宝登山麓に位置する溜池である。池には，ヒシ，キショウブなどの挺水植物が豊富に見られ，池下には，休耕田と思われる湿地および，一ト星川と呼ばれる小川，また，小川を下って道を隔てたあたりに，小さな谷戸があり，様々なトンボの生息に適している。

周囲の環境はおよそ下図のようになるが，このような環境に生息しうるスタンダード種の大半を見ることができる。



筆者が，当地を初めて訪れたのは，1991年９月20日のことである。現在，池の真上にはゴルフ場あるが，その時，既に，木の伐採が盛んにおこなわれていた。実は，その日，帰りがけに車がぬかるみにハマッてしまい（私の車は４WDではない）作業をしていた人達に手伝ってもらって，やっとの思いで帰路に着くことが出来た，という苦い思い出がある為，翌年は，当地を敬遠して，それから約１年訪れなかった。従って，1992年の４～８月は，調査をしておらず，これが少々悔やまれる。というのも，池の真上のゴルフ場は，去年から今年にかけて営業を開始する準備が進行し，ここのトンボ達の生存も次第に危うくなって来ているからである。

さて，この国神ではどのようなトンボが見られるかというと，まず，第一に挙げなくてはならないのが，オゼイトトンボ *Coenagrion terue* である。

このトンボは，今のところ，県内ではここでしか記録されていない。初めて発見したのは，去年の６月４日で，以来まだ３頭しか見ていない（記録については，月刊むし，及び本誌にても発表済み）。

その他では，県内で記録の少ないオオルリボシヤンマが比較的安定して見られる，というのが特徴といえる。

（１）当地に於けるトンボ類の棲み分け

国神（以降，便宜上こう称する）に於いて，筆者は，1992～93年の間に計46種のトンボを記録しているが（後述参照），それらのトンボはそれぞれ，止水性，流水性，更に，池沼性，湿地性等，好む環境が異なるので，見られる場所が大体決まっている。

例えば，オオルリボシヤンマは，一ト星池に縄張りを持つが，ルリボシヤンマは，谷戸の小池で見られたり，といった具合である。

一ト星池での優先種はギンヤンマである。ここでは，５～10月，つまりトンボの季節中殆ど，本種が占領していると言ってよい。特に，初夏や秋口などは，本種の連結産卵が，一度に数対見られることもしばしばである。

イトトンボ類は，意外と数が少ない。これは，後述するいくつかの理由によると考えられる。池岸に陣取るのは，春ならばコサナエ，夏はシオカラトンボ，秋はアキアカネである。

池下の湿地では，シオヤトンボ，ハラビロトンボ等が優先種。オゼイトトンボが見られるのは，大体ここである。

一ト星川は，春カワトンボ，夏オニヤンマといったところ。谷戸の小池では，春シオヤトンボ，コサナエ，夏オオシオカラトンボといった感じで，これに時折飛来するのが，クロスジギンヤンマ，ルリボシヤンマなどのヤンマ類。特に夏季の夕刻には，マルタンヤンマ，ヤブヤンマ，カトリヤンマ，ミルンヤンマといった黄昏性ヤンマの観察ができる面白い場所である。

（２）観察できた種類

イトトンボ科

１．モートンイトトンボ

初夏の頃に，池下の湿地に発生すると思われる。昨年，国神で碓井徹氏に初めてお会いした時，氏が発見された。湿地の草間に，成熟，未成熟の個体が数頭見られた（1993.７.29）。

２．キイトトンボ

イトトンボの中では数が多い。ジグザグに縫うように飛ぶ姿は可憐である。最近，他の地ではあまり見られず，1992年９月にここで発見した時は，思わず小躍りしてしまった。

主に夏に多く見られ，９月中～下旬に没するが，本年（1994年）は，５月19日に既に１♂を確認している。

３．アジアイトトンボ

春先と秋によく見られ，池岸の植物の間等に潜んでいることが多い。

４．クロイトトンボ

池面で見られるイトトンボは，大体本種である。かと言って，赤穂木池などのように多数が見られる訳でもない。

５．オオイトトンボ

クロイトトンボに混ざって見られるが余り多くはない。♂は鮮やかな水色を呈し，水面を飛ぶときによく目立つ。クロイトトンボと共に，５～９月に出現する。

６．オゼイトトンボ

一ト星池で１♂，下の湿地で１♂１♀を見たのみ。最初の１頭は，いきなりネットインしてしまった為，写真が撮れず，仕方なく，車の中に入れて何かに止らせて写そうとしたが，車の中を飛び回ってダッシュボードの間に入り込んでしまった。そこで，一度寄居まで車で戻って，車屋さんで，ボードを外してもらって救出したのだが，既に虫の息！？だった。かなり貴重な種であるので，とりあえず，近くに在住の新井裕氏宅を訪れ，その個体を寄贈した。新井氏には，同定の確認をしていただき，誌面を借りてお礼申し上げる次第である。

これは余談だが，一週間後の６月11日，再び当地を訪れ，２頭目の♂を発見し撮影していると，たまたま同行していた家内が，“「オオイトトンボ」を捕まえた”といって，近くに来たので，「オゼイトトンボがいるよ」と教えてやったところ，その個体を放してやったという。ところが後で聞くと，大きいイトトンボだからオオイトトンボだと思ったらしく，いわゆるオオイトトンボではなかったらしい。大きさは，モノサシトンボをひと回り大きくした感じだというが，絶対にモノサシトンボではないと言い張るのである。家内も素人とはいえ，何度か筆者に同行し，モノサシトンボはよく見ているから間違えない！というのである。

大きさからすると，オオセスジイトトンボということになるが，果たしてこんな山中にオオセスジが生息しうるのであろうか。今となっては，悔やまれることである。ちなみに斑紋はムスジイトトンボに似ていたという。

モノサシトンボ科

７．モノサシトンボ

秩父では，やぶの中の池や小川で必ずといっていいほど見かける普通種だか，国神でも例に洩れず，６～９月頃に多く見られる。国神で見られる個体の中には，しばしばかなり小型のものがあるが，個体密度による体格の変化であるのかは，よく解らない。

アオイトトンボ科

８．オツネントンボ

国神では，1992，93年とも，10月下旬に池横の栗林等で見ているが，越冬後の個体は，筆者の捜し方が悪いのか，まだ見ていない。原因として，水田が水を張る時期に現われ，池では生殖活動をしないとか，近くの別の水域（河川等）で生殖活動をおこなっている等が考えられるが，謎の多いトンボである。

９．ホソミオツネントンボ

前種と共に，秋に見かける他，５月頃，池に飛来する個体を見ることができるが，国神では少ないようである。

10．アオイトトンボ

かなり移動力のあるトンボのようで，1993年９月10日に，池で１♂を確認したのみである。その個体は，池を岸に沿って忙しく飛び回り，♀を捜していたようである。しかし，羽化や産卵を観察したことは今の所なく，定着しているかどうかはわからない。

11．オオアオイトトンボ

７月頃より羽化し，真夏にはあまり見かけないが，秋になると，どこからともなく飛来して池の周囲にたむろしている。他のトンボがそろそろ姿を消す10月下旬になっても，本種だけは生き延びているようである。

カワトンボ科

12．ハグロトンボ

池岸と一ト星池付近で１♂１♀を見たのみ。カワトンボのように，一ト星池で発生している形跡はなく，おそらく付近の渓流からの飛来種であろうと思う。

13．ミヤマカワトンボ

前種同様，付近の渓流から飛来するものと思われるが，目撃例は５月より９月にかけ数回に及ぶ。

14．ヒガシカワトンボ

一ト星川にて発生するようで，５～６月を中心に，橙色型，透明型共，安定して発生しているようである。

サナエトンボ科

15．コサナエ

主に５～６月，一ト星池および谷戸の小池にて見られ，個体数も多い。但し，５月より６月の方が多く見られるようである（1993年の観察による。同年は，カワトンボと共に，７月半ばまで見られた）。３連結も２例見ている。

16．コオニヤンマ

この種も，一ト星池で発生するというより，付近の渓流より飛来すると考えた方が妥当である。1992年９月10日に，１♂が池岸の土砂上に飛来し，静止していたがものの５分と経たぬ内に，シオカラトンボに追い出されてしまった。確実な目撃はこの１例だけである。

オニヤンマ科

17．オニヤンマ

７～10月上旬にかけ，国神周辺で多く見られる。主に一ト星川にて発生しているようである。国神の水田は，秋になると稲の上にネットを張るが，本種は50cm程の低所を飛ぶ為，よくこのネットに引っ掛かって抜けられずに死亡している個体を観察した。

ヤンマ科

18．ミルンヤンマ

一ト星川より発生しているかどうかは定かでないが，８月の盆過ぎより秋にかけて，谷戸周辺でしばしば見られる。夏の夕刻には，カトリヤンに混ざって未熟個体が摂食飛翔をするのが観察された。

19．カトリヤンマ

水田で発生するヤンマで８月の半ば頃，稲につかまった羽化殻を見かける。黄昏飛行性が強いが，他のヤンマより更に暗がりを好むようで，日没後，かなり視野が効かなくなってから，ボツボツと現われ始め，真っ暗になっても無数の個体が低くジグザグに群れ飛ぶのをあちらこちらで観察した。但し，秋になって涼しくなると，日中から活動するのがよく見られる。

20．ヤブヤンマ

谷戸の小池で発生している可能性が強いが，まだ，1993年７月29日に１♀を確認したのみなので，何とも言えない。６～７月頃出現すると思われるので，その頃，よく調査したい。

21．ルリボシヤンマ

９～10月，谷戸の小池で縄張りを持つ♂をよく見かける。一ト星池には殆ど飛来しないが，オオルリボシヤンマが姿を消した後，一ト星池上をお回りしている♂を観察した（1993年10月25日）。縄張りを持つ♂は，♀が飛来するとただちに追尾して交尾を挑む。1993年９月の観察では，♂が♀を水面に叩き落として交尾を迫ったがうまくいかず，♀は水面上に叩き落とされたダメージが大きかったのか，ヨロヨロと飛び去った。

♀の産卵は，谷戸の小池でよく観察される。

22. オオルリボシヤンマ

ルリボシヤンマよりはるかに青色味が強く，美しい。主に９月前半を中心に，一ト星池で♂の縄張り飛翔が見られる。飛び方はルリボシヤンマのように滞空型ではなく，堂々とした感じがする。1993年９月の観察では，産卵に訪れた♀を，３♂が追いかけている場面に出くわした。この時は，普段雄々と飛んでいる♂が，ホバリングを交え，ダラダラと飛んでおり，どこか滑稽であった。同様の記述は，『山陰のトンボ』にも書かれているが，このような場合，交尾は成立しないようである。又，一ト星池では，いわゆる青色型の♀も観察している（1992年９月）。

23. マルタンヤンマ

６月下旬～７月にかけて羽化をするらしく，この頃若干の羽化殻を目にすることができる。国神に於ては，個体数が少なく，夏の夕刻，黄昏飛翔を見ることもできるが，せいぜい１～２頭飛ぶ程度である。

♀は，谷戸や一ト星池，更に，下の湿地等に産卵の為訪れる。♂を見ることは少ないが，1993年９月10日に，池上３～５mを飛翔する１♂を観察できた。

24. ギンヤンマ

一ト星池の優占種であり，国神ではかなり幅をきかせている。国神には，先述のように，湿地があり，サラサヤンマも居そうなのだが，今のところ，全く見ていない。サラサヤンマの飛びそうな湿地も，ギンヤンマが飛んでいるのである。本種はかなり凶暴で，1993年９月に，本種♂に襲われるオニヤンマのカップルを目撃した。彼らは，交尾飛翔中をギンヤンマにアタックされ，一ト星池の水面にギンヤンマ共々もつれて落ち，ギンヤンマとオニヤンマの♂は，それぞれ逃れたが，♀は，ダメージが大きく，溺れてしまった。一ト星池でギンヤンマに対抗できるのは，オオルリボシヤンマ位なものである。

25. クロスジギンヤンマ

５～６月を中心に出現するが，９月頃にも新鮮な個体を目にすることがある。一ト星池では，ギンヤンマに押され気味であるが，谷戸の小池にもよく飛来する。

ヤマトンボ科

26. タカネトンボ

９月頃，一ト星池及び谷戸の小池で見かけるが，あまり多くない。♂は，池をおまわりするが，あまり長居はせず，一ト星池→一ト星川→谷戸といった広いコースを巡回しているようである。♀の産卵は，谷戸で見られる。

27. オオヤマトンボ

６～７月，一ト星池をおまわりする複数の♂を観察できるが，８～９月には見ていない。又，夕刻，周辺一帯をハイスピードで飛び回っているのを見ることもある。

トンボ科

28. ハラビロトンボ

５月下旬～８月末に湿地等で多く見られる。

29. シオカラトンボ

５～９月に，池とその周辺に普通。

30. シオヤトンボ

５～６月，湿地，谷戸でよく見られる。

31. オオシオカラトンボ

一ト星池よりも，周辺のやぶや谷戸に多く，６～９月に出現する。

32. ヨツボシトンボ

５月中旬より６月中旬にかけて出現するが，数は少なく，池で見られるのは大抵１♂である。1993年には，交尾と産卵を観察した。

33. ショウジョウトンボ

５月下旬～９月半ば頃に出現。７～８月に比較的多く見られ，池の周囲に縄張りを持つ。

34. ミヤマアカネ

池よりも小川や水田周辺で見かけることが多いが，個体数は少ない。

35. ナツアカネ

アキアカネと共によく見られるアカトンボ。９月下旬以降は，♂が真っ赤になって美しい。谷戸では，アキアカネより多い。

36. アキアカネ

秋の池岸を占領するのは殆ど本種。７月より羽化する。

37. ヒメアカネ

池の近くや湿地に多く見られ，７月より，秋遅くまでいる。近縁のマイコアカネも捜しているが，今の処見ていない。

38. マユタテアカネ

アキアカネ等が池岸の１m程の所を占領するのに対し，本種は，30～50cm位の低い位置にひっそりと隠れるように見られる。これは，体が小さく飛翔力も弱い為と思われるが，本種が下草から捕餌の為飛び上がったところを，パトロール中のギンヤンマに捕食されるのを目撃している。

39. リスアカネ

一ト星池や谷戸で見られるが，あまり多くなく，8月下旬～9月下旬に観察している。

40. ノシメトンボ

1992年には観察しなかったが，1993年には8～9月に割合多く見ることが出来た。池の周囲や水田にて見られる。

41. コノシメトンボ

8月下旬～9月頃見られ，一ト星池周辺に出没する。成熟した♂は赤紅色が鮮やかで美しく，水面上に飛来し，かなり長時間ホバリングするのが観察される。個体数は少ない。

42. キトンボ

県内では，長瀞町四十八沼付近が，多産地として知られているが，他に確実な生息地は殆どないようである。国神でも，観察例は，1992.10.3と1993.9.27の1♂ずつ2例のみで，生殖活動は観察していない。

43. ネキトンボ

池岸にて，8～10月頃見られるが，個体数は少ない。しかし，生殖活動は観察できた。

44. ウスバキトンボ

8～10月，池の周辺をやや高く群れて飛翔するのが見られる。1993年は，低温のせいか，少なかった。

45. コシアキトンボ

7～9月中旬，一ト星池にて見られるが，それ程多くない。むしろ，コシアキトンボが増えるのは，水質悪化とも考えられるので，良いことかもしれない。

46. チョウトンボ

放浪性が強いようで，1993.8.25に一ト星池にたまたま飛来した1ex.を見たのみ。定着しているかどうかは不明である。

（3）トンボにとっての障害

国神に於いて，観察したトンボの種類は多いが，一部を除けば，個体数は少ない。その原因として，次のようなことが考えられる。

a）ゴルフ場の建設

この問題は，これまでよりもむしろ，これからが怖い。要素としては，①生活排水の池への流入．②除草剤の使用．③農薬の使用．が考えられる。目安としては，池の水が赤茶色になる，などであるが，ゴルフ場による環境の変化については，今後とも，冷静に注意深く見ていかなくてはならない。又，池の北の山林の伐採もトンボに深刻な影響を与えている。

b）天敵

まず，魚である。一ト星池には，放されたらしい金魚や鯉が多く見られる。これらが，ヤゴの捕食をする為，イトトンボ等をはじめ，トンボの個体数が少ないと思われる。

更に怖いのはカメである。1994.5.23.に当地を訪れたところ，甲長30cm程のカメが見られた。カメを放すと，その池の生物は全ていなくなるという話もあり，これらについては一考の余地がありそうである。

（4）今後の国神について

ゴルフ場は既に建設済みなので，如何ともし難いが，これは経営側の良心にゆだねるしかなかろう。

魚やカメについては，捕獲して，他の場所に放す等の方法が考えられるが，これについても慎重に考えなくてはならないだろう。いずれにせよ，今後数年の国神の変化が気になる。少なくとも，オゼイトトンボだけは守りたいものである。

参考文献

石田昇三 ほか（1989）
日本産トンボ幼虫・成虫検索図説
山陰むしの会　編（1993）山陰のトンボ
新井 裕（1994）成熟期を主としたミルンヤンマ成虫の生態．寄せ蛾記　No.71
松崎 雄一（1993）埼玉県皆野町でオゼイトトンボを発見　月刊むし No.271
松崎 雄一（1993）埼玉県蜻蛉目調査（1），（2）寄せ蛾記 No.69-70

（まつざき ゆういち
〒202　保谷市泉町 3-8-19-205）

開翅姿勢で夜を迎えるヒガシカワトンボとミヤマカワトンボ

新井　裕

均翅亜目に属するトンボは羽を閉じて静止するのが特徴であるが，ヒガシカワトンボでは羽を開いた状態で一夜を過ごすこともあることを先に報告した（新井，投稿中）。その後，この点について調査した結果，ミヤマカワトンボでも開翅して夜を過ごす個体があることなどが明らかとなったので報告する。報告にあたり，調査を手伝ってくれた妻恭子に謝意を表する。

方法と結果

調査は，埼玉県大里郡寄居町折原の平倉川の岸辺において，1994年５月29日・30日と６月１日におこなった。調査時刻は29日が16時～19時10分，30日が19時30分～20時10分，１日が19時～19時30分である。

５月29日の調査では，ヒガシカワトンボは全て成熟個体で盛んに交尾や産卵をおこなっていたが，18時頃には水辺を離れて樹上に移る個体が増え，18時28分に最後の個体が水辺を去った。一方，ミヤマカワトンボは未成熟個体のみで，個体数は少なかった。本種の方がヒガシカワトンボより水辺を離れる時刻が早いようであったが，いきなり樹上へ移らず，いったん土手に飛び移ってからねぐらとなる樹上に移動するものが多いようであった。この日ねぐらとなる樹上で１♂１♀のミヤマカワトンボを認めたが，♀は羽を半開し，♂は完全に閉じて静止していた。

５月30日には午後５時頃にバケツの水をひっくり返したような大雨（夕立）があった。現地に着いた19時30分は相当暗くなっており，懐中電燈をつけてねむりについた個体を探した。その結果，１♂２♀のミヤマカワトンボと６♂４♀のヒガシカワトンボが発見できた。そのうち，ヒガシカワトンボで羽を開いていたのが５♂（透明型１♂，橙色型４♂），閉じていたのが１♂（透明型）４♀であった。このうち，羽を開いていた透明型の１♂は懐中電燈で照らしているうちに羽を完全に閉じてしまった。一方，ミヤマカワトンボは３頭共羽を閉じて静止していた。

６月１日の調査では，橙色型のヒガシカワトンボを４♂発見したが，いずれの個体も開翅状態であった。ミヤマカワトンボでは２♂６♀を発見したが，そのうち１♂１♀は閉翅，残りの１♂４♀は開翅状態であった。ミヤマカワトンボの開翅角度は，ヒガシカワトンボのそれより狭く，前翅より後翅の方が，開翅度が大きかった。また，閉翅個体に近付いたり，さわったりして飛び立たせると，ほとんどの個体が閉翅態で静止した。

以上のように，両種共夜間は羽を閉じて静止する個体があることが明らかになった。前報（新井，投稿中）ではヒガシカワトンボの場合，低温条件下で開翅すると考えたが，今回調査した５月30日と６月１日の調査時刻の気温は19度と20度で，この時期の気温としては低くはなかった。それにもかかわらず開翅個体が見られたことは，気温ではないことを示唆している。同一条件下で開翅するものと閉翅するものとが混在することから，トンボ自身の生理的な要因が関与しているのかもしれない。今後，この点について詳しく調査すると共に，他のカワトンボ科の種についても同様の現象が見られるかどうか調べてみたいと考えている。

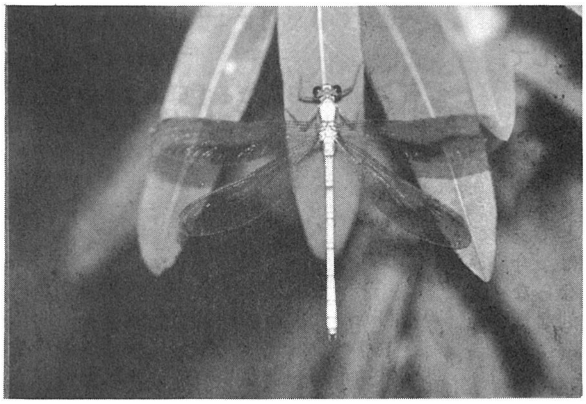


写真１．開翅状態で静止するヒガシカワトンボ橙色型♂（６月１日）

写真２．閉翅状態で静止するヒガシカワトンボ 透明型♂（５月30日）

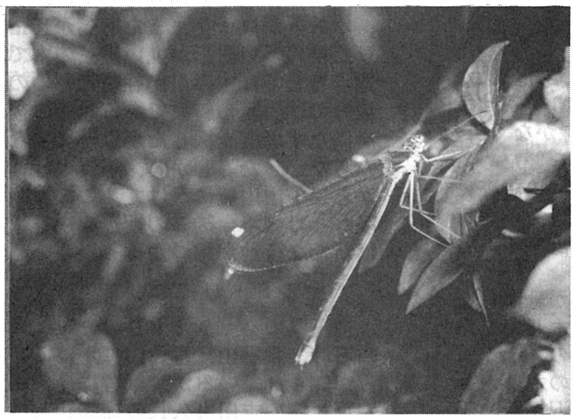


写真３．閉翅状態で静止するミヤマカワトンボ♀（５月30日）

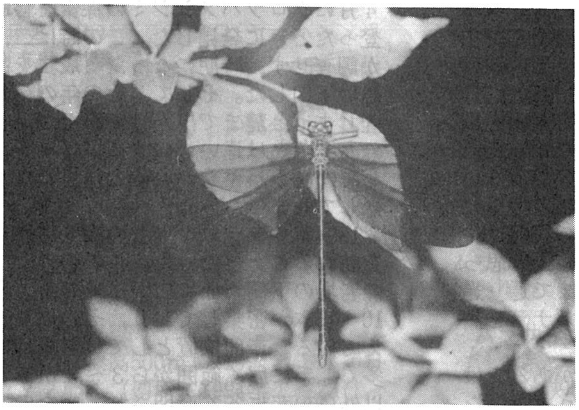


写真４．開翅状態で静止するミヤマカワトンボ♂（６月１日）

引用文献

新井裕（投稿中）：羽を開いて夜を過ごしたヒガシカワトンボ，インセクタリウム．

（あらい　ゆたか
〒369-12　大里郡寄居町末野 1233-2）

・・・・・・・・・・・・

秩父地方におけるウラミスジシジミとハヤシミドリシジミの新産地

石塚 正彦

・・・・・・・・・・・・

今年の冬は，フジミドリの卵でも調査しようと思っていた。しかしフジミドリは，ある程度調査されているし，最近も記録されているのでつまらない，どうせやるなら珍品のがやりがいがある。そこで決定したのがウラミスジ，ウラジロミドリの2種であった。結局ウラジロミドリは発見できなかったがそれらの副産物として色々なゼフィルスが獲られ成果をあげることが出来た。

ウラミスジについて

埼玉県では1981年7月29日に会員の碓井徹氏が中津川で採集したのが唯一の記録であり［寄せ蛾記(33)：311］，それ以後まったく記録がなく隣の東京都などでも数えるほどしか記録がないため，筆者も遇産種と考えていた。しかし今回の調査により大滝村中津川の中津川集落入口付近，小鹿野町坂本志賀坂峠付近の二ヶ所で卵を確認することが出来た。

調査の最初の頃は，今思うと何故だか分からないが多分，中津川方面にはミズナラの木しかないと言う先入観（実際に道沿いには数本のコナラしかなかった）があったのか，ミズナラの木ばかりを調べていた。中津川林道沿い，小倉沢から八丁峠，大黒から広河原，栃本から入川そして赤沢出合い，道沿いのミズナラは9割方調べた。採れるのはアイノミドリとエゾミドリばかり，そこで山奥の大滝村をあきらめ，何かの本にウラミスジは里山の蝶と書いてあったのを思い出し，180度方向を変え，最も可能性のありそうな横瀬町丸山を調査した。しかしここでは何の卵も採れなかった。（もしかしたらジョウザンでも採れるのではないかと少しは期待していたのだが）やっぱり埼玉にはいないのか，でも待てよ・・・唯一の記録は中津川まだ見逃している木があるはずだ，そう思って再び中津川へと向かった。今度は今まで通り過ぎていた中津川集落手前の道沿いのミズナラを調べた。やはり採れるのはアイノミドリ・・・・・・，「おっと」こんなところにコナラがあるではないか，どうせ何も付いていないだろうと思いながらも一番可能性のありそうな，最も横に張りだした枝の最端の上を向いた枝を切った。おっ！！何か付いている。手持ちのルーペで覗いて見たがアイノミドリでないことだけは確認できた。一卵しか付いていないので，この時はこれがウラミスジであるとは思わなかった。家に帰りアダプターを付けると30倍の接写になる単眼鏡で覗いて見たらビックリ「やった埼玉県2頭目のウラミスジ」。後は二万五千分の一の地形図と睨めっこ，大洞川，大血川，浦山川，両神の小森川流域と谷沿いのコナラを中心に調査したが発見できなかった。あと入ってない場所はどこかと考えた結果，谷筋ではないが志賀坂峠，八丁峠間が思い浮かんだ。そして，ここが第二のウラミスジの採卵地となった。二つの採卵地の共通点としては，標高が700～800m，ホストがコナラ，また樹高が10m前後で横に伸びた枝の多い樹影が丸い感じの木である。逆に相違点としては中津川が谷筋であるのに対して志賀坂峠では山腹の斜面である。その後，上記共通点を満たす場所を探したが以外に少なく発見にはいたらなかった。しかし，志賀坂峠付近，志賀坂峠から二子山山麓にかけて，この標高帯にコナラが多かったので今後この近辺を中心に調査を進めれば新たな産地が見つかると思う。

ハヤシミドリについて

埼玉県のハヤシミドリの分布は横瀬町丸山から白石峠，堂平山，皇鈴山にかけての奥武蔵高原のみが知られているが，筆者は今冬秩父盆地を挟んだ反対側の吉田町久長の標高400m付近のカシワ林に棲息地を発見した。ここのカシワ林は1993年の4月にクロツバメシジミの探索を目的にこの山を登ったときに発見した。この時は二，三本の枝しか調査せず，時期になったら成虫を調査すればと思い下山した。そして，その年の7月に成虫を調査しようと麓まで出かけて来たが，全く道がないこと，冬とは違いものすごいブッシュ，急斜面そしてまさかハヤシがいるとは思わなかったので断念してしまった。

1994年ウラジロミドリの調査に燃え，再びここを訪れることとなった。ここのカシワ林は南向きの岩場の下側斜面に広がっており，岩場直下では10～15本が密集しており，その周りにも点々と生えている。産卵位置としては岩場に面した空間に多く，手に届く範囲から3～4m位の枝に産まれ，以外に頂芽に多く産卵されていたので，実際に幼虫になるまでは本当にハヤシかどうか不安であった。又この岩場にはツメレンゲも生えているので，今年の夏にはこの岩場でクロツバメも見られるかも知れない。もしかしたらウスイロ，ウラジロも・・・・・？。

★採卵記録

【アイノミドリシジミ】
大滝村中津川大黒：1994年１月22日，ミズナラ，４卵；（同所）1994年１月30日，ミズナラ，１卵；（同所）1994年２月20日，ミズナラ，８卵
大滝村中津川王冠：1994年１月22日，ミズナラ，１卵
大滝村中津川中津川：1994年２月20日，ミズナラ，４卵；（同所）1994年２月27日，ミズナラ，１卵;コナラ，２卵
大滝村入川～赤沢出合間：1994年２月17日，ミズナラ，１卵；（同所）1994年３月27日，ミズナラ，２卵
大滝村小倉沢～八丁峠間：1994年２月20日，ミズナラ，７卵；（同所）1994年３月21日，ミズナラ，１卵
両神村小森白井差：1994年２月26日，ミズナラ，３卵
大滝村大洞川：1994年３月６日，コナラ，２卵;ミズナラ，２卵（観察のみ）

【エゾミドリシジミ】
大滝村中津川王冠：1994年１月22日，ミズナラ，２卵（１卵頂芽より採卵）；（同所）1994年１月30日，ミズナラ，８卵
大滝村中津川大黒：1994年１月30日，ミズナラ，１卵（頂芽より採卵）
大滝村小倉沢～八丁峠間：1994年２月20日，ミズナラ，２卵
両神村小森白井差：1994年２月26日，ミズナラ，１卵（頂芽より採卵）

【フジミドリシジミ】
秩父市浦山川俣：1993年12月25日，イヌブナ，２卵

【ミドリシジミ】
大滝村中津川王冠：1994年１月３日，ヤマハンノキ，20卵（その他多数観察）
両神村小森白井差：1994年２月26日，ヤマハンノキ，４卵（その他多数観察）

【ハヤシミドリシジミ】
横瀬町丸山関ノ入谷(標高500m)：1994年１月16日，カシワの雑種？１卵（カシワとコナラの雑種の様な木）；（同所）1994年１月23日，カシワの雑種？１卵;カシワ，３卵；（同所）1994年２月12日，カシワの雑種？１卵;カシワ，11卵
吉田町久長新志(標高400m)：1994年３月５日，カシワ，14卵；（同所）1994年３月21日，カシワ，３卵

【ウスイロオナガシジミ】
横瀬町丸山関ノ入谷(標高500m)：1994年１月16日，カシワの雑種？２卵；（同所）1994年１月23日，カシワ，２卵

【ウラミスジシジミ】
大滝村中津川中津川集落：1994年２月20日，コナラ，１卵
小鹿野町坂本志賀坂～八丁峠間：1994年３月13日，コナラ，３卵；（同所）1994年３月17日，コナラ，４卵

【メスアカミドリシジミ】
大滝村大滝太陽寺：1994年３月27日，サクラ，４卵
横瀬町丸山：1994年４月24日，サクラ，２幼（２令幼虫）；（同所）1994年５月15日，サクラ，１幼（終令幼虫）

ウラミスジの飼育経過：８卵中６卵孵化→１令時１幼死亡→５成虫（中津川産１，志賀坂峠産４）

（いしづか　まさひこ　〒368 秩父市上町1-1-17）

1993年浦和市市街地における　ヒョウモン類等の目撃記録

長田 志朗

本会報No.68において筆者は浦和市市街地に位置する自宅庭における1992年秋季のミドリヒョウモンの目撃記録を報告したが，1993年も同様にヒョウモン類の目撃記録を得ているので続報として報告する。

ミドリヒョウモン
1♂　目撃　18.Ⅸ.1993　10:00 am
1♂　目撃　26.Ⅸ.1993　2:00 pm
1♂　目撃　2.Ⅹ.1993　10:30 am

オオウラギンスジヒョウモン
1♀　目撃　26.Ⅸ.1993　1:40 pm

上記の記録は，いずれもブッドレアへの訪花記録であり，観察できたのは週末の在宅日に限られる。なお９月26日は久しぶりの快晴で，複数のミドリヒョウモンの飛来を期待したが，訪花したのは報告のとおり１頭のみであった。ただ，ミドリヒョウモンの飛来に先だって，オオウラギンスジヒョウモンを観察できたのは幸運であった。

また庭にアラカシを植えた効果が表われたのか，ムラサキシジミが飛来した。市街地内における記録は少ないと思われるので付記する。

ムラサキシジミ
1♀　目撃　27.Ⅹ.1993　1:00 pm

当日は快晴。アラカシから１m程離れたグレープフルーツ葉上で翅を全開にして陽を浴びていた。なお，当地において過去に本種を目撃したことは無い。

（おさだ　しろう　〒336 浦和市仲町４-21-34）

埼玉県産ハナノミの記録

牧林 功

南部敏明，竹内崇夫，小堀文彦三氏が採集した埼玉県産のハナノミの標本を高桑正敏（神奈川県立博物館）氏に同定していただいたので，ここに記録しておく。なお同定の労をとられた高桑氏に感謝する。また「埼玉県動物誌（以下，県誌と省略）；1978」に未記録のものは，和名のあとに※を印した。

Ⅰ. Rhipiphoridae オオハナノミ科

1．*Macrosiagon bipunctatus* (FABRICIUS)

フタオビオオハナノミ

北本：1 ex.,1961.10.13, A.NAITO 採集．鴻巣：1 ex.,1960. 7 .23, 1 ex.,1960. 8 . 10, 1 ex.,1960. 9 . ?, 3 exs.,1961. 5 . 6 , 1 ex., 1962. 8 .10（以上，南部敏明採集）．皆野：1 ex.,1975. 6 .29,南部敏明採集．

鴻巣で1962. 8 .10採集されたものはキゴシジガバチから得られたもの。県誌では浦和市原山，宝登山での記録がある。

2．*M. nasutum* (THUNBERG)

ムモンオオハナノミ

鴻巣：1 ex.,1963. 6 .21, 寄居：1 ex., 1978. ?, 宝登山：1 ex.,1970. 3 .21（以上，南部敏明採集）．

県誌には浦和市別所，児玉町秋山，丸山での記録がある。

また南部敏明氏採集によるものでは，県外の記録として三鷹（東京）：1 ex.,1959. 4 . 2，及び安達太良山（福島）：1 ex.,1984. 8 .28の標本がある。

Ⅱ. Mordellidae ハナノミ科

3．*Tomoxia nipponica* KÔNO

モンハナノミ※

名栗：1 ex,.1971. 8 .23,南部敏明採集．

4．*Mordella onaga* NOMURA

オナガクロハナノミ※

児玉：1 ex.,1964. 5 .10,南部敏明採集；滝ノ沢（大滝村）：1 ex.,1992. 6 .22,南部敏明採集．

5．*Mordellistena comes* MARSEUL

クロヒメハナノミ

北本市石戸宿：3 exs.,1986. 7 . 6 ,小堀文彦採集；1 ex.,1990. 5 .25,南部敏明採集．

県誌では宝登山，三峰山，突出峠からの記録がある。

6．*Tolidostena* sp.

トゲヒメハナノミ属の1種※

両神村白井差：1 ex.,1993. 8 .12,竹内崇夫採集．

Ⅲ. Scraptiidae ハナノミダマシ科

7．*Anaspis marseuli* CSIKI

クロフナガタハナノミ※

上尾市西原：6 exs.,1993. 5 .30,竹内崇夫採集；定峰峠：1 ex.,1993. 6 .12,竹内崇夫採集；小鹿野町コシノネ：1 ex.,1992. 5 .23,南部敏明採集；大滝村滝ノ沢：1 ex.,1992. 6 .16,南部敏明採集．

8．*A. luteola* MARESEUL

キイロフナガタハナノミ

上尾市西原：3 exs.,1993. 5 .30,竹内崇夫採集．

県誌には大輪，雁道場，志賀坂，三国峠での記録がある。

9．*A.* sp. フナガタハナノミの1種※

大滝村滝ノ沢：1 ex.,1992. 6 .22,南部敏明採集．

（まきばやし いさお
〒330 大宮市天沼町 2-864 ）

浦和市市街地で発生したミヤマカラスアゲハの記録

長田 志朗

本県低地におけるミヤマカラスアゲハの採集記録は，牧林功氏の御教示によれば“1♀.浦和市（本太）.22-Ⅷ-1970.巣瀬司採（実際には採集者不詳）”—埼玉県動物誌（1978）—が有るとされている。筆者は幸運にも自宅庭で発生したミヤマカラスアゲハの記録を得ることができたので報告する。

浦和市市街地に位置する自宅庭には，コクサギ，キハダ，カラスザンショウの他にハマセンダン（*Evodia* sp., 実生，台湾産）がある。カラスアゲハは普通に見られ，コクサギでは例年，数10頭の幼虫を観察することができる。また，同幼虫は，キハダにも散見されるが，カラスザンショウからは未発見，ハマセンダンからは稀に発見される。

昨年9月，二階ベランダを覆うように枝を伸ばしたハマセンダンに例年に無く多数の幼虫を見いだしたので，手の届く範囲にいた幼虫の中から10頭余りを選び袋掛けで飼育したところ，本年4月に羽化したのは思いがけずも，すべてミヤマカラスアゲハであった。

当地においては，過去にミヤマカラスアゲハを目撃する機会に恵まれなかったので，筆者は不覚にも，当該幼虫を充分に観察しないままカラスアゲハであると信じて疑わなかったため，残念ながら不完全な記録しか残すことができなかったが，飼育経過は以下のとおり。

1993年

9月19日	ハマセンダンの地上約4.5m付近の葉上で発見した若令幼虫10頭を袋掛け。
10月1日	袋越しに観察したところ一部が終令になっていた。
10月11日	やはり袋越しに観察。4蛹確認。残りも終令のようだった。
10月31日	ハマセンダン根際に置いてあった植木鉢側壁に2蛹発見。
11月3日	上記10月31日に発見した2蛹のうち，1蛹に寄生の徴候を見つけ解剖したところ寄生バエの幼虫2頭がいた。
12月12日	袋を外し、8蛹を確認。大型プラシャーレに収容した。残り2頭は袋に開いていた小穴から若令のうちに脱出したものと考えられた。なお，この時期ハマセンダンは全く黄化していなかったが，蛹はすべて黄褐色蛹で葉裏に蛹化しており，枝に蛹化しているものは無かった。以後，羽化前日まで，室内の比較的気温の低い所に放置。

1994年

4月22日	ミヤマカラスアゲハ1♂羽化
4月23日	同　1♂1♀羽化。ただし，♀は不完全蛹からのもので前翅不全。
4月24日	同　1♂羽化。
4月25日	同　1♂2♀羽化。
4月26日	同　1♀羽化。
4月29日	同　1♀羽化。

以上袋内外から得られた蛹から4♂5♀が羽化するに至った。羽化時期が，通常よりやや早めだが，これは蛹を冬季に室内に置いたためと思われる。

なお，得られた標本は3♂4♀を筆者が，1♂1♀を下郡幸夫（東京都国分寺市）が保管する予定。

今後は，当地においてミヤマカラスアゲハはどの程度の頻度で飛来するものか，ハマセンダン以外のキハダ・カラスザンショウでも発生することがあるのか等について継続して観察してみるつもりである。

末筆ではありますが，本県におけるミヤマカラスアゲハの分布状況，採集記録等について御教示下さいました牧林功氏に厚くお礼を申し上げます。

（おさだ しろう　〒336　浦和市仲町4-21-34）

埼玉県産マメゾウムシ科既知種目録

藤多 文雄

マメゾウムシ科は日本産定着種14種の小さな科で，重要な害虫を含むが，アマチュアには人気のないグループである。埼玉県産は埼玉県動物誌（1978）に5種が記録された。その後，阿部・笹井（1986）により2種が追加され，市川（1950）による2種と大野　（1956）による1種を加えて，本県産は現在10種ということになる。以下，和名，学名，市町村別既知産地（郡名は省略）の順に記す。新産地にはデータを添えた。最後に文献目録を付けたが，この中には高校生物部報や環境アセスメントに基づく環境影響評価書等は含めていないことをお断りしておく。

1．エンドウマメゾウムシ
Bruchus pisorum (Linne)
浦和市　大宮市　岩槻市　久喜市　寄居町　日高市　横瀬町　皆野町

2．ソラマメゾウムシ
Bruchus rufimanus Boheman
浦和市　桶川市　岩槻市　白岡町

3．アズキマメゾウムシ
Callosobruchus chinensis (Linne)
浦和市　大宮市　上尾市　北本市　八潮市　越谷市　岩槻市　蓮田市　久喜市　白岡　町　寄居町　大井町　日高市　秩父市　横瀬町　皆野町

4．チャバラマメゾウムシ
Callosobruchus ademptus (Sharp)
浦和市（下大久保，30.Apr.1994，2頭）　上尾市　北本市　飯能市（長沢，10.May.1991，1頭）

5．ヒゲナガマメゾウムシ
Bruchidius lautus (Sharp)
北本市　大滝村（三峰山，12.Aug.1993，1頭）

6．サムライマメゾウムシ
Bruchidius japonicus (Harold)
飯能市　長瀞町（長瀞，4.June.1993，1頭）
森本（1990）はキアシマメゾウムシとシロモンマメゾウムシをともに本種のシノニム　とした。

7．シリアカマメゾウムシ
Bruchidius urbanus (Sharp)
浦和市　大宮市　北本市

8．サイカチマメゾウムシ
Bruchidius dorsalis (Fahraeus)
北本市
他に市川（1950）による秩父地方（寄居から三峰にかけての荒川水系の盆地）の記録がある。

9．インゲンマメゾウムシ
Acanthoscelides obtectus (Say)

大宮市　寄居町　皆野町

10. イクビマメゾウムシ

Spermophagus japonicus Schilsky

浦和市 (塚本, 14.May.1994, 3頭)　大里村 (手島, 23.June.1992, 1頭)

この種も市川 (1950) により秩父地方から記録されている。

文　献

木下周太・酒井久馬 (1930) 東京府下及隣県下に於ける蚕豆象虫の分布及加害調査. 昆虫, 4 (4) : 271～276.

埼玉県女子中等学校博物研究会久喜部会 (1936) 東武地方に於ける昆虫の調査 (第1報) 越谷博物学会誌, 2 (1) : 1～15.

市川和夫 (1950) 奥秩父学術総合調査昆虫類調査報告 (I). 秩父自然科学博物館研究　報告, (2) : 89～105.

大野正男 (1956) 奥武蔵の採集地案内. 新昆虫, 9 (5) : 8～10.

京浜昆虫同好会 (1958) 新しい昆虫採集 (上).

梶村秀樹 (1961) 浦和付近産甲虫類資料9. Argynnis, 10 (1) : 1～48.

大野正男 (1964) 奥武蔵の昆虫たち. 奥武蔵, (100) : 32～41.

斎藤良夫 (1978) 埼玉県の甲虫. 埼玉県動物誌 (埼玉県動物誌編集委員会) : 213～258.

斎藤良夫 (1981) 寄居町の甲虫類. 寄居町の自然・動物編 (寄居町教育委員会) : 87～104.

萩原辰之助 (1982) 浦山の動物. 浦山 (浦山地区総合調査会) : 109～142.

皆野町誌編集委員会 (1982) 皆野町誌・自然編3.

岩槻市史編さん室 (1985) 岩槻市史・通史編.

山崎柄根 (1986) 大井町の昆虫相. 大井町史・自然編 (大井町史編さん委員会) : 91～137.

阿部光典・笹井厚子 (1986) 北本市石戸宿の甲虫類. 寄せ蛾記, (48) : 691～713.

越谷の自然を調べる会 (1987) 越谷の自然2.

日下部義樹 (1987) 生活と動植物. 白岡町史・資料7自然 (白岡町教育委員会町史編さん室) : 49～87.

福嶋義一・長島武志 (1987) 武甲山の鞘翅目. 秩父武甲山総合調査報告書・自然編 (武甲山総合調査会) : 308～367.

越谷の自然を調べる会 (1988) 越谷の自然3.

江村薫 (1989) 久喜市の甲虫類. 久喜市の動植物 (久喜市史編さん室) : 81～107.

八潮市 (1989) 八潮市自然環境保全創造計画策定調査.

江村薫 (1990) 久喜市の甲虫類. 久喜市史自然編 (久喜市史編さん室) : 115～128.

越谷の自然を調べる会 (1990) 越谷の自然4.

上尾市 (1991) 上尾市植物動物調査報告書.

日高町史編集委員会・日高町教育委員会 (1991) 日高町史・自然史編.

越谷の自然を調べる会 (1991) 越谷の自然5.

記野直人・長谷川洋 (1993) 北本市石戸宿で採集した甲虫類. 寄せ蛾記, (69) : 1528 ～ 1533.

(ふじた　ふみお　〒338　与野市大戸 742)

埼玉県産ホソクチゾウムシ科既知種目録

藤多 文雄

この微小なゾウムシは, 同定が容易でないためか, 県内の分布記録は少ない。今回新たに5種を記録した。

1. アザミホソクチゾウムシ

Apion japonicus Roelofs

浦和市　寄居町　日高市　名栗村　皆野町

2. マメホソクチゾウムシ

Apion collare Schilsky

浦和市　大宮市　北本市 (石戸宿, 6.June. 1986, 1頭)　寄居町　飯能市 (南川, 25. July. 1973, 1頭)　鶴ヶ島市　秩父市　大滝村

3. クチナガホソクチゾウムシ

Apion protractum Sharp

安立 (1931) が吾野から記録したが, 彼は吾野を秩父以東のかなり広い区域を指す地名として使用している。

4. コゲチャホソクチゾウムシ

Apion semisericeum Wagner

浦和市 荒川村 (白久, 26.Apr.1994, 1頭)

5. セアカホソクチゾウムシ

Apion sulcirostre Sharp

大滝村 (三峰山, 20.July.1990, 2頭)

6. ヒゲナガホソクチゾウムシ

Apion placidum Faust

上尾市　長瀞町 (宝登山, 8.Oct.1992, 1頭)　大滝村 (三峰山, 11.July.1991, 3頭)

7. アカアシホソクチゾウムシ

Apion viciae (Paykull)

大滝村

8. ヒレルホソクチゾウムシ

Apion hilleri Schilsky

北本市　飯能市 (坂元, 25.July.1973, 2頭)

9. ケブカホソクチゾウムシ

Apion griseopubescens Roelofs

浦和市　上尾市

10. ヒメケブカホソクチゾウムシ

Apion praecarium Faust

飯能市 (長沢, 27.May.1988, 2頭)

ここではウツギに普通。ヒレルホソクチゾウムシより個体数は多い。

11. アカクチホソクチゾウムシ *Apion pallidirostre* Roelofs
浦和市　大井町　横瀬町　大滝村

12. モンチビゾウムシ *Nanophyes pallipes* Roelofs
浦和市

13. シロモンチビゾウムシ *Nanophyes albovittatus* Roelofs
蓮田市（黒浜，18.June.1988，1頭）

14. ハナコブチビゾウムシ *Nanophyes pubescens* Roelofs
浦和市（塚本，8.Oct.1988，1頭）

15. ホソチビゾウムシ *Nanophyes marmoratus* (Goeze)
名栗村　横瀬町　大滝村

16. ケシチビゾウムシ *Nanophyes suturalis* Pic
北本市（石戸宿，13.May.1987，1頭）
保育社の甲虫図鑑は，本種について何も触れていないが，前胸背が黒く，上翅は黄褐色で基部と会合部が黒色の特徴ある色彩をした微小種である。

文　献

安立綱光（1931）武蔵産象鼻虫類目録．東京虫乃会研究報告，（1）：29～34．
斎藤良夫（1978）埼玉県の甲虫．埼玉県動物誌（埼玉県動物誌編集委員会）：213～258．
斎藤良夫（1981）寄居町の甲虫類．寄居町の自然・動物編（寄居町教育委員会）：87～104．
皆野町誌編集委員会（1982）皆野町誌・自然編3．
大野正男（1985）雷電池およびその周辺の動物相．雷電池並びに周辺調査報告書（鶴ヶ島町脚折遺跡発掘調査団）：159～178．
長島征哉（1986）空中散布防除による林内昆虫相への影響．埼玉県林業試験場業務成績報告，（28）：49～52．
山崎柄根（1986）大井町の昆虫相．大井町史・自然編（大井町史編さん委員会）：91～137．
阿部光典・笹井厚子（1986）北本市石戸宿の甲虫類．寄せ蛾記（48）：691～713．
藤多文雄（1987）浦和市付近の甲虫類（9）．昆虫と自然，22（2）：31．
福嶋義一・長島武志（1987）武甲山の鞘翅目．秩父武甲山総合調査報告書・自然編（武甲山総合調査会）：308～367．
上尾市（1991）上尾市植物動物調査報告書．
日高町史編集委員会・日高町教育委員会（1991）日高町史・自然史編．

（ふじた ふみお　〒338 与野市大戸742）

埼玉県平野部における クロカタビロオサムシの採集例

小堀 文彦　吉越　肇

クロカタビロオサムシ（*Calosoma maximowiczi* Morawitz）を埼玉県の平野部で次のように採集しているので報告する。

1．1ex；　比企郡小川町勝呂，1983年8月3日，吉越肇　採集
2．1♂；　東松山市森林公園，1984年6月，小堀文彦　採集
3．1♀；上尾市平方（西貝塚付近），1993年6月20日，吉越肇　採集（写真）

本種は東北地方のブナ帯で夏期，鱗し目幼虫の発生に一致して多数の個体が活動することがしばしば観察されており，埼玉県秩父山地においても生態的に似た点のあることが指摘されている。[2] 一方埼玉県の低山から平野部における採集例はきわめて少なく，[1)3)] 分布は他の関東平野各地と同様，希薄である感はまぬがれない。

3．の採集例は道路脇にいたものを拾ったものであるが，周囲は荒川に沿った耕地と人家より成る，非森林的環境であったことを付記しておきたい。なお，1．については以前述べたことがあるが，[4)] 表現が不完全だったため今回改めて報告する次第である。国道254 号線で車にひかれていたものを発見した。

2．及び3．の標本はそれぞれの採集者が保管している。

引用文献）

1）笠原秀夫（1968）：昆虫と自然3（3）．
2）佐々木和夫（1990）：日本の自然，4（11）:31-37
3）神久保美津夫（1985）：寄せ蛾記，No.45:618．
4）吉越肇（1983）オサムシマップ No.10：採集記録62

（よしこし はじめ
〒336　浦和市高砂 3-14-9-402）

嵐山町における ベニバハナカミキリの記録

吉越　肇

ベニバハナカミキリ（*Paranaspia anaspidoides* Bates）を次のように埼玉県内で記録しているので報告する。

1 ex.；　埼玉県比企郡嵐山町菅谷，1993年6月13日，吉越肇 採集

都機川河畔を菅谷館方面に歩いていたところ飛しょう中のものを発見，キャッチした（写真）。

当日は午前中曇りで蒸し暑く，さまざまな甲虫が活発に活動していた。

なお，標本は筆者が保管している。

（よしこし はじめ
〒336　浦和市高砂 3-14-9-402 ）

浦和市東部で ギンイチモンジセセリを採集

渡邊 光行

筆者は，浦和市東部でギンイチモンジセセリを採集したので報告します。

採集地：浦和市見沼自然公園

採集日：29. Ⅳ.1994　採集個体：1 ex.新鮮

筆者は，見沼自然公園竣工式に市民植樹者として参加しました。ここは，以前は一面がヨシ・オギ・ガマなどで埋められていました。その中の自然観察公園にて，以前からの生き残りと思われるギンイチモンジセセリ2頭を目撃，そのうちの1頭を素手にて採集しました（そのため，標本は新鮮でなくなりました）。

この公園は，95種の自然植生植栽と自然石等にて作られましたが（いわゆるビオトープ），都市型自然公園として本種がこれからもこの公園にて確認できるかどうか注目したいと思います。

（わたなべ みつゆき
〒 336 浦和市瀬ケ崎 2-14-8-105）

【訂正】

寄せ蛾記71号　p. 1615-1622
中川利勝　続 狭山丘陵のオオムラサキ

p. 1621　17行目：生息空間としては≠ウにも狭き
→　生息空間としてはいかにも狭き

p. 1622 32行目：おわりに，ようやく最近になり
↓
おわりに

ようやく最近になり

（編集子）

【お詫びと訂正】

前号の表紙説明文中において，「マツノマダラカミキリ」とあるのは，「ナガゴマフカミキリ」の間違いでした。表紙担当小堀の思い込みによる完全なるミステイクです。細密画作者の小田博氏には特にご迷惑をお掛けしました。お詫びすると共に，ここに訂正させていただきます。

（小堀文彦）

【昨年度の“寄せ蛾記”の表紙の絵】

昨年度の“寄せ蛾記” 4 冊（68～71号）の表紙は，小田博氏による素晴らしい彩色細密画を小堀文彦氏が表紙用にデザインしたものでしたが，上述のとおり，表紙の解説の文章（表紙裏）種名をまちがえたり，落としてしまったりしておりました。小田博・小堀文彦の両氏にお詫びしますとともに，ここにもう一度，各号の表紙に用いられた甲虫の種名を記しておきたいと思います。

68号：オオセンチコガネ
69号：オオズオオキバハネカクシ
70号：クロヘリアトキリゴミムシ
71号：ナガゴマフカミキリ

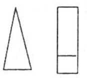
（編集子）

甲虫台紙の作り方

星野 正博

パソコンが普及し身近な道具になってきたとは言え何に使って良いのか分からない道具の１つではないでしょうか。近くにパソコンがあれば大概ワープロと表計算ソフトは揃っているようです。ワープロは良いとして，表計算ソフトを使いこなせるようになるのはなかなか大変です。

ソフトの意外な使用法を紹介します。図のような甲虫台紙が売られていますが，これは縦横に適当な大きさの升目を印刷して切断したものです。白紙に奇麗な線を引く最適な道具としてこのパソコンソフトを使ってみましょう。ワープロ専用機でも同様に作れます。



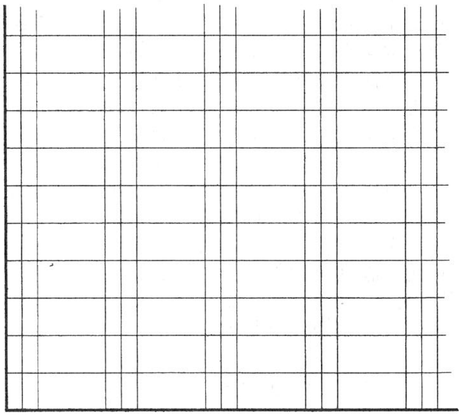
パソコンには国産パソコンに代表されるＭＳ－ＤＯＳによって動く機種と，Macintosh(以下Mac)に代表されるグラフィック画面で作業が進む機種があります(Windowsは触ったことがないがほぼ同様と思われます)。本来のソフトの使用とは異なるのでこの目的に機種とソフト合わせて選ぶ必要があります。理由は最後に記すが，ＤＯＳ系機種にはワープロソフト，Macには表計算ソフトが最適でしょう。私はワープロ専用機とMacで挑戦してみました。いずれの場合も罫線を利用するだけですが，結論としてはMac版の表計算ソフトが一番簡単かつ奇麗に仕上がります。

◆　まずMacの例から：表計算では数値の入る枠をセルと呼びます。通常の使用法ではセルに入れる文字の大きさに応じてセルの寸法を決め，表を見易くするために罫線を引きます。甲虫台紙ですから文字を入れずに，最初にセル幅と高さを調節して(どちらも０から無限？の間の好きな寸法にできます)甲虫台紙の形を整えます。細実線と２重線を適宜使い罫線を引きます。この際画面上と同じ寸法のプリントが得られるのがMacの特徴です（※WYSIWYGという）。しかし，１％刻みで拡大，縮小プリントの設定が可能ですので各自の好みに合わせて下さい。レーザープリンターがつかえる場合はこれで良いのですが，インクジェットプリンターは品位が少し落ちますので大きく作って縮小コピーすると良いと思います。後は必要数を厚手のケント紙にコピーし，切断します。やってみると，とても簡単なのでこれ以上説明は不要な事が分かります。

Macの表計算ソフトは幾つかありますがどれでもセルの幅や長さを簡単に決めることができ，操作方法はほぼ同じです。Windows版のソフトでも同様に簡単にできるのではないかと思います。ついでながら，針をさす位置に当たる部分に・を入れておくと更に便利でしょう。

◆　ワープロは談話会御用達のシャープの書院を使いました。もちろん罫線機能を使います。書式設定機能で縦の幅は0.5mm間隔で決められます。横幅は文字数で調節します。微小調整には文字の間隔を２ドット単位で変更できます。画面とプリントは一致しませんから実際にはプリントをしながら好みの形に整えます。罫線機能はどの社のワープロ，Dosパソコンのワープロソフトにもありますから，それぞれの説明書に従って罫線を引いて下さい。Dos版の場合はプリンター設定がやや面倒ですが同様に作れるはずです。

Macのワープロソフトの場合，罫線機能がDos系に比べて劣っている（現在はソフトによっては可能）のでこの目的には合わない。Dos系の表計算ソフトの場合，色々なフォントやポイントの文字を扱う発想が元々はなかったために，表に入る文字はの大きさが変化することを考えに入れてないために細かく調整するのが困難です。その点ワープロソフトは，日本の書類で多用される表を作ることが重要な柱になっているために細かな設定が可能です。最大の欠点は画面上で好きな大きさの図表にできず，プリントを繰り返して最適な形にする必要があります。しかし，いずれにせよ一度気にいったデータができれば保存するなり，プリント原稿を保存するなりして必要なときコピーすれば良いでしょう。完成品のコピーはできるだけ薄いほうが私の好みだが，各自お好きなようにどうぞ。この記事では図版印刷の都合上，太め濃いめになっています。



10年前にBASICでラベルを作る方法を紹介した際にも書いたのですが今やワープロとコピーの普及でラベルを印刷所に作ってもらう人は殆どいなくなり，活字のラベル印刷機は売れなくなってしまった様子です。今度は，甲虫台紙が売れなくなりそうです。産業革命，文明開化が古来の仕事を奪って来た過程を見るようで心が痛みます。

※　What You See Is What You Get・・・
見たままの物が得られる

ところで，こんな事とっくの昔からやっているよ！と言われそうで怖い。

（ほしのまさひろ
〒338　与野市下落合　5-14-31）

埼玉県越谷市とその周辺で記録したチョウ

上原 市郎

筆者は1983年～1993年にわたって，越谷市を中心に蝶と付き合って来ました。従来あまり記録のない地域なので，最初のうちは手探り状態でありました。ようやく全貌らしきものが見えて来たのが1985年のシーズンで，特にコムラサキとゴマダラチョウを集中的にやりましたが，これは以前住んでいたところでは全く採集できなかったのが影響したのかもしれません。両種とも分布はかなり普遍的であることも判明しました。ミドリシジミも局所的ではありますが割合普通に見られ，多産地もありました。しかし，この３種に限らず全体的に生息地は減少傾向にあり，公園化や遊歩道化して発生地が壊滅してしまったという愚かな例もかなりあります。その発想とお金の使い方がずいぶんおかしいじゃないか，と思うのであります。その他に多いのが宅地化によるもので，これは仕様のない面もありますが，中には元荒川の例のように宅地がほぼ直接岸辺に面しているような場所もあります。水害などを考慮すればあまりにも不適格な立地条件に見えますが，実際どうなのでしょうか。下記のリストでは記録されたすべての生息地を書き出してみましたが，案外に少ないなあという印象です。不確実な目撃なので，オナガアゲハ，トラフシジミ，ミスジチョウ，オオムラサキ，クロコノマチョウは含まれていません。以下の記録地で越谷市の名称は略しています。今回このリストをまとめるには，大野義昭氏と本会会員阿部功氏に談話を頂載し，いつもながら碓井徹氏にご指導，ご助言を頂きました。誌上を借りまして，御三方氏に御礼申し上げます。

セセリチョウ科

ダイミョウセセリ

大成町：数頭目撃，1990.Jul.17.岩槻市村国：1♂,1993.Jun.16.

意外なほど少なくまとまって目撃したことはない。本種とキマダラセセリは確実に減少しているようだ。低地周辺のミヤマセセリ共々憂慮される状況にあると思う。

ギンイチモンジセセリ

増林：6♂3♀,1989.Sep.1.大林：2♂2♀,1984.May.19. 大成町：5♂1♀,1991.May.4. 北葛飾郡松伏町下赤岩：2♂1♀,1990.Aug.24. 北葛飾郡松伏町築比地：4♂,1993.Apr.23；1♂1♀,1993.Apr.25；2♂,1993. May.4.

各地の河川敷に普通に見られるが，かなり局所的なようで，毎年特定のポイントだけ見られるのでもなくてかなりバラつきがあり，時期的に行っても全く見られない年もあった。

コチャバネセセリ

相模町：1♀,1987.May.18；1♀,1988.May.18；2♂1♀,1988.May.24. 増林：1♀,1988.May.18. 大成町：1♂,1993.Jun.4. 砂原元荒川遊歩道：1♂1♀,1986.Jun.2；1♂,1993.Aug.4.

それほど珍しい種類とも思われないが，どの生息地でも個体数は少ないようだ。いずれも林縁の草地で採集した。相模町の生息地は，橋の掛け替え工事で僅かばかりの樹木が伐採されたのと，整地されて草地が失くなって壊滅した。たぶん，もう生息しないと思う。

オオチャバネセセリ

砂原元荒川遊歩道：7♂8♀,1987.Jun.18. 大成町：1♂,1989.Jun.18. 増林：1♂,1989.Aug.19.

秋期ほどではないが，6月にもよく目にするセセリ。6月中旬頃は新鮮で大型の個体がられた．この時期の飛翔は概してノロく，翅の動きがよく見えるくらい．イチモンジセセリも秋期に較べるとそれほど敏捷ではなかった。

チャバネセセリ

北葛飾郡松伏町築比地：1♂,1992.Oct.3.

これが唯一の記録．河川敷をこまめに探せば見つかるものと思う。増林で記録されているが，筆者はまだ確認していない。(阿部氏によると越谷総合公園での2♂3♀,1988.Oct.1.の記録は多数のイチモンジセセリとオオチャバネセセリの中から識別採集したものだという。個体数は少ないそうだ。同じく阿部氏の記録で越谷市内では西新井県民健康福祉村で1♂,1993.Aug.13；1ex,1993.Oct.11.を記録しているが個体数は少ないという)。

ミヤマチャバネセセリ

北葛飾郡松伏町築比地：1♂,1993.Apr.23；1♀,1993.May.4.

トンボの調査の折に偶然に捕獲したもの。川向うの野田市にある河川敷や座生沼の草地でも見かけたが，個体数は多くなかった。

イチモンジセセリ

砂原元荒川遊歩道：多数目撃,1992.Oct.10.

増林ではコムラサキに追尾されているのを見掛けた。

キマダラセセリ

大成町：1頭目撃,1993.Jun.4.

従来より普通種という認識でいたので，あまり注意していなかった。今後は注目していきたい。だが多くはないようだ。(阿部氏によると浦和市大門に健在。ホソバセセリも目撃しているという。)

アゲハチョウ科

ジャコウアゲハ

相模町：1♀目撃,1985.May.17. 大成町：1♀目撃,1989.May.10；1♀,1993.Jul.31.

相模町は前記の通り。潰れてしまった。河川敷歩き回れば見つかると思うが，まだその機会がない。大林では記録が出ているし，岩槻市内の河川敷に発生地があるようだ。

アオスジアゲハ

相模町：多数目撃,1988,May.18. 増林:多数目撃,1992.Jun.9. 越谷久伊豆神社：数頭目撃,1992. Jul.19. 増森：6♂3♀,1989.May.4. 大成町：1♂(軽微なesaki型),1993.May.13. 大沢：数頭目撃,1993.May.25.

アゲハチョウ科では最も個体数が多く，アゲハよりも多い。街路樹にクスノキが植えられているので，各地で姿を見ることができる。久伊豆神社で1992.Jul.19. に占有行動を長時間観察できた。8:45～16:00過ぎるまでの時間帯で，木々の間のポッカリと空いた空間で日差しを受けて同じコースをお回りしていた。平常のイメージとは違ってひらひらと舞うようであったり，あまり翔たかずにゆっくりと滑空していた。別種のチョウや他種の昆虫がこの範囲に入り込むと追尾していた。同種が入り込むと執拗に追いかけ，暫く姿が見えなくなることもあったのでテリトリーを見張っていたのかもしれないが10mはあろうかという高所であったので，♂♀の確認はできなかった。8:45以前と16：00過ぎ以降は確認していない。当日はかなり暑い日で晴天だったが，かなりの強風のためにヤンマ科の飛翔は全く見られなかったが，本種が影響を受けている様子はなかった。

キアゲハ

東町：1♂,1990.Apr.22. 増林古利根川河川敷：1♀,1993.May.13. 砂原元荒川遊歩道：3♂1♀(他に多数目撃),1993.Aug.4. 増林：1♀,1993.Aug.5.

7月下旬～8月上旬に，ひとつの発生のピークがあるようで，この時期には個体数が多い。河川敷には大概見られる。

アゲハ

大林：1♀,1984.May.19. 平方：2♂,1985.Apr.28. 大成町：1♂,1988.Jun.4. 増林：1♀,1993.Jun.4；1♂,1993.Aug.5.

各地に見られるものの，個体数が殊更多かったという印象の生息地はない。

クロアゲハ

増林：1♂1♀(♀は裏面赤紋が発達した異常型),1984.Jul.19；1♂,1988.May.18. 越ヶ谷：1♂(21:00頃蛍光灯の光に飛来),1987.Aug.26. 花田：1♀(自宅内のネムノキに訪花),1990.Jun.28. 大成町：1♂,1990.Jul.17；1♂,1993.Jun.1.

闇がりの蝶道と思われるコースを飛んでいるのをよく見るが，個体はどこでも多くない。

モンキアゲハ

大成町：1♀,1990.Apr.22.

採集した場所は，1985年に朝日新聞社が「埼玉の自然100選」としてまとめる前に候補地を募集した中のNo.537大成町の雑木林としてリストアップされた所である。1990年までは緑のトンネルで昼間でも薄暗い環境でありクロアゲハが蝶道と思われるコースに何回も姿を現した。ちょうどそのコースとほぼ同様の空間を飛んでいたのを捕獲した。普通なら捕獲しないが，やけに白紋が目立ったのと飛び方がおかしいので確認してみたら本種だった。個体は割合新鮮だったが尾状突起が両方とも損傷していた。県内でも夏期には相当目撃されるようだが，春期の♀だったので少なくとも一冬を越したのだろう。翌年調査するつもりでいたが，採集した道路より一段低くなっている薮が盛り土されていて薮が消失してしまったのだ。何ということだ，タイミングが良(?)すぎる。回りにあったクヌギなどの広葉樹も枝を刈り落とされて木洩れ日程度のものだったのが，ずいぶん明るくなってしまった。以前よりゴミ投棄の禁止を呼びかける立て札が見られたが，ゴミの投げ捨てが一向に減らない為に業を煮やした結果なのかもしれない。確かに薮の中に入って行くのが躊躇われるほど汚かった。まだ記録地を増やせ

るだろうと期待はしている。ミスジチョウらしき個体を目撃したのもこのポイントであった。

カラスアゲハ

越谷久伊豆神社：１♂,1985.Jul.30.

各地で見ているが，個体数は少ない。飛翔している姿だけが多いが，一例だけ河川敷のネムノキに訪花した♂を見ている。

シロチョウ科

キチョウ

大林：１♂,1985.Apr.６. 増林：１♂,1985.Sep.30. 花田：１♀(自宅のネムノキに産卵),1990.Aug.１.

モンキチョウ

大林：３♂,1988.Nov.26. 大成町：３♂２♀(１♀黄色型),1990.Apr.22. 春日部市赤沼：８♂１♀,1992.Mar.30. 岩槻市村国：１♀(黄色型),1993.Jun.16.

♀の黄色型がどのくらいの比率になるのかは調べていない。６月初旬頃クサフジやシロツメクサの多い草原に群れていることがあるが，この時の飛翔はゆっくりしていてヒラヒラと舞うといった感じだった。本誌64号の1363－1364頁に塘久夫氏による年明け早々の活動記録が出ているが，こんなに早い記録は考えもしなかった。筆者が変温動物でないのは確実であるが，寒さが苦手な故に冬眠していて真冬に河川周辺を散策したことのないのが原因かもしれない。春早く出現する個体の中にはかなり小型で裏面の色彩が特異なものや縁毛の鮮やかのものも居る。

ツマキチョウ

大林元荒川河川敷：４♂１♀(１♀な新鮮個体)1984.May.19. 北葛飾郡松伏町大川戸：13♂７♀,1985.Apr.14. 平方：17♂７♀,1985.Apr.28. 川口市差間：３♂１♀,1985.Apr.29. 砂原元荒川遊歩道：１♀,1988.Apr.11；６♂,1989.Apr.６；７♂３♀,1993.Apr.18.

個体の大小が激しいが，平方で記録した時には特に♀が巨大であり，うち３♀は格別大きかった。1991.Apr.13に砂原で採集した１♂は裏面の唐草模様が流れた異常型。

モンシロチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：１♂１♀,1985.Apr.３.

春早い時期には極めて小形の個体がいて，全体的に翅形が角ばっている。このような個体は飛翔が直線的で忙しげであり，時々ツマキチョウのつもりで捕獲した。まさかツマキチョウに擬態しているわけでもあるまいが，もし擬態していたとして何かメリットがあるのか？

スジグロシロチョウ

大林：５♂１♀,1986.Apr.15. 砂原元荒川遊歩道：７♂８♀,1989.Apr.６.

シジミチョウ科

ムラサキシジミ

大林：１頭目撃,1988.Oct.19. 増林：１♂,1989.Apr.19；１♂,1989.Aug.20；１♀,1989.Sep.１.

採集したのは増林の極めて狭い空間だけ。前年までよく訪れたポイントだが，全く見られなかった。1990年よりトンボの方に力点がシフトしたのでその後はあまり出向いていない。1989年には同地で他にも本種らしき黒っぽい影をいくつか見ている。

ミズイロオナガシジミ

増林：１♂１♀,1984.Jul.23. 北葛飾郡松伏町大川戸：２♂,1985.Jun.20. 平方：１♂１♀,1985.Jun.26；１♀,1990.Jun.22.

どこでも個体数は多くない。本種はあまり静止しないので結構採り難い。裏面の黒条が発達したような個体は記録していない。

ミドリシジミ

大沢逆川流域：数頭目撃,1985.Jun.16. 砂原元荒川遊歩道：１♂,1987.Jun.18. 増林：３♂１♀(Ｏ型),1984.Jul.23；３♂１♀(Ｂ型),1993.Jun.20. 北葛飾郡松伏町大川戸：16♂,1985.Jun.20；72卵,1985.Oct.27. 平方：79♂26♀(Ｏ型＝５・ＡＢ型＝４・Ｂ型＝15・Ａ型＝２. 新鮮な７♂とＡＢ型とＡ型，それにＢ型の新鮮なもの以外は帰る際に解放，他に多数目撃),1985.Jun.22；25♂44♀,(Ｏ型＝６・ＡＢ型＝14・Ｂ型＝23・Ａ型＝１. ＡＢ型の６♀以外は解放，他にも多数目撃),1985.Jun.29；14♂63♀(Ｏ型＝21・ＡＢ型＝12・Ｂ型＝24・Ａ型＝６. 全て解放，他に多数目撃),1990.Jun.22.

逆川流域には１箇所ハンノキ並木があって，少数ながら発生していたが伐採されて生息を絶った。現在ここは逆川緑道という遊歩道になっている(小綺麗で表面的な体裁がよく西洋的な洗練とでもいうものがあるかもしれないが，市民の意見が実際のところどうなのか興味がある。文化の創成なり保存が大切なことは理解しているつもりだが，その源たる自然環境が日増しに破壊され，その犠牲の上に成り立っているのだとすれば本末転倒ではないか。わが国の迎賓館にフランスの首脳を招く

のが非常にみっともないというのが日本全国の総意で当然という雰囲気にでもならないと無意味＜いやマイナス＞な開発は止まらないのか。きっとフランス人は思っている「極東の黄色い猿のアホが」と）。松伏町大川戸の産地のうち現在残っているのは２箇所くらいか。あと４箇所程あったが，確たる理由もなく伐られてしまった。砂原の産地はしっかりとしたハンノキが何本かあって一見条件が良さそうだが，１♂が総目撃数でもある。平方よりも良さそうな環境に見えるが，わからないものである。増林の産地はほんの狭いポイントでハンノキは大木が１本だけ。しかし毎年発生しているようでゴマダラチョウが多産し，コムラサキも居る。嘗てはイチモンジチョウとアサマイチモンジが混生しオナガアゲハらしき姿を見たのもこの地である。ここでは最盛期に20頭も見られる。しかしここも整地されて遊歩道になるのだそうな(何共はやはや性懲りもなく次々とよくやりますな。いや性懲るわけはない，計画通りなんだろう。しかし毎日目を光らせているわけにもいかないのでこの計画なるものも当初はまったくわからず，ある程度破壊が進行してからわかってくる。遊歩道ばかりどんどん作ってその結果どうなるのだろうか。完成した暁に何を見ているのだろうか。作るのが目的なのか。どちらにしても価値観が違うのだろう)。平方は他産地だが，国道４号のすぐ側に何とか残っているようだ。1990.Jun.22. は熱波が来襲した日ではほとんどの個体が下草に静止していた。採集した以外にも多数目撃した。夕日を浴びて飛ぶ時は♂が白っぽく見えた。(♀はＯＡ型，ＯＡＢ型などにも分けられるが，どの型に入れるべきか判断に迷う個体がよく見られることもあって細分はしなかった。)

ゴイシシジミ

北葛飾郡松伏町大川戸：５♂４♀，1984.Aug.２;13♂12♀，1984.Aug.13. 砂原元荒川遊歩道：１♂５♀，1986.Jun.２. 増林：４♂５♀，1990.Jul.17. 大成町：２♀，1990.Jul.22.

樹陰の竹薮にはまず見られないことがないくらいだった。新鮮な個体を採ってもネットの中で暴れるので翅がスレルし，触角が柔らかく弱いので欠損してしまう場合が多かった。

ベニシジミ

大林：１♂３♀，1984.May.19；１♂１♀，1988.Nov.26. 砂原元荒川遊歩道：７♂９♀，1987.Jun.18. 平方：１♀，1992.Mar.30.

６月から夏期にかけて発生する個体の中には大型の個体が目立つ。蛹から抜け出して翅を伸ばしている個体が素早くクモに捕らえられたのを目撃した。

ウラナミシジミ

花田：１♂，1983.Oct.15. 大林：１♂，1988.Oct.19.

東京都練馬区では秋期には毎年のように群飛していたが越谷市ではそのような場面はまだ見ていない。

ヤマトシジミ

砂原元荒川遊歩道：１♂，1993.Mar.30. 大林：１♂４♀，1988.Nov.22. 宮前：１♂目撃，1988.Dec.16.

ここ２・３年初見個体が早まっていたが，1993年には３月に記録した。この１♂は殊更新鮮な個体でもなかった。1988.Dec.16. の目撃は目の前でのことで確実である。

ルリシジミ

増林：２♀，1989.Jun.13. 砂原元荒川遊歩道：７♂，1993.Mar.30.

ツバメシジミ

春日部市備後：８♂６♀，1985.Apr.28. 岩槻市村国：１♂１♀，1985.May.６. 砂原元荒川遊歩道：６♂７♀，1987.Jun.18. 大成町：２♂３♀，1990.Apr.22.

岩槻市村国はまだ文化公園が出来る前だったが三日月湖のようなものもあって，トンボにとっては惜しいことをした。６月以降に見られる個体は特に♀が巨大になる傾向が見られた。

ウラギンシジミ

越谷アリタキ・アーボレータム実験園：１♀(サイカチでの吸汁個体)，1985.Aug.12. 増林：５♂５♀，1985.Oct.９. 砂原元荒川遊歩道：１♀，1993.Aug.３.

割合各地で見られた。冬期には常緑樹の葉の裏側に静止している個体が見られ，刺激すると飛び立つ個体もあった。

テングチョウ科

テングチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：１頭目撃，1985.Jun.20. 平方：１♂，1988.Jun.22. 増林：１♂(クモの巣に掛かっていたもの，既に絶命していた)，1989.Sep.１.

以上が全目撃数である。生息状況はよくわからない。

タテハチョウ科

ミドリヒョウモン

大林：１♂，1987.Sep.24.

宮内庁埼玉鴨場が背後にある元荒川の河川敷で採れた。ボロボロの個体なので遠方からの飛来か，それとも鴨場で発生したものか。

イチモンジチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：1♀,1984.Aug. 1. 岩槻市村国：1♂,1992.Jun. 1. 砂原元荒川遊歩道：1♂1♀,1986.Jun.15. 大成町：1♂,1990.May.17. 増林：1♀,1985.May.18.

アサマイチモンジよりも少ない印象がある。増林の1産地では次種と混飛していたが整地されてから両種共全く見られなくなった。

アサマイチモンジ

北葛飾郡松伏町大川戸：1♂,1984.Aug. 2；1♂,1985.Jun.20. 増林：2♂,1985.May.18；1♂,1985.May.27. 砂原元荒川遊歩道：1♀,1986.Jun. 2. 大成町：1♂,1986.Jul.30.

年によっては個体数の比率が逆転しているような傾向もあったが，各地で見るイチモンジは大概本種である。松伏町大川戸ではイチモンジチョウとの混飛するポイントがあったが，宅地化されて産地は消滅した。個体数はあまり多くない。

コミスジ

増林：1頭目撃,1985.May.18. 大成町：1頭目撃,1988.May.24. 岩槻市黒谷：1♂,1990.Apr.28.

各地で時折見掛けるがどこでも個体数は多くないようである。

キタテハ

砂原元荒川遊歩道：16exs,1988.Oct.19. 大成町：1♂(1化),1990.May.27.

ルリタテハ

増林：1♂,1984.Aug. 1；1♂,1985.Jul. 9. 北葛飾郡松伏町大川戸：1♂,1984. 2. 砂原元荒川遊歩道：1♂(3♂目撃),1993.Sep. 5.

各地で見られるが，個体数は少ない。夕刻にテリトリーを飛翔している時には不規則で速いが，白いネットを空間に差し出しておくとよく枠に止まるので楽に採れる。

ヒオドシチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：蛹16exs.,1985.May.18. 増林：1♂,1985.Jun. 7；1♂1♀,1985.Jun. 7；1♀,1985.Jun.11.

ヒメアカタテハ

花田：3♂2♀,1987.Oct.25. 大沢：1頭目撃,1993.Sep.28. 大吉：多数目撃,1993.Sep.27.

コスモスに訪花している姿をよく見かけた。しかし，どこにでも居る種ではない。

アカタテハ

増林：1頭目撃,1990.Jul.30：1♂,1993.Aug. 5. 大沢：1頭目撃,1992.Sep. 2.

近年見られるようになったが単発の記録だけである。

コムラサキ

北葛飾郡松伏町大川戸：9♂5♀,1984.Aug.17；2♂,1985.May.30；1♂(黒色型),1985.Jul. 9. 船渡：8(1♂黒色型)♂,1986.Jun.10. 増林：1♂,1984.Aug.；1♂,1985.May.30；1♂,1993.May.27；2♂1♀,1991.May.24；1♂,1990.May.22；1♂,1993.Aug.22；4♂(1♂黒色型),1985.May.31；6♂,2♀(1♀中間型),1985.Jun. 6；1♂1♀(1♂は前翅長40.5mmの大型個体),1985.Jun.11世；11exs,幼虫(うち2♀は大型の終齢でそれぞれ全長57mmと50mm,羽化個体の前翅長はそれぞれ40.5mmと39.0mm),1985.Jul.12；2♂,1985.Jul.24；4♂,1985.Sep.17；2♂,1985.Sep.30；4♂1♀(1♂黒色型),1986.Aug.17；13♂,1988.Jun. 7；1♂(黒色型),1989.Jun.14；3♂(1♂黒色型),1989.Aug.19. 砂原元荒川遊歩道：2♂,1986.Jun.15. 越谷アリタキ・アーボレータム実験園：1♀(サイカチで吸汁),1985.Aug.13. 小曽川しらこばと水上公園：1♀,1993.Jun.16. 大成町：1♂,1993.Jun. 4. 東町：2♂1♀目撃,1990.Jun.11. 東越谷元荒川河川敷：1頭目撃,1985.Oct. 1. 岩槻市村国：3♀,1993.Jun.16.

発生経過は1化が5月下旬～7月上旬，2化が7月下旬～8月下旬・9月初旬，3化が9月中旬から10月上旬に少数発生というデータが1985年に出ている。3化の時期には中型～小型で斑紋と翅色の特徴は1化に等しい。この時期は♂が不活発でテリトリーに対する執着性が弱くキタテハが本種のような行動をとるので紛らわしく，よく樹上を旋回していた。それに翅色が濃色であって前後翅の亜外沿いにある青色の鱗粉が淡い紫色に光るのでよけいに紛らわしい。黒色型6♂と中間型1♀を記録しているが，黒色型は毎年出向いてはいるが1989.Aug.19. 以降記録できない。松伏町大川戸と船渡は元荒川の両岸になる生息地だったが，現在は宅地となっているのでコムラサキ自体があまり居ないのではないか。増林も極度にヤナギが伐採されてコムラサキそのものの個体数を減じている。県内で黒色型の記録は加須市不動岡(1969)の1♀，川口市長徳寺(1976)の1♂，秩父郡大滝村入川(1982)の2♂が確実な記録であり，今回の越谷市と周辺での記録がそれぞれ4・5・6番

目の記録地となる。加須市の記録には飼育の達人として知られる大野義昭氏の後日談がある。この記録は飼育の結果1♀が羽化したというものだが，大野氏も記録発表直後から1980年頃まで3回程幼虫採集に赴いたそうである各々50～70頭程採れて割合個体数は多かったが，黒色型は羽化しなかったという(なお余談だが，黒色型で関東では有名な栃木県宇都宮柳田の鬼怒川の河原でも幼虫を採集しているそうだが，まとまった数は採れたものの黒色型の羽化は見られなかったという)。大滝村の記録は碓井徹氏によるもので1♂は中間型であり，この時は黒色型をはっきりと判別してねらって採集したという。1993年には期待して出向いたが，コムラサキそのものが少なかったとのことで空振りに終わったそうだ。本種の褐色型の1化と2化の間には季節変異が認められる。1化の裏面は一見黒色型風の個体が多いが，だからといって翅表の黄褐色の斑紋が必ず減退するというわけではなく単純に連関していないので1化に対して2化では裏面の斑紋のコントラストが弱く全体に淡彩であって薄いオレンジ色というか柔らかい黄色である。翅表は黄褐色の斑紋が発達し，前後翅共中室と亜外縁で顕著である。有名な藤岡大図鑑のPL.109 No5に示されたような個体は2化の特徴でもあり，それほど珍しい個体でもないようだ。3化は1化の斑紋の特徴を備えているが遥に小型の個体が多い。(採集したのは僅か4♂だけであるが裏面は2化に等しい。翅表の色彩と斑紋は1化のような個体と2化のような個体があってバラつきが見られる)。1化と2化の差異では例外もあって，2化と区別できない1化♂と1化と区別できない2化♂が現在手許にある。当地域のコムラサキ♂の光沢はほとんどが淡い個体であってメタリック様の光沢の個体は少ない。また黒色型では翅表のオレンジ色の斑紋が減退気味で全体に黒っぽく見える個体ばかりである。前後翅の帯には個体変異があるが当地の個体は総じて帯の幅狭い個体が多い。中間型1♀も採っているが，帯の色も中間型で地色とのコントラストが目立つ。褐色型の♀の1化の地色はかなり黒い個体が多い。この1♀を採ったときは太陽光線に透かして帯が見えたのだが，白っぽかった(黒色型の最初の1♂を採ったときも太陽光線に透かして見えた状態で白い帯がはっきりと見えた。もしやクロか，ということでネットを身構えたことを憶えている。この年初めて1化を松伏町大川戸で採り，あまりに翅表裏共濃色であったし越谷市は加須市と川口市の間に位置することでも，もしやであった)。松崎(1993)による愛知県東部の邦文によれば，褐色型ではあるが前翅中室の四黒点周辺の褐色紋が消失した個体が図示されていて「ミカワコムラサキ」と俗称している。藤岡図鑑の増補図版PL.148.No.27に示されている個体も同様の型であろう。当地域では前翅中室の四黒点周辺の褐色紋が消失しかかっている個体が手許にあるが，完全に消失した「ミカワ型」はまだ採集していない。

♂は夕刻近くになるとテリトリーを張るが，14:00前後からポツポツとそのような個体が見られる(黒色型の1♂は11:00過ぎという例外的に早い時刻でのテリトリー行動であった)。占有行動の時刻に交尾行動を見たことはない。テリトリー内に他の♂が入ると激しく追飛し暫くして戻ってくるが，戻る前にちゃっかりテリトリーを分捕ってしまった♂を見たことがあり、直ちに戻って来た個体を追尾するところまでは確認できたのだが、樹影に隠れてしまって、最終的にはどちらが追いかけたのかの確認はできなかった。以後このような場面は目撃していないが、いずれはっきりと見極めたいと思っている。長野市犀川畔では♀がテリトリーを持っていて♂の飛来を待つという普通とは逆の生態を記録しているが，当地域でこのような観察例はない。♀の生態はわからないことばかりで，吸汁個体以外には，午後から夕刻または曇天の日に♂がよくテリトリーを張る木の周辺を纏わり付くように所在なげな飛翔をしているのを目撃できるだけであり，交尾態も日中に数える程しか目撃していない。

隣県の栃木県ではかなりの記録があり，茨城県と群馬県でも記録されているので，まだまだ記録は出てくると思う。特に岩槻市に期待している。岩槻市村国の湿地にはヤナギやクヌギが多く，なかなか良い環境である。河川敷だからこそ今まで残ってきたのだろう。ここは岩槻市の所有だそうだが，是非共手を付けずに残してもらいたい。すぐ側に岩槻文化公園があるが，どうかこれ以上拡張せずに開発の方は打ち止めに願いたい。後世にこの環境が残っていれば，岩槻市の英断が歴史的なものになろう。

越谷市役所脇を流れている葛西用水沿いにシダレヤナギの並木があるが，ここにも本種が見られ，産卵の目撃も1度や2度ではない。しかし秋期になると剪定してしまうのが原因なのか個体数は少ない（この用水の川向こうの土手にチューリップをびっしりと植栽して市側が盛んにＰＲしているが，幼い頃に見せるのには作りものではなく一見映えのよくないありのままが良いように思う。1度脳裏に焼き付いてしまうと容易に消えないだろうし，こういうものだということで終わってしまうと悪循環である。しかし子供にとってはチューリップの方がインパクトが強いだろうし，入門編としてはむしろいいのだろうか）。

ゴマダラチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：34♂6♀,1984.Aug.1；1♀(右後翅色彩異常),1985.May.30. 花田：1♀,1985.May.30. 大竹：1♀,1986.Jun.15. 砂原元荒川遊歩道：3♂1♀目撃,1986.Jun.15. 大沢：1♀,1985.Jul.24. 増林：41exs,幼虫(飼育せず)1986.Feb.5；13♂,1985.May.17；1♀,1984.Jul.17；11♂2♀,1988.May.18；2♂1♀(♀は顕著な白化型),1988.May.19；12♂6♀(♀は顕著な白化型を含む),1993.May.28；6♂2♀(1♀は前翅長48.5mmの大型個体),1993.May.29. 大成町：10♂3♀,1986.Jul.30；2♂3♀,1993.Jun.4；2♂2♀,1993.Jun.10；1♂2♀,1993.Jun.12. 平方：1♀(大型で新鮮な個体，斑紋は1化と2化の中間),1988.Jun.22. 越谷久伊豆神社：数頭目撃,1983.Sep.7. 相模町：3exs,幼虫・1ex羽化殻,1985.Nov.3. 東町～草加市柿木町：多数目撃,1990.Jun.11. 岩槻市村国：3♀,1993.Jun.16.

各地で見られるが，気候の変化にはコムラサキよりも敏感で日が陰ったり強風などで気温が低い時には活動しないことが多かった。特に腹部の重い♀は不活発で飛翔もぎごちない。増林と大成町では，樹梢辺の限られた場所に来ると♂が寄り道をするという傾向があり，その辺りに見当を付けてネットで掬ってみると新鮮な♀が入っているということが何回かあった。♂♀共夕刻になると多数が樹液に群がっていたが♀は午前中によく吸汁個体を見掛けた。夕刻でも暗くなる頃には見られなくなり，サトキマダラヒカゲやヒメジャノメが多くなって樹液にも両種が群がる(本種のいちばん早い時刻の吸汁個体は1984.Aug.3. 5:10am1♂というのがある)。明確なテリトリーというものもないようで，追飛しているような個体も少なかった。ただコムラサキだとテリトリーに侵入した♂を追飛する時にお互いに威嚇し合って卍巴が始まるが，本種の場合のグルグル回転は飛翔中お互いに搗合った時に見られた(コムラサキでは大概追飛したが，イチモンジセセリぐらいだと反応しない個体が多くなり，ハエでは見向きもしない。逆に鳥を追飛した個体もあったが，これは寧ろ追従であって追い駆けたから鳥が逃げたわけではないだろう)。♀はエノキに纏わり付くように飛翔している個体をよく見たが(どういううわけかポプラやサクラでもこのような行動をとる個体が散見された)，樹梢辺で交尾なのであろうか翅を微動させている♀もよく目撃できた。1化の♀は少ないが白化型は美しい。樹液に訪れる白化型♀はとてもタテハチョウには見えない。藤岡大図鑑のPL110,No.12・22程度の個体が少ないながら採れている。北海道や東北地方北部と対馬で白化型がどの程度のものなのかはわからない。周年経過は1化が5月中旬～6月下旬(いちばん早い記録はMay.13で♂の汚損個体も含まれる)，2化が7月中旬～8月だが8月下旬には小型の個体が目に付く。これぞ3化という個体は見ていないので，3化の時期は保留しておく。1化と2化の季節変異はコムラサキ程明瞭ではなく，1化の最も黒化した個体と2化の最も白化した個体では2化の方が白い場合もある。また年によって白化の程度は変化するようで，早い時期に発生する個体程白化する傾向が認められた。2化の♂では裏面が赤っぽくなる個体も見られる。1化では黄緑掛かったクリーム色の個体が多い。蛹もずいぶん探してみたが，低い位置では見付からず，羽化殻を見付けたのみに留まった(こういうのに限って目につき易いところにある)。今のところエノキがかなり残存しているのであまり心配はないと思うが，吸汁源のクヌギなどの伐採には注視していきたい。

ジャノメチョウ科

ヒメウラナミジャノメ

大林：1♂(他に多数目撃),1984.May.19

ヒカゲチョウ

北葛飾郡松伏町大川戸：1♂,1985.Jun.20. 増林：1♀(軽微な異常型),1989.Jun.18；1♂1♀,1990.Jun.21.

あまり個体数の多い種類ではない。想い出したように時々ポツリポツリと採れるだけである。

サトキマダラヒカゲ

増林：1♀(他に多数目撃),1993.Jun.20. 北葛飾郡松伏町築比地：8exs,,1984.Aug.13.

夕刻には波打って狂ったように乱れ飛び，馴染み深い種類である。

ヒメジャノメ

大吉調節池：多数目撃,1993.Aug.1. 岩槻市釣上新堀池：1♀,1993.Jun.16.

参考・引用文献

阿部 功（1989）越谷市総合運動場のチョウ，あしかがインセクト（7）：3.

市川和夫・原聖樹（1978）埼玉県の蝶類，埼玉県動物誌. ：259-298. 埼玉県教育委員会

市川和夫（1993）中川水系流域の動物相，2 陸

上の動物相・鱗翅類，中川水系Ⅰ総論　Ⅱ 自然，：584-589．埼玉県
猪又敏男（1990）原色蝶類検索図鑑，北隆館
碓井 徹（1982）クロコムラサキの採集例，寄せ蛾記（38）：430
荻島和美（1969）埼玉県下にてクロコムラサキが羽化，はばたき（96）：37
川副昭人・若林守男（1976）原色日本蝶類図鑑，保育社
環境庁 編（1980）日本の重要な昆虫類，南関東版（埼玉県），pp.68-69．大蔵省印刷局
環境庁 編（1980）日本の重要な昆虫類，北関東版（栃木県），p.65．大蔵省印刷局
工藤 忠（1989）白いゴマダラチョウの謎，TSUISO，No.585
倉島一也（1975）水戸市でクロコムラサキを採集する，月刊むし（49）：37
越谷市・(財)埼玉県野鳥の会（1986）越谷市環境保全区域指定調査報告書，pp.76-83,106-107,160-163
昆虫愛好会（1975）栃木県の蝶，pp.94,180．昆虫愛好会
埼玉昆虫談話会（1984）埼玉蝶の世界，埼玉新聞社
埼玉の自然を調べる会「昆虫」班（1989）越谷のミドリシジミⅠ，越谷の自然，No.３：25-30
埼玉の自然を調べる会「昆虫」班（1990）越谷のミドリシジミⅡ，越谷の自然，No.４：24-28
埼玉の自然を調べる会「昆虫」班（1991）越谷市における昆虫の越冬状況，越谷の自然，No.５：15-16
塩田正寛ほか（1992）茨城の蝶，茨城の生物，p.192．茨城県高等学校教育研究会生物部
巣瀬司・碓井徹（1992）県内のミドリシジミの記録，寄せ蛾記（63）：1307-1308
巣瀬司・碓井徹（1992）県内のミドリシジミに関する文献と分布図，寄せ蛾記（63）：1309-1313
長田健・浜栄一（1992）水辺に生きる不思議な蝶―コムラサキ，アース工房
福田晴夫・高橋真弓（1988）蝶の生態と観察，築地書館
福田晴夫ほか（1982-1984）原色日本蝶類生態図鑑（Ⅰ）－（Ⅳ）
藤岡知夫（1972）図説日本の蝶．ニューサイエンス社
藤岡知夫（1975.1981）日本産蝶類大図鑑．講談社
堀越 功（1976）水海道でクロコムラサキ採集，茨城蝶類 No.14
松崎 隆（1993）愛知県東部のコムラサキ第１化♂の変異，蝶研フィールド（82）：11-14
山本 潔（1986）八溝山でのクロコムラサキの採集報告，るりぼし（11）：８

（うえはら いちろう　〒 越谷市花田 1-19-2 ）

埼玉県東部地域の蛾類…その2

萩原　昇

凡例

1．学名および種の配列は日本産蛾類大図鑑（1982）によった．

2．記録は，以下のように記述した．

記録地：記録個体数，記録日，記録者，［文献番号］．

1)記録地に関しては，市町村名，大字名を示し50音順に並べた．

2)記録個体数に関しては，雌雄それぞれの個体数が分かっている場合には，♂♀の記号の前に数字で示した．雌雄が不明の記録個体については，ex.を付した．

3)記録日ににについては，年，月，日の順に記述した．

4)記録者については，筆者（萩原　昇）が記録者の場合にはNHの記号を付した．その他の場合には，氏名を付した．

5)埼玉県での未記録種については，「＊埼玉県初記録」と明記した．なお，これらの種は筆者の昭和63年度長期研修教員報告書「身近な自然の教材化」に掲載したが，公式に発表するのは今回が最初である．

Pyralidae　メイガ科

1　*Chilo luteellus* (Motschulsky)　ヨシツトガ　1458

大宮市染谷：1 ex.，1988．7．9，NH．杉戸町木津内：1 ex.，1988．7．5，NH．

2　*Chilo suppressalis* (Walker)　ニカメイガ　1459

大宮市染谷：1♂2♀，1988．6．11，NH．春日部市内牧：1♂，1988．5．16，NH；1♂，1988．7．11，NH．久喜市青毛：1♀，1984．5．5，NH，[1]．久喜市東：1♂，1984．5．28，江村 薫，[1]；1♂，1984．6．18，江村 薫，[1]．久喜市六万部：1♂，1984．6．6，根元 久，[1]；1♀，1984．6．24，NH，[1]；1♂，1985．5．18，NH，[1]；1♂，1985．6．15，NH，[1]；1♂，1985．8．17，NH，[1]．杉戸町木津内：2♂3♀，1988．6．4，NH．

3　*Chilo hyrax* Bleszynski　ニカメイガモドキ　1460

春日部市内牧：1♀，1988．8．9，NH．杉戸町木津内：2♂，1988．6．4，NH；2♂，1988．7．5，NH．

4　*Calamotropha paludella* (Hubner)　シロツトガ 1469

春日部市内牧：1♀，1988．7．11，NH．久喜市六万部：1♀，1984．6．11，根元 久，[1]；1♂，1985．9．9，NH，[1]．杉戸町木津内：1♂，1988．6．4，NH；3♀，1988．7．5，NH；1 ex.，1988．8．20，NH．

5　*Chrysoteuchia porcelanella* (Motschulsky)　ナカモンツトガ　1484

大宮市染谷：1♂，1988．9．10，NH．

6　*Crambus argyrophorus* Butler　シロスジツトガ　1493

久喜市東：1 ex.，1984．5．23，江村 薫，[1]．杉戸町木津内：1♀，1988．6．4，NH；2♂，1988．10．16，NH．

7　*Neopediasia mixtalis* (Walker)　クロフタオビツトガ　1518

久喜市東：1 ex.，1984．5．24，江村 薫，[1]．

8　*Parapediasia teterrella* (Zeller)　シバツトガ　1519

大宮市染谷：1♂，1988．5．14，NH；1♀，1988．6．11，NH；1 ex.，1988．8．13，竹内崇夫．春日部市内牧：1♂，1988．8．9，NH；1♂，1988．9．19，NH．久喜市東：1♀，1984．6．18，江村 薫，[1]；1♂，1984．8．13，江村 薫，[1]．久喜市六万部：1♂1♀，1985．5．18，NH，[1]．杉戸町木津内：3

♂,1988. 6 . 4 ,NH；1 ♂,1988. 9 .18,NH.

9　*Ancylolomia japonica* (Zeller)　ツトガ 1521
大宮市染谷：3 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫. 杉戸町木津内：1 ♂ 1 ♀,1988. 7 . 5 ,NH；1 ex., 1988. 7 . 20,NH. 春日部市内牧：1 ♂,1988. 6 .13,NH；1 ex.,1988. 9 .19,NH.

10　*Cotachena alysoni* Whalley　クロスカシトガリノメイガ　1533
＊　埼玉県初記録　杉戸町木津内：1 ♀,1988. 7 . 5 ,NH,[2].

11　*Piletocera sodalis* (Leech)　コガタシロモンノメイガ　1541
大宮市染谷：1 ex.,1988. 6 .11,竹内崇夫；2 ♂ 2 ♀,1988. 8 .13,NH；1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫.

12　*Clupeosoma cinereum* (Warren)　ウスムラサキスジノメイガ　1549
久喜市六万部：1 ♀,1985. 6 .15,NH,[1].

13　*Trichophysetis rufoterminalis* (Christoph)　トビモンシロノメイガ　1553
＊　埼玉県初記録　春日部市内牧：1 ex.,1988. 9 .17,NH,[2]；1 ex.,1988.10.10,NH,[2].

14　*Trichophysetis cretacea* (Butler)　フタオビノメイガ　1554
＊　埼玉県初記録　春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.,1988. 6 .13,NH,[2].

15　*Mabra charonialis* (Walker)　ミツテンノメイガ　1555
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；1 ♀,1988. 8 .13,NH；1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫, [2]. 春日部市内牧：3 exs.,1988. 7 .11,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.,1988. 8 .19,NH.

16　*Pycnarmon pantherata* (Butler)　クロオビノメイガ　1560
春日部市内牧：1 ♂,1988. 6 . 6 ,NH.

17　*Hymenia recurvalis* (Fabricius)　シロオビノメイガ　1562
春日部市内牧：1 ex.,1988.10.11,NH. 久喜市青毛：2 exs.,1984.10. 6 ,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5 .18,NH,[1]；1 ex.,1985. 9 . 9 ,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ♂,1988. 8 .20,NH；1 ♂,1988. 9 .18, NH.

18　*Eurrhyparodes accessalis* (Walker)　アヤナミノメイガ　1563
大宮市染谷：1 ex.,1988.10. 9 ,竹内崇夫. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 8 .20,NH.

19　*Agrotera nemoralis* (Scopoli)　ウスムラサキノメイガ　1565
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ♀,1988. 6 . 6 ,NH；1 ♂,1988. 8 . 9 , NH.

20　*Pagyda arbiter* (Butler)　フタマタノメイガ　1568
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫.

21　*Cnaphalocrocis medinalis* (Guenee)　コブノメイガ　1574
大宮市染谷：1 ♀,1988. 7 . 9 ,NH；1 ex.,1988.10. 9 ,NH. 杉戸町木津内：1 ♀,1988.10.16,NH.

22　*Marasmia limbalis* WILEMAN　ハカジモドキノメイガ　1576
＊　埼玉県初記録　大宮市染谷：1 ♂,1988. 8 .13,NH,[2]；1 ex.,1988. 8 .13, ：竹内崇夫,[2].

23　*Conogethes punctiferalis* (Guenee)　モモノゴマダラノメイガ　1596
久喜市青毛：1 ex.,1986. 8 . 9 , 江村 薫,[1]；2 exs.,1986. 9 . 6 ,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 9 . 9 ,NH[1].

24　*Nacoleia commixta* (Butler)　シロテンキノメイガ　1598
春日部市内牧：2 exs.,1988. 7 .11,NH.

25　*Goniorhynchus exemplaris* Hampson　クロズノメイガ　1615
春日部市内牧：1 ♂,1988. 8 . 9 ,NH.

26　*Goniorhynchus butyrosa* (Butler)　クロヘリキノメイガ　1616
春日部市内牧：1 ex.,1988. 7 .18,NH；1 ex.,1988. 7 .21,NH.

27　*Pleuroptya ruralis* (Scopoli)　ウコンノメイガ　1625
久喜市青毛：1 ♂ 3 ♀,1986. 8 . 9 ,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6 .11,根元 久, [1]；1 ex.,1985. 9 . 9 ,NH,[1].

28 *Palpita nigropunctalis* (BREMER)　マエアカスカシノメイガ　1648

大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH；1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫；1 ex., 1988.10. 9,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 7.11,NH；1 ex., 1988. 8. 9,NH；1 ex.,1988. 9.17,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH；1 ex.,1988.10.10,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984. 5. 5,NH,[1]；2 exs.,1984.10. 6,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6. 7,根元 久,[1]；1 ex.,1984.10.15,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 6. 4,NH；1 ex.,1988. 9.18,NH；1 ex.,1988.10.16,NH.

29 *Palpita inusitata* (BUTLER)　ヒメシロノメイガ　1649

春日部市内牧：1♀,1988. 9.17,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984. 5.24,NH,[1]；2 exs.,1986. 8. --,NH, [1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6.28,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♀,1988. 8.20,NH；1♂, 1988. 9.18, NH.

30 *Diaphaniaindica* SAUNDER　ワタヘリクロノメイガ　1651

久喜市六万部：2 exs.,1985. 9. 9,NH,[1].

31 *Glyphodes perspectalis* (WALKER)　ツゲノメイガ　1652

久喜市六万部：1♀,1985. 9. 9,NH,[1].

32 *Glyphodes pyloalis* WALKER　チビスカシノメイガ　1658

春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11,NH.

33 *Circobotys nycterina* BUTLER　カギバノメイガ　1689

大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,NH. 久喜市六万部：2 exs.,1985. 5.18,NH,[1].

34 *Maruca testulalis* (HUBNER)　マメノメイガ　1692

春日部市内牧：3 exs.,1988.10.10,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18,NH,[1]；5exs.,1985. 9. 9, NH,[1].

35 *Nomophila noctuella* (DENIS & SCHIFFERMULLER)　ワモンノメイガ　1695

大宮市染谷：8 exs.,1988. 7. 9,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫；1 ex.,1988. 9.10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.18,NH；1 ex.,1988. 8. 9,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH；2 exs.,1988.10.10, NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.,1988. 7.18,NH. 久喜市青毛：3exs., 1986. 9. 6,NH,[1]. 杉戸町木津内：2 exs.,1988.10.16,NH.

36 *Bradina atopalis* (WALKER)　シロテンウスグロノメイガ　1696

＊ 埼玉県初記録　大宮市染谷：1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫,[2]. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11, NH. 杉戸町木津内,[2]：1 ex.,1988. 8.20,NH,[2].

37 *Bradina geminalis* CARADJA　モンウスグロノメイガ　1697

大宮市染谷：2 exs.,1988. 8.13,NH；2 exs.,1988. 8.13,竹内崇夫；3 exs.,1988. 9.10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7. 5,NH；1 ex.,1988. 7.21,NH；1 ex.,1988. 8. 9,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984. 8.13,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 7.24,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex., 1988. 7. 5,NH.

38 *Herpetogramma rudis* (WARREN)　マエキノメイガ　1701

春日部市内牧：1♂1♀,1988. 7.11,NH；1 ex.,1988. 8.19,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1986. 8. 8,NH,[1]；1 ex.,1986. 9. 6,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 9. 9,NH, [1]. 杉戸町木津内：1♀,1988. 9.18,NH；1♂,1988.10.16,NH.

39 *Herpetogramma luctuosalis* (GUENEE)　モンキクロノメイガ　1712

大宮市染谷：1♀,1988. 7. 9,NH；1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂2♀, 1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 6.13,NH；1♀,1988. 7.11,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：3♀, 1988. 8.17,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984. 8.13,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6. 3,根元 久,[1]；1 ex.,1984. 7. 28,NH,[1]；1 ex.,1985. 6.15,NH,[1]；1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♀,1988. 6. 4,NH；2♂,1988. 8.20,NH；1 ex.,1988. 9.18,NH.

40 *Diasemia litterata* (SCOPOLI)　シロアヤヒメノメイガ　1720

大宮市染谷：2♀,1988. 6.11,NH；1 ex.,1988. 6.11,竹内崇夫；1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫；1 ex., 1988. 9.10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♀,1988. 6. 6,NH；1♀,1988. 6.13,NH；1♂, 1988. 9.13,NH；1♂,1988. 9.19,NH.

41 *Diasemia accalis* (WALKER) キアヤヒメノメイガ 1721
大宮市染谷：1 ex.,1988. 9.10,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 9.17,NH. 久喜市青毛：1 ex., 1986. 9. 6,NH,[1]. 久喜市東：1 ex.,1984. 6.18,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18, NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 7. 5,NH；2 exs.,1988. 8.20,NH.

42 *Sclerocona acutella* (EVERSMANN) タテシマノメイガ 1735
大宮市染谷：1 ex.,1988. 6.11,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 8. 9,NH. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 7. 5,NH.

43 *Prodasycnemis inornata* (BUTLER) キムジノメイガ 1736
春日部市内牧：1♂,1988. 8. 9,NH. 久喜市青毛：2 exs.,1986. 9. 6,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 6.15,NH,[1]；1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1].

44 *Ostrinia palustralis* (HUBNER) ユウグモノメイガ 1757
春日部市内牧：1♂,1988. 7.11,NH.

45 *Ostrinia furnacalis* (GUENEE) アワノメイガ 1761
春日部市内牧：1♂,1988. 7.11,NH；1♂,1988. 8. 9,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984.10. 6,NH, [1]. 久喜市東：2 exs.,1984. 6.18,江村 薫,[1]；1 ex.,1984. 8.13,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：1 ex., 1984. 6.10,根元 久,[1]；1 ex.,1984. 6.24,NH,[1]；2 exs.,1985. 5.18,NH,[1]；2 exs., 1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♂1♀,1988. 5.11,NH；1♀,1988. 7. 5,NH；2♂,1988. 8. 20,NH.

46 *Ostrinia scapulalis* (WALKER) フキノメイガ 1762
大宮市染谷：1♂,1988. 5.14,NH；1♀,1988. 6.11,NH. 春日部市内牧：2♂,1988. 5.16,NH；1♂,1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 8. 9,NH. 久喜市六万部：2 exs. ,1984. 6.11,根元 久,[1]；1 ex.,1984. 6. 16,根元 久,[1]；2 exs.,1985. 5.18,NH,[1].

47 *Udea testacea* (BUTLER) クロモンキノメイガ 1766
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH,[2]；1 ex.,1988.10. 9,NH,[2]. 春日部市梅田：1 ex.,1988. 5. 5, NH. 久喜市六万部：2 exs.,1985. 5.18,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♂,1988. 7. 5, NH；1♂1♀,1988. 8.20,NH；1♂,1988. 9.18,NH.

48 *Demobotys pervulgalis* (HAMPSON) トガリキノメイガ 1777
久喜市青毛：2 exs.,1987. 7.27,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18,NH,[1]；2 exs., 1985. 6. 15,NH,[1]；1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1].

49 *Anania verbascalis* (DENIS & SCHIFFERMULLER) ヒメトガリノメイガ 1797
大宮市染谷：2♂1♀,1988. 6.11,NH；1 ex.,1988. 6.11,竹内崇夫. 春日部市内牧：3♂2♀, 1988. 6. 6,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6.11,根元 久,[1]；1 ex.,1985. 6.15,NH,[1]；1 ex., 1985. 9. 9,NH,[1].

50 *Nymphula fengwhanalis* PRYER ネジロミズメイガ 1805
久喜市青毛：1 ex.,1986. 8. 9,江村 薫,[1]；4exs.,1987. 8. 9, 江村 薫,[1]. 久喜市東：1 ex.,1984. 8.13,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 7.28,NH,[1].

51 *Nymphula responsalis* (WALKER) ヒメマダラミズメイガ 1806
大宮市染谷：1 ex.,1988. 9.10,NH；4 exs.,1988. 9.10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 8.19, NH；2 exs.,1988. 9.17,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH；1 ex.,1988. 9.21,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.,1988. 9.10,NH. 久喜市青毛：2 exs.,1984. 8.13,NH,[1]；6exs.,1986. 8. 9, 江村 薫,[1]. 久喜市六万部：2 exs.,1985. 8.17,NH,[1]；3exs.,1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♂1♀,1988. 8.20,NH；1♀,1988. 9.18,NH.

52 *Aphomia zelleri* (JOANNIS) オオツヅリガ 1838
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11,NH.

53 *Lamoria glaucalis* CARADJA アカフツヅリガ 1842
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH.

54 *Lipidogma atribasalis* (HAMPSON) ネグロフトメイガ 1849
＊ 埼玉県初記録 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.18,NH,[2].

55 *Jocara melanobasis* (HAMPSON) コネアオフトメイガ 1851
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 春日部市内牧：2 exs.,1988. 7 .11,NH；1 ex.,1988. 8 . 9 , NH.

56 *Epilepia dentata* (MATSUMURA & SHIBUYA) ハスジフトメイガ 1861
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,NH；1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；2 exs.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ♂,1988. 6 .13,NH；2 exs.,1988. 7 .11,NH；1 ♂ 1 ♀,1988. 7 .18,NH；1 ex., 1988. 8 . 9 ,NH；1 ex.,1988. 8 .19,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 6 .15,NH,[1].

57 *Lamida obscura* (MOORE) ウスグロフトメイガ 1862
久喜市六万部：1 ex.,1985. 7 .28,江村 薫,[1]；1 ex.,1985. 8 .17,NH,[1].

58 *Locastra muscosalis* (WALKER) トサカフトメイガ 1863
久喜市六万部：1 ♀,1985. 8 .17,NH,[1].

59 *Craneophora ficki* CHRISTOPH ナカムラサキフトメイガ 1864
大宮市染谷：1 ♀,1988. 6 .11,NH；1 ex.,1988. 6 .11,竹内崇夫；1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；1 ♂, 1988. 8 .13,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 6 . 6 ,NH. 久喜市六万部：1 ♀,1985. 8 .17,NH, [1].

60 *Orthaga onerata* (BUTLER) ネアオフトメイガ 1866
春日部市内牧：1 ♂ 1 ♀,1988. 8 . 9 ,NH.

61 *Orthaga achatina* (BUTLER) ナカトビフトメイガ 1868
春日部市内牧：1 ♀,1988. 8 . 9 ,NH.

62 *Aglossa dimidiata* HAWORTH コメシマメイガ 1870
採集データ不明, 1 ♂ 1 ♀,1985. -. -,NH,[1].

63 *Hypsopygia regina* (BUTLER) トビイロシマメイガ 1873
大宮市染谷：1 ex.,1988. 6 .11,NH；1 ex.,1988. 6 .11,竹内崇夫；1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；1 ex., 1988. 8 .13,NH；1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 春日部市内牧：2 exs.,1988. 7 .11,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.,1988. 6 .13,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 6 .15,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 7 . 5 ,NH.

64 *Tegulifera bicoloralis* (LEECH) マエモンシマメイガ 1883
春日部市内牧：1 ex.,1988. 7 .21,NH.

65 *Orthopygia glaucinalis* (LINNAEUS) フタスジシマメイガ 1886
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,NH；2 exs.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 久喜市東：1 ex.,1984. 6 .18,江村 薫,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 7 . 5 ,NH.

66 *Orthopygia nannodes* (BUTLER) ツマアカシマメイガ 1887
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6 . 6 ,NH.

67 *Herculis pelasgalis* (WALKER) アカシマメイガ 1891
春日部市内牧：1 ♀,1988. 7 .11,NH；1 ♀,1988. 8 . 9 ,NH.

68 *Datanoides misakiensis* (SHIBUYA) ミサキクシヒゲシマメイガ 1898
久喜市青毛：1 ♀,1987. 6 .27,NH,[1].

69 *Arippara indicator* WALKER ツマグロシマメイガ 1899
春日部市内牧：1 ♂,1988. 7 .11,NH；1 ♂ 2 ♀,1988. 8 . 9 ,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 8 . 17, NH,[1].

70 *Endotricha consocis* (BUTLER) ウスオビトガリメイガ 1901
春日部市内牧：1 ex.,1988. 8 . 9 ,NH. 久喜市六万部：1 ♀,1984. 7 .24,NH,[1]；1 ♂,1985. 8 . 17, NH,[1].

71 *Endotricha theonalis* (WALKER) カバイロトガリメイガ 1902
大宮市染谷：2 exs.,1988. 8 .13,竹内崇夫. 久喜市東：1 ♀,1984. 5 .24,江村 薫,[1].

72 *Endotricha kuznetzovi* WHALLEY キモントガリメイガ 1903
春日部市内牧：3 exs.,1988. 6 .13,NH. 杉戸町木津内：2 exs.,1988. 6 . 5 ,NH；1 ex.,1988. 9 .

18, NH.

73 *Endotricha icelusalis* (WALKER) オオウスベニトガリメイガ 1905
大宮市染谷：1 ex., 1988. 6.11, NH；1 ex., 1988. 6.11, 竹内崇夫；1 ex., 1988. 7. 9, 竹内崇夫；1 ex., 1988. 8.13, 竹内崇夫. 春日部市内牧：5 exs., 1988. 6. 6, NH；2 exs., 1988. 6.13, NH. 杉戸町木津内：3 exs., 1988. 7. 5, NH.

74 *Endotricha olivacealis* (BREMER) ウスベニトガリメイガ 1908
大宮市染谷：3 exs., 1988. 6.11, NH；1 ex., 1988. 8.13, NH；1 ex., 1988. 8.13, 竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex., 1988. 5.16, NH；5 exs., 1988. 6. 6, NH；1 ex., 1988. 8. 9, NH.

75 *Euzopherabigella* (ZELLER) フタモンマダラメイガ 1916
* 埼玉県初記録 春日部市内牧：2 exs., 1988. 7.11, NH, [2].

76 *Nyctegretis triangulella* RAGONOT サンカクマダラメイガ 1922
大宮市染谷：2 exs., 1988. 6.11, NH；1 ex., 1988. 8.13, NH. 春日部市内牧：3 exs., 1988. 6. 13, NH；1 ex., 1988. 7.11, NH；1 ex., 1988. 8.19, NH；1 ex., 1988. 9.17, NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex., 1988. 9.19, NH. 久喜市青毛：3 exs., 1986. 8. 9, 江村 薫, [1]. 久喜市六万部：1 ex., 1984. 7.28. NH, [1]；1 ex., 1985. 6.15, NH, [1]. 杉戸町木津内：1 ex., 1988. 8.20, NH.

77 *Phycitodes subcretacellus* (RAGONOT) マエジロホソマダラメイガ 1925
* 埼玉県初記録 春日部市内牧：1 ex., 1988. 8. 9, NH, [2].

78 *Plodia interpunctella* (HUBNER) ノシメマダラメイガ 1930
春日部市梅田：1 ex., 1988.10, 22, NH.

79 *Nephopterix mikadella* (RAGONOT) ミカドマダラメイガ 1942
大宮市染谷：1 ex., 1988. 9.10, NH；1 ex., 1988. 9.10, 竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex., 1988. 9.17, NH. 久喜市六万部：1 ex., 1985. 5.18, NH, [1]；1 ex., 1985. 6.15, NH, [1].

80 *Salebria semirubella* (SCOPOLI) アカマダラメイガ 1946
大宮市染谷：1 ex., 1988. 6.11, NH；1 ex., 1988. 8.13, NH；2 exs., 1988. 8.13, 竹内崇夫. 春日部市内牧：2 exs., 1988. 6. 6, NH；1 ex. , 1988. 6.13, NH；1 ex. , 1988. 7.11, NH；1 ex. , 1988. 8.19, NH；1 ex. , 1988. 9.17, NH；1 ex. , 1988. 9.19, NH. 久喜市青毛：1 ex., 1986. 8. 9, 江村 薫, [1]；2 exs., 1987. 7. 27, NH, [1]. 久喜市六万部：2 exs., 1985. 6.15, NH, [1].

81 *Acrobasis ferruginella* WILEMAN アカフマダラメイガ 1966
大宮市染谷：3 exs., 1988. 7. 9, NH. 久喜市六万部：1 ex., 1985. 6.15, NH, [1].

82 *Dioryctria pryeri* RAGONOT マツアカマダラメイガ 1976
* 埼玉県初記録 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex., 1988. 6.13, NH, [2].

83 *Eurhodope pseudodichromella* YAMANAKA コフタグロマダラメイガ 1984
大宮市染谷：1 ex., 1988. 5.14, NH；1 ex., 1988. 8.13, NH. 春日部市内牧：1 ex., 1988. 5.16, NH；2 exs., 1988. 6. 6, NH；4 exs., 1988. 7.11, NH. 久喜市六万部：1 ex., 1985. 5.18, NH, [1]. 杉戸町木津内：1 ex., 1988. 5.11, NH；1 ex. , 1988. 7.20, NH.

84 *Eurhodope hollandella* Rgonot トビネマダラメイガ 1986
春日部市内牧：1 ex., 1988. 6.13, NH.

85 *Conobathra rubiginella* INOUE ホソアカオビマダラメイガ 1998
* 埼玉県初記録 春日部市内牧：2 exs., 1988. 7.11, NH, [2].

86 *Conobathra birgitella* ROESLER ヒメアカオビマダラメイガ 2000
久喜市六万部：1 ex., 1985. 6.15, NH, [1].

87 *Conobathra frankella* ROESLER オオアカオビマダラメイガ 2002
久喜市青毛：1 ex., 1987. 7.27, NH, [1].

88 *Ceroprepes ophthalmicella* (CHRISTOPH) ウスアカモンクロマダラメイガ 2006
* 埼玉県初記録 大宮市染谷：1 ex., 1988. 5.14, NH, [2].

89 *Etiella zinckenella* (TREITSCHKE) シロイチモンジマダラメイガ 2009
春日部市内牧：2 exs., 1988. 6. 6, NH；1 ex., 1988. 7.11, NH；1 ex., 1988. 8. 9, NH；1 ex.,

1988. 9 .17, NH ; 2 exs., 1988.10.10, NH. 久喜市青毛 : 1 ex., 1986. 8 . 9, 江村 薫, [1] ; 3exs., 1987. 7 .27, NH, [1]. 久喜市六万部 : 2 exs., 1985. 5 .18, NH, [1] ; 1 ex., 1985. 6 .18, NH, [1]. 杉戸町木津内 : 1 ex., 1988. 8 .20, NH ; 1 ex., 1988. 9 .18, NH.

90 *Rhinaphe neesimella* (RAGONOT) ニイシマホソメイガ 2019
久喜市東 : 1 ex., 1984. 5 .24, 江村 薫 ; 1 ex., 1984. 5 .27, 江村 薫 ; 1 ex., 1984. 8 .13, 江村 薫 ; 1 ex., 1984. 8 .27, 江村 薫. 久喜市六万部 : 1 ex., 1984. 6 .11, 根元 久. 杉戸町木津内 : 1 ex., 1988. 8 .20, NH.

Drepanidae カギバガ科

1 *Ditrigona virgo* (BUTLER) フタテンシロカギバ 2097
久喜市六万部 : 2 exs., 1988. 5 .20, NH, [1].

2 *Oretapulchripes* BUTLER アシベニカギバ 2105
春日部市内牧 : 1 ex., 1988. 6 . 6, NH.

3 *Oreta turpis* BUTLER クロスジカギバ 2107
春日部市内牧 : 1 ♂, 1988. 6 . 6, NH ; 1 ♀, 1988.10.10, NH. 春日部市粕壁（八幡神社） : 1 ex., 1988.10.11, NH. 久喜市六万部 : 1 ♀, 1984. 6 . 7, 根元 久, [1] ; 1 ♀, 1984. 6 .12, 根元 久, [1] ; 1 ♂, 1984. 10.15, NH, [1] ; 2 ♂, 1985. 5 .18, NH, [1] ; 1 ♂, 1985. 6 .15, NH, [1].

4 *Hypsomadius insignis* BUTLER アカウラカギバ 2109
大宮市染谷 : 1 ex., 1988. 9 .10, 竹内崇夫 ; 1 ♀, 1988.10. 9, NH.

Thyatiridae トガリバガ科

1 *Tethea ampliata* ampliata (BUTLER) オオバトガリバ 2125
春日部市内牧 : 5 exs., 1988. 6 . 6, NH.

2 *Tethea octogesima* (BUTLER) ホソトガリバ 2126
大宮市染谷 : 1 ex., 1988. 6 .11, NH ; 2 exs., 1988. 7 . 9, NH. 久喜市青毛 : 1 ♂ 1 ♀, 1984. 8 . 13, NH, [1]. 久喜市六万部 : 2 ♂, 1984. 7 .28, 江村 薫, [1] ; 1 ♂ 1 ♀, 1984. 8 . 2, 江村 薫, [1].

3 *Parapsestis argenteopicta* (OBERTHUR) ギンモントガリバ 2135
春日部市内牧 : 1 ex., 1988. 6 . 6, NH.

Geometridae シャクガ科

1 *Pachyodes superans* (BUTLER) オオアヤシャク 2173
大宮市染谷 : 1 ♂, 1988.10. 9, NH.

2 *Tanaorhinus reciprocata* (WALKER) カギバアオシャク 2181
久喜市六万部 : 1 ♂, 1984. 6 .24, NH, [1] ; 1 ♂, 1985. 6 .15, NH, [1]. 久喜市青毛 : 1 ♂, 1987. 7 .27, NH, [1].

3 *Geometra dieckmanni* GRAESER カギシロスジアオシャク 2185
久喜市六万部 : 1 ex., 1985. 9 . 9, NH, [1].

4 *Hemithea aestivaria* (HUBNER) キバラヒメアオシャク 2212
久喜市六万部 : 1 ♀, 1985. 6 .15, NH, [1] ; 1 ♀, 1985 8.17, NH, [1]. 杉戸町木津内 : 1 ♀, 1988. 8 .20, NH.

5 *Chlorissa obliterata* (WALKER) コウスアオシャク 2216
春日部市内牧 : 1 ex., 1988. 5 .16, NH.

6 *Culpinia diffusa* (WALKER) アカアシアオシャク 2223
久喜市上清久 : 1 ex. , 1984. 6 . 8, 江村 薫, [1].

7 *Comibaena procumbaria* (PRYER) ヨツモンマエジロアオシャク 2226
久喜市六万部 : 1 ♂, 1985. 6 .15, NH, [1] ; 1 ♀, 1985. 8 .17, NH, [1].

8 *Comostola subtiliaria nympha* (BUTLER) コヨツメアオシャク 2239
大宮市染谷 : 1 ♀, 1988.10. 9, NH. 春日部市内牧 : 1 ♀, 1988. 7 .11, NH ; 1 ♂, 1988.10.10, NH.

久喜市青毛：1 ex. ,1984. 5 .24,NH,[1]；1 ex.,1985. 8 .17,NH,[1].

9 *Pylargosceles steganioides* (Butler) フタナミトビヒメシャク 2244
春日部市内牧：1 ex.,1988. 5 .21,NH；1 ex.,1988. 8 . 9 ,NH.

10 *Timandra griseata prouti* (Inoue) ベニスジヒメシャク 2245
春日部市内牧：1♀,1988. 9 .17,NH. 久喜市東：1♀,1984. 6 .18,江村 薫,[1]；1♂,1987. 5 . 20, NH,[1].

11 *Timandra comptaria* Walker コベニスジヒメシャク 2246
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6 . 6 ,NH；1 ex.,1988. 9 .17,NH；1 ex.,1988. 9 .21,NH. 久喜市六万部：1♂,1984. 7 .28,NH,[1].

12 *Timandra dichela* (Prout) ウスベニスジヒメシャク 2248
春日部市内牧：1♂,1988. 7 .21,NH；1♂,1988. 9 .21,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984. 5 .20,NH, [1]. 杉戸町木津内：2 exs.,1988. 8 .20,NH.

13 *Scopula nigropunctata imbella* (Warren) マエキヒメシャク 2271
大宮市染谷：1♀,1988.10. 9 ,NH. 久喜市青毛：1♀,1987. 9 . 6 ,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♂, 1988. 7 . 5 ,NH；2♂,1988. 8 .20,NH；1♀,1988. 9 .18,NH.

14 *Scopula corrivalaris eccletica* Prout ウラナミヒメシャク 2277
＊ 埼玉県未記録 春日部市内牧：1 ex.,1988. 8 . 9 ,NH,[2].

15 *Scopula personata* (Prout) ナミスジチビナミシャク 2279
大宮市染谷：1 ex.,1988.10. 9 ,NH；1 ex.,1988.10. 9 ,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7 .11, NH；1 ex.,1988. 7 .18,NH；1 ex.,1988. 8 . 9 ,NH；1 ex.,1988. 9 .17,NH. 杉戸町木津内：2 exs.,1988. 7 . 5 ,NH.

16 *Scopula emissaria lactea* (Butler) キトガリヒメシャク 2284
大宮市染谷：1♀,1988. 9 .10,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5 .18,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♀, 1988. 9 .18,NH.

17 *Scopula superior* (Butler) キナミシロヒメシャク 2292
春日部市内牧：1 ex.,1988. 5 .16,NH. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 9 .18,NH.

18 *Scopula nupta* (Butler) サザナミシロヒメシャク 2299
春日部市内牧：2 exs.,1988. 6 . 6 ,NH.

19 *Scopula ignobilis* (Warren) ウスキクロテンヒメシャク 2309
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂,1988. 5 .16,NH；1♀,1988. 6 . 6 , NH. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6 .11,根元 久,[1]；1 ex.,1984. 7 .28,NH,[1]；1 ex.,1985. 9 . 9 ,NH,[1].

20 *Idaea muricata minor* (Sterneck) ベニヒメシャク 2312
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6 .13,NH；1 ex.,1988. 7 .11,NH.

21 *Idaea auricruda* (Butler) ヨスジキヒメシャク 2323
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 6 .13,NH；1 ex.,1988. 7 .11, NH. 久喜市六万部：2 exs.,1985. 6 .15,NH,[1].

22 *Xanthorhoe saturata* (Guenee) フトジマナミシャク 2397
春日部市内牧：1 ex.,1988.10.10,NH.

23 *Xanthorhor hortensiaria* (Graeser) フタトビスジナミシャク 2401
久喜市青毛：2 exs.,1984. 5 . 5 ,NH,[1]. 久喜市原：1 ex.,1985. 5 .18,NH,[1].

24 *Xanthorhoe muscicapata* (Christoph) ツマグロナミシャク 2402
春日部市内牧：4 exs.,1988. 9 .17,NH.

25 *Orthonama obstipata* (Fabricius) トビスジヒメナミシャク 2403
大宮市染谷：1♀,1988. 8 .13,NH. 春日部市内牧：2♂,1988. 7 .11,NH；1♀,1988. 9 .19,NH. 杉戸町木津内：2♀,1988. 6 . 4 ,NH；1♂2♀,1988.10.16,NH.

26 *Microcalcarifera obscura* (Butler) フタモンクロナミシャク 2413

大宮市染谷：2 exs.,1988. 5.14,NH；1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18, NH,[1].

27 *Evecliptopera decurrens illitata* (WILEMAN) セスジナミシャク 2463
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8.13,NH；1 ex.,1988. 9.10,NH.

28 *Ecliptopera umbrosaria umbrosaria* (MOTSCHULSKY) オオハガタナミシャク 2465
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 9.18,NH.

29 *Asthena corculina* BUTLER キムジシロナミシャク 2524
久喜市六万部：1 ex.,1984. 5. 3,根元 久,[1]；1 ex.,1985. 8.17,NH,[1]；1 ex.,1985. 9. 9, NH,[1].

30 *Perizoma saxeum* (WILEMAN) ヒメカバスジナミシャク 2538
＊ 埼玉県未記録 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 5.11,NH,[2].

31 *Eupithecia rufescens* BUTLER ウスアカチビナミシャク 2548
春日部市内牧：2 exs.,1988. 6. 6,NH. 久喜市東：1 ex.,1984. 5.24,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：4exs.,1985. 5.18,NH,[1].

32 *Chloroclystis v-ata lucinda* (BUTLER) クロスジアオナミシャク 2616
大宮市染谷：1 ex.,1988. 9.10,NH. 春日部市内牧：2 exs.,1988. 9.21,NH.

33 *Abraxas miranda miranda* BUTLER ユウマダラエダシャク 2648
春日部市内牧：1 ex.,1988. 5.20,NH；1♀,1988. 6. 6,NH；1 ex.1988. 9.17,NH；1♂,1988. 9.21, NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：1 ex.1988. 6.13,NH. 久喜市青毛：1♂,1984. 5.20,NH, [1]. 久喜市六万部：1♀,1984. 6. 6,根元 久,[1]；1♀,1984. 6.10,根元 久,[1]. 杉戸町木津内：1♀,1988. 9.18, NH.

34 *Parabapta clarissa* (BUTLER) ウスアオエダシャク 2675
大宮市染谷：3 exs.,1988. 5.14,NH；1 ex. ,1988. 5.14,竹内崇夫.

35 *Plesiomorha flaviceps* (BUTLER) マエキオエダシャク 2678
大宮市染谷：1 ex.,1988. 6.11,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 6.13,NH. 久喜市六万部：1♂, 1984. 7.29,江村 薫,[1]；1♂,1985. 6.15,NH,[1]；1♀,1985. 7.17,NH,[1].

36 *Synegia hadassa hadassa* (BUTLER) ハグルマエダシャク 2685
久喜市青毛：1♂2♀,1984. 8.13,NH,[1]. 久喜市六万部：1♀,1985. 8.17,NH,[1].

37 *Synegia esther* BUTLER クロハグルマエダシャク 2688
大宮市染谷：1 ex.,1988.10. 9,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 7.11, NH.

38 *Semiothisa defixaria* (WALKER) フタテンオエダシャク 2697
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH；1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫.

39 *Semiothisa hebesata* (WALKER) ウスオエダシャク 2698
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫；1 ex.,1988. 9.10,竹内崇夫；1 ex.,1988.10. 9,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂1♀,1988. 8. 9,NH；1♂,1988. 9.17, NH. 久喜市青毛：2 exs.,1985. 9. 6,NH,[1]；1 ex.,1986. 8. 9,江村 薫,[1]；1 ex.,1987. 7.27, NH,[1].

40 *Semiothisa shanghaisaria* (WALKER) シャンハイオエダシャク 2699
春日部市内牧：1 ex.,1988. 9.17,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 5.11,NH.

41 *Trigonoptila latimarginaria* (LEECH) ツマジロエダシャク 2710
久喜市青毛：1♀,1984. 5.24,NH,[1].

42 *Cystidia couaggaria couaggaria* (GUENEE) ウメエダシャク 2722
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6.25,NH. 久喜市青毛：2 exs.,1984. 7.29,NH,[1].

43 *Apocleora rimisa* (BUTLER) クロクモエダシャク 2740
春日部市内牧：1♂,1988. 6. 6,NH；1♂,1988. 7.11,NH.

44 *Cleora repulsaria* (WALKER) フトスジエダシャク 2748
春日部市内牧：１♂,1988.８.９,NH.

45 *Alcis angulifera* (BUTLER) ナカウスエダシャク 2752
春日部市内牧：１♀,1988.６.６,NH. 春日部市梅田：１♂,1988.６.６,NH.

46 *Rikiosatoa grisea grisea* (BUTLER) フタヤマエダシャク 2759
大宮市染谷：２exs.,1988.６.11,NH. 春日部市内牧：１♂,1988.６.６,NH.

47 *Hypomecis punctinalis conferenda* (BUTLER) ウスバミスジエダシャク 2774
春日部市内牧：１♂１♀,1988.８.９,NH.

48 *Ascotis selenaria cretacea* (BUTLER) ヨモギエダシャク 2783
久喜市青毛：１♂,1984.５.24,NH,[1]. 久喜市六万部：１♀,1984.６.７,根元 久,[1]；１♂,1985.５. 18,NH,[1].

49 *Heterarmia charon charon* (BUTLER) ナミガタエダシャク 2788
大宮市染谷：１♀,1988.６.11,NH. 春日部市内牧：１♂１♀,1988.６.６,NH. 久喜市六万部：１♂,1984.６.３,根元 久,[1]；１♂,1984.６.７,根元 久,[1]；１♀,1984.６.17,根元 久,[1]. 久喜市東：１♂１♀,1984.６.18,NH,[1].

50 *Ectropis excellens* (BUTLER) オオトビスジエダシャク 2792
大宮市染谷：１ex.,1988.５.14,竹内崇夫.

51 *Amraica superans superans* (BUTLER) ウスイロオオエダシャク 2844
春日部市内牧：１ex.,1988.６.６,NH.

52 *Bizia aexaria* WALKER ツマトビキエダシャク 2857
久喜市青毛：１♀,1986.９.６,NH,[1]. 久喜市六万部：２♂,1985.６.15,NH,[1].

53 *Chariaspilates formosaria* (EVERSMANN) ギンスジエダシャク 2870
杉戸町木津内：１♀,1988.８.20,NH.

54 *Nothomiza formosa* (BUTLER) マエキトビエダシャク 2877
大宮市染谷：１♂,1988.７.９,NH. 春日部市内牧：１ex.,1988.７.11,NH；２♀,1988.７.18,NH；１♂１♀,1988.10.10,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：１ex.,1988.７.18,NH. 久喜市六万部：１♀,1984.５.11,江村 薫,[1].

55 *Odontopera arida arida* (BUTLER) エグリヅマエダシャク 2885
大宮市染谷：１♂１♀,1988.５.14,竹内崇夫；１♂,1988.10.９,NH. 久喜市六万部：１♀,1984.６. 10,根元 久,[1]. 杉戸町木津内：１♂,1988.５.11,NH.

56 *Zethenia albonotaria* nesiotis WEHRLI モンシロツマキリエダシャク 2889
大宮市染谷：１♀,1988.５.14,NH.

57 *Zethenia rufescentaria* MOTSCHULSKY ミスジツマキリエダシャク 2890
久喜市青毛：１♂,1984.５.20,NH,[1]；１♂,1984.８.13,NH,[1].

58 *Ourapteryx nivea* BUTLER ウスキツバメエダシャク 2931
大宮市染谷：５exs.,1988.10.５,NH. 春日部市内牧：４exs.,1988.６.６,NH. 春日部市粕壁（八幡神社）：１ex.,1988.10.11,NH. 久喜市青毛：２exs.,1984.10.６,NH,[1]. 久喜市六万部：１ex.,1984.６.６,江村 薫,[1]；１ex.,1984.６.18,根元 久,[1]；１ex.,1985.６.15,NH,[1].

Lasiocampidae カレハガ科

1 *Dendrolimus spectabilis* (BUTLER) マツカレハ 2975
久喜市青毛：１♂１♀,1984.８.13,NH,[1]. 久喜市六万部：１♀,1985.８.17,NH,[1]；１♀,1985.９.９,NH,[1].

2 *Malacosoma neustria testacea* (MOTSCHULSKY) オビカレハ 2981
大宮市染谷：１♀,1988.６.11,NH；１♂,1988.６.11,竹内崇夫. 久喜市六万部：１♂,1984.６.８,根元 久,[1]；１♂,1985.６.15,NH,[1].

Eupterotidae オビガ科

1　*Apha aequalis* (Felder)　オビガ　2982
大宮市染谷：1 ex.,1988.9.10,竹内崇夫；♀,1988.10.9,NH. 春日部市内牧：1♂,1988.7.11, NH；1♀,1988.10.10,NH.

Bombycidae　カイコガ科

1　*Bombyx mandarina* (Moore)　クワコ　2984
春日部市内牧：1♂,1988.8.9,NH. 久喜市六万部：2♂,1985.8.17,NH,[1]；卵・幼虫を確認 1988.9.4,江村 薫,[1].

Brahmaeidae　イボタガ科

1　*Brahmaea wallichii* (Gray)　イボタガ　2988
春日部市粕壁（八幡神社）：成虫確認，1988.4.15,NH. 久喜市青毛：2♂,1985.4.28,NH,[1].

Saturniidae　ヤママユガ科

1　*Antheraea yamamai yamamai* (Guerin-Meneville)　ヤママユ　2991
久喜市青毛：1♀,1984.10.6,NH,[1]；2♀,1985.8.17,NH,[1].

2　*Dictyoploca japonica* (Moore)　クスサン　2993
久喜市青毛：2♂1♀,1984.10.6,NH,[1].

3　*Actias artemis aliena* (Butler)　オオミズアオ　2998
久喜市六万部：2♂,1985.8.17,NH,[1].

4　*Actias gnoma* gnoma (Butler)　オナガミズアオ　2999
大宮市染谷：1♂,1988.6.11,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂,1988.5.16,NH；1♂,1988.6.6 ,NH. 久喜市東：1♂,1985.5.1,江村 薫,[1]；1♀,1985.5.21,NH,[1].

5　*Rhodinia fugax fugax* (Butler)　ウスタビガ　2994
久喜市東：蛹を確認，,1985.-.-,江村 薫,[1].

Sphingidae　スズメガ科

1　*Agrius convolvuli* (Linnaeus) エビガラスズメ　3001
春日部市梅田：1♂,1988.10.25,NH. 久喜市青毛：1 ex.,1984.10.6,NH,[1].

2　*Psilogramma increta* (Walker)　シモフリスズメ　3005
久喜市六万部：2 exs.,1985.9.9,NH,[1].

3　*Sphinx ligustri constricta* Butler　コエビガラスズメ　3006
久喜市六万部：1 ex.,1985.8.17,NH,[1].

4　*Hyloicus caligineus caligineus* Butler　クロスズメ　3009
大宮市染谷：1 ex.,1988.7.9,NH；1 ex.,1988.8.18,竹内崇夫. 久喜市六万部：1 ex.,1984.7. 24,NH,[1].

5　*Dolbina tancrei* (Staudinger)　サザナミスズメ　3010
久喜市青毛：1 ex.,1987.7.27,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984.6.3,根元 久,[1]；2 exs., 1984.6.10,根元 久,[1]；1 ex.,1984.6.17,NH,[1]；1 ex.,1984.9.9,NH,[1]；1 ex.,1985.5. 18,NH,[1]；

6　*Oxyambulyx schauffelbergeri* (Bremer & Grey)　モンホソバスズメ　3015
久喜市東：1 ex.,1984.5.29,江村 薫,[1].

7　*Oxyambulyx ochracea* (Butler) 3016　ホソバスズメ　3016
春日部市内牧：1 ex.,1988.5.16,NH.

8　*Marumba gaschkewitschii echephron* (Boisduval)　モモスズメ　3020
久喜市六万部：1 ex.,1984.6.7,根元 久,[1]；3exs. ,1984.6.10,根元 久,[1]；3exs. ,1984. 6.18,根元 久,[1]；3exs. ,1984.7.7,根元 久,[1].

9　*Callambulyx tatarinovii gabyae* Bryk　ウンモンスズメ　3027

大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,NH；1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6. 7,根元 久,[1]；4exs. ,1984. 6.10,根元 久,[1]；1 ex.,1984. 6.18,根元 久,[1]

10 *Smerinthus planus planus* WALKER ウチスズメ 3030
久喜市六万部：1 ex.,1984. 6.18,根元 久,[1]

11 *Cephonodes hylas hylas* (LINNAEUS) オオスカシバ 3036
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫. 春日部市梅田：クチナシで幼虫を多数確認・飼育, 1988,NH. 久喜市東：クチナシで幼虫を多数確認, 1985,江村 薫.

12 *Ampelophaga rubiginosa rubiginosa* BREMER & GREY クルマスズメ 3039
久喜市青毛：1 ex.,1987. 7.27,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 7.11,根元 久,[1]；2 exs.,1984. 7. 28,NH,[1]；1 ex.,1985. 5.15,NH,[1].

13 *Acosmeryx castanea* ROTHSCHILD & JORDAN ブドウスズメ 3041
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 5.18,NH,[1].

14 *Gurelca himachala sangaica* (BUTLER) ホシヒメホウジャク 3042
春日部市梅田：1 ex.,1988. 9.10,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 8.15,NH,[1]；1 ex.,1985. 9. 9,NH, [1].

15 *Deilephila elpenor lewisii* (BUTLER) ベニスズメ 3057
久喜市六万部：2 exs. ,1984. 6.18,根元 久,[1]；2 exs. ,1984. 7.10,根元 久,[1]；1 ex., 1984. 7.28,江村 薫,[1]；1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：2 exs.,1988. 5.11,NH；

16 *Theretra nessus* (DRURY) キイロスズメ 3061
春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 7.19,根元 久,[1]

17 *Theretra japonica* (BOISDUVAL) コスズメ 3065
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 7.11,NH. 久喜市東：1 ex.,1984. 6.18,江村 薫, [1]. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6.18,根元 久,[1]；1 ex.,1985. 6.15,NH,[1]；1 ex., 1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 6. 4,NH；1 ex.,1988. 7. 5,NH.

18 *Rhagastis mongoliana* (BUTLER) ビロードスズメ 3069
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1984. 6. 7,根元 久,[1]；2 exs., 1985. 8.17,NH,[1].

Notodontidae シャチホコガ科

1 *Stauropus fagi persimilis* BUTLER シャチホコガ 3074
久喜市東：1 ♀,1984. 9. 3,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：2 ♂,1985. 6.15,NH,[1].

2 *Quadricalcarifera japonica* NAKATOMI アオシャチホコ 3080
春日部市内牧：1 ♀,1988. 8. 9,NH.

3 *Harpyia umbrasa* (STAUDINGER) ギンシャチホコ 3095
久喜市六万部：1 ♂,1985. 6.15,NH,[1].

4 *Fentonia ocypete* (BREMER) ホソバシャチホコ 3100
大宮市染谷：2 exs,,1988. 7. 9,NH；1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8.13,NH.

5 *Neodrymonia delia* (LEECH) フタジマネグロシャチホコ 3106
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH.

6 *Phalera flavescens* (BREMER & GREY) モンクロシャチホコ 3113
大宮市染谷：2 exs.,1988. 8.13,NH. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 8.20,NH.

7 *Lophocosma atriplaga* STAUDINGER クロスジシャチホコ 3125
大宮市染谷：1 ♂,1988. 5.14,NH.

8 *Rabtala cristata* (BUTLER) セダカシャチホコ 3126
大宮市染谷：1 ♂,1988. 7. 9,NH. 久喜市六万部：1 ♀,1985. 9. 9,NH,[1].

9 *Torigea straminea* (MOORE) キシャチホコ 3129
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫.

10 *Peridea oberthueri* (STAUDINGER) ルリモンシャチホコ 3140
大宮市染谷：1♂,1988. 6 .11,NH；2 exs.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂1♀,1988. 7 . 11,NH.

11 *Lophontosia pryeri* (BUTLER) プライヤエグリシャチホコ 3170
春日部市内牧：1♀,1988. 7 .11,NH；1♂,1988. 8 . 9 ,NH.

12 *Pterostoma sinicum* (MOORE) オオエグリシャチホコ 3181
久喜市六万部：1♂,1984. 6 . 3 ,根元 久,[1].

13 *Gonoclostera timoniorum* (BREMER) クワゴモドキシャチホコ 3185
久喜市青毛：1♂,1985. 5 .12,NH,[1]. 久喜市六万部：1♂,1984. 6 .18,根元 久,[1].

Lymantriidae ドクガ科

1 *Calliteara abietis argentata* (BUTLER) スギドクガ 3191
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5 .14,NH.

2 *Cifuna locuples confusa* (BREMER) マメドクガ 3198
大宮市染谷：1♂,1988. 7 . 9 ,NH；1 ex.,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7 . 11,NH；1 ex.,1988. 7 .18,NH；1♂,1988. 9 .17,NH. 久喜市青毛：2♂1♀,1986. 9 . 6 ,NH,[1]. 久喜市六万部：2♂1♀,1985. 9 . 9 ,NH,[1]

3 *Orgyia thyellina* BUTLER ヒメシロモンドクガ 3203
大宮市染谷：1♂,1988. 6 .11,NH；2♂,1988. 7 . 9 ,NH；1♀,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；2♂,1988. 8 . 13,竹内崇夫；1♂,1988. 9 .10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1♂,1988. 8 . 9 ,NH；1♂,1988. 9 . 17,NH. 久喜市青毛：1♂,1986. 8 . 6 ,NH,[1]. 久喜市六万部：5♂,1985. 8 .17,NH,[1]. 杉戸町木津内：1♂, 1988. 7 . 5 ,NH.

4 *Ivela auripes* (BUTLER) キアシドクガ 3214
久喜市六万部：1♀,1984. 6 .10,根元 久,[1].

5 *Lymantria dispar japonica* (MOTSCHULSKY) マイマイガ 3218
久喜市青毛：1♂,1987. 7 .27,NH,[1]；LT

6 *Parocneria furva* (LEECH) ウチシロマイマイ 3227
大宮市染谷：1 ex.,1988. 6 .11,竹内崇夫.

7 *Euproctis similis* (FUESSLY) モンシロドクガ 3230
春日部市内牧：1♂,1988.10.10,NH. 久喜市六万部：1♂2♀,1985. 9 . 9 ,NH,[1].

8 *Euproctis pulverea* (LEECH) ゴマフリドクガ 3232
大宮市染谷：1♀,1988. 7 . 9 ,NH. 久喜市青毛：1♂,1984. 5 . 5 ,NH,[1].

9 *Euproctis subflava* (BREMER) ドクガ 3236
春日部市内牧：1♀,1988. 8 . 9 ,NH.

10 *Euproctis pseudoconspersa* (STRAND) チャドクガ 3238
大宮市染谷：1♂,1988. 6 .11,竹内崇夫；1♂,1988. 7 . 9 ,NH；2♀,1988. 7 . 9 ,竹内崇夫；1♀,1988.10. 9 ,竹内崇夫. 春日部市内牧：2♂,1988. 7 .11,NH；1 ex.,1988. 7 .18,NH；1 ex.,1988. 8 . 9 , NH. 久喜市六万部：1♂1♀,1984.10.15,NH,[1].

Arctiidae ヒトリガ科

1 *Pelosia noctis* (BUTLER) クロスジホソバ 3246
＊ 埼玉県未記録 春日部市内牧：1 ex.,1988. 9 .19,NH.

2 *Eilema fuscodorsalis* (MATSUMURA) ヤネホソバ 3254
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7 . 9 ,NH.

3 *Eilema japonica japonica* (LEECH) キマエホソバ 3256
春日部市内牧：1 ex.,1988. 8 . 9 ,NH；1 ex.,1988. 9 .19,NH.

4 *Lithosia quadra* (LINNAEUS) ヨツボシホソバ 3268

大宮市染谷：1 ex.,1988. 9.10,NH.

5 *Manoba rectilinea chinesica* Draudt クロスジチビコケガ 3274
＊ 埼玉県未記録 大宮市染谷：1 ex.,1988. 9.10,NH.

6 *Miltochrista aberrans* Butler ハガタベニコケガ 3294
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH；1 ex.,1988. 8. 9,NH.

7 *Miltochrista pulchra* Butler ゴマダラベニコケガ 3298
久喜市青毛：1♀,1986. 8. 9,江村 薫,[1].

8 *Stigmatophora flava leacrita* (Swinhoe) ゴマダラキコケガ 3300
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 8. 9,NH. 久喜市青毛：1 ex., 1987. 7.27,NH,[1]. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：2 exs.,1988. 7. 5,NH.

9 *Spilosoma seriatopunctata seriatopunctata* Motschulsky スジモンヒトリ 3309
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,NH；1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫；1 ex.,1988. 8.13,竹内崇夫. 春日部市内牧：2 exs.,1988. 5.16,NH；1 ex.,1988. 8. 9,NH；1 ex.,1988. 9.17,NH；1 ex.,1988. 9.21,NH. 久喜市青毛：1♀,1986. 9. 6,NH,[1]. 久喜市六万部：1♂1♀,1985. 5.18,NH,[1]；1♂,1985. 9. 9,NH, [1].

10 *Spilosoma subcarneum* Walker オビヒトリ 3313
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 5.16,NH.

11 *Spilosoma punctaria* Stoll アカハラゴマダラヒトリ 3321
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫；1♀,1988. 7.21,NH；1 ex.,1988. 8.19,NH. 久喜市六万部：1♂,1985. 9. 9,NH,[1].

12 *Spilosoma lubricipeda sangaicum* Walker キハラゴマダラヒトリ 3322
大宮市染谷：2 exs.,1988. 5.14,NH；2 exs.,1988. 7. 9,NH；1 ex.,1988. 8.13,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 5.16,NH. 久喜市青毛：1♂1♀,1984. 5.24,NH,[1]；2♂,1986. 9. 6,NH,[1]. 久喜市東：1♀,1984. 6.25,江村 薫,[1]；2♂,1984. 9. 7,江村 薫,[1]. 久喜市六万部：3♂,1984. 5.18,NH,[1]；1♂, 1984. 6. 3,根元 久,[1]；2♂,1985. 9. 9,NH,[1]. 杉戸町木津内：1 ex.,1988. 5.11,NH；1 ex.,1988. 7. 5,NH；1 ex.,1988. 9.18,NH.

13 *Spilosoma niveum* (Menetries) シロヒトリ 3323
春日部市梅田：1 ex.,1988. 9.17,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH. 久喜市六万部：1♂,1985. 8.17, NH,[1]；1♂,1985. 9. 9,NH,[1].

14 *Hyphantria cunea* (Drury) アメリカシロヒトリ 3331
久喜市青毛：3♂,1984. 5.24,NH,[1]. 久喜市上清久：1♀,1984. 6. 8,江村 薫,[1].

15 *Nola taeniata* Snellen クロスジシロコブガ 3356
大宮市染谷：1 ex.,1988. 5.14,竹内崇夫；2 exs.,1988. 9.10,竹内崇夫. 春日部市内牧：1 ex., 1988. 5. 16,NH；1 ex.,1988. 9.19,NH. 久喜市青毛：3♂2♀,1986. 8. 9,江村 薫,[1].

16 *Meganola shimekii* (Inoue) シメキクロコブガ 3384
大宮市染谷：1 ex.,1988. 8.13,NH；1 ex.,1988. 9.10,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11, NH；2 exs.,1988. 9.19,NH.

17 *Meganola fumosa* (Butler) クロスジコブガ 3392
大宮市染谷：1 ex.,1988. 7. 9,NH；2 exs.,1988. 9.10,NH. 春日部市内牧：1 ex.,1988. 7.11,NH；2 exs.,1988. 9.19,NH.

18 *Mimerastria mandschuriana* (Oberthur) リンゴコブガ 3393
春日部市内牧：1 ex.,1988. 6. 6,NH. 久喜市六万部：1 ex.,1985. 9. 9,NH,[1].

Ctenuchidae カノコガ科

1 *Amata fortunei* fortunei (Orza) カノコガ 3394
久喜市青毛：1♂1♀,1984.

（はぎわら のぼる 〒344 春日部市梅田 614-1）

埼玉県産蝶類記録（3）

柴崎 信夫・中川 利勝

報告者のうち，中川は，柴崎所有の埼玉県産蝶類の標本を披見する機会を得，柴崎とともに知見の整理を行った。

柴崎所有の標本の中には，浦和市では絶滅してしまったジャノメチョウ等，貴重な標本も一部含まれており，ここに，柴崎とともに記載するものである。したがって，本報文の記録については，すべて現存する標本のデータに基くものである。

尚，標本のすべては，報告者柴崎の所有であるが，横山孝一氏，長井弘氏の採集による標本も含まれているため，両氏の採集によるものは，データの末尾に，それぞれ横山，長井と表記した。それ以外のデータについては，すべて柴崎の採集によるものである。

セセリチョウ

ミヤマセセリ
13.Ⅳ.1969,川口市木曽呂，1♀2♂,横山
20.Ⅳ.1969,川口市木曽呂，1♀2♂,横山
12.Ⅳ.1970,川口市木曽呂，1♂,横山

ダイミョウセセリ
3.Ⅴ.1969,川口市安行，3 exs.,横山

キマダラセセリ
8.Ⅵ.1969,川口市木曽呂，1♂,横山
9.Ⅷ.1969,川口市芝中田，1♀,横山

イチモンジセセリ
3.Ⅶ.1969,川口市安行，1♀,横山

オオチャバネセセリ
8.Ⅴ.1969,川口市，1 ex.,横山
5.Ⅶ.1970,浦和市南浦和，2 exs.,横山

コチャバネセセリ
18.Ⅴ.1969,川口市木曽呂，1 ex.,横山

シロチョウ科

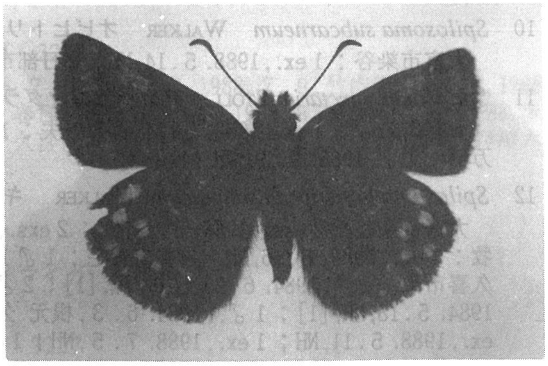
スジグロシロチョウ
2.Ⅵ.1969,浦和市大谷口，1♀1♂,長井

ツマキチョウ
15.Ⅳ.1970,浦和市大谷口，1♀2♂
11.Ⅳ.1973,川口市前川町，8♂

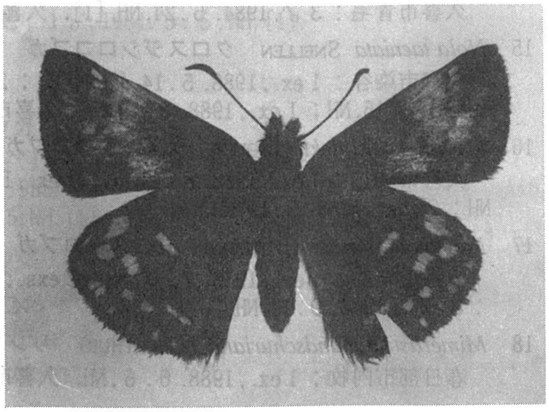
モンキチョウ
15.Ⅳ.1970,浦和市大谷口，1♂

シジミチョウ科

ミドリシジミ
1.Ⅶ.1989,浦和市秋ケ瀬，4♀（B型，1 ex.，O型，3 exs.）



ミヤマセセリ　川口市木曽呂産　♂
20.Ⅳ.1969　横山孝一氏　採集



ミヤマセセリ　川口市木曽呂産　♀
13.Ⅳ.1969　横山孝一氏　採集

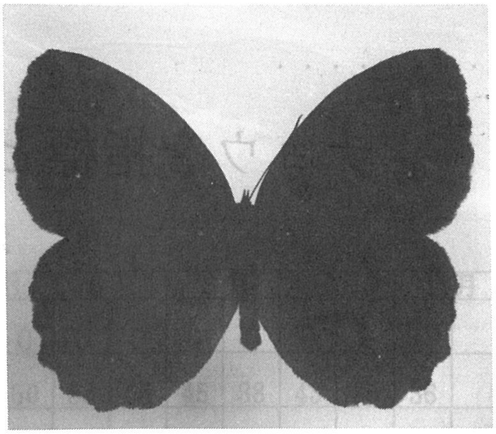
ベニシジミ
2．XI．1973，川口市，1♂

タテハチョウ科

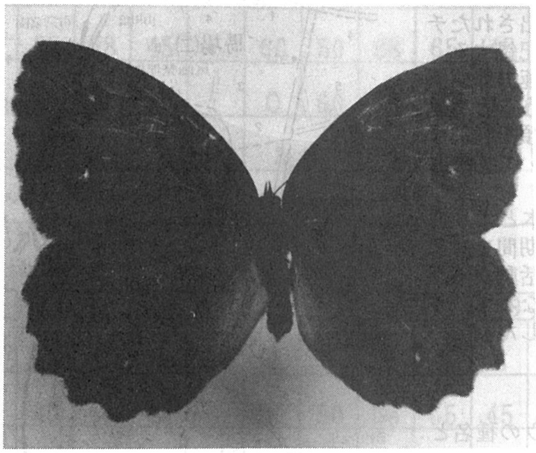
クモガタヒョウモン
12．V．1971，飯能市正丸，2♂，長井
スミナガシ
6．VII．1974，秩父郡大滝村中津川，1♂
ゴマダチョウ
5．VI．1973，浦和市大谷口，1♂
7．VIII．1989，浦和市秋ケ瀬，1♂

ジャノメチョウ科

ジャノメチョウ
11．VIII．1969，浦和市大谷口，1♀1♂
サトキマダラヒカゲ
19．VI．1971，浦和市大谷口，1♂



ジャノメチョウ　浦和市大谷口産　♂



ジャノメチョウ　浦和市大谷口産　♀

（しばさき のぶお　〒336 浦和市原山4－9－28）
（なかがわ としかつ　〒333 川口市道合22－1－302）

チョウを指標とした環境調査*

埼玉県立朝霞高等学校生物部
2年　有岡理史，南孝幸，田中朋宏
1年　其田雅徳，柴田悠
顧問　教諭　三田由美子
　　　教諭　田中雅照

［1］はじめに

朝霞高校生物部では近くの黒目川ぞいの斜面に残された雑木林をフィールドとし湧水のプラナリアの調査，カタクリ，イチリンソウ，ワニグチウ，キツネノカミソリなどの群落の観察などをおこなっているが平成4年，5年についてはチョウを指標とした環境調査をおこなった。朝霞地区としてはめずらしい貴重な生き物の生き残っているこの場所が，環境としてどんな段階にあるのか興味をもったからである

［2］調査方法

調査はルートセンサス法にもとづき図1のようなルートを歩きながら見出されたチョウの種類，個体数及び時刻を記録する（できるだけ晴れた日を選び，極力等間隔に月2回以上の調査をするということで始めたが例外もある）チョウの種類を判別するにはできるだけ捕虫アミを用いて捕獲し確認した。

調査の時期は成虫の観察を基本とする調査方法なので成虫の生息する全期間を対象とした。しかし実際には成虫の活動が不活発な冬期（12月～3月）はおこなわず，4月～11月の8ヶ月に調査を実施した。

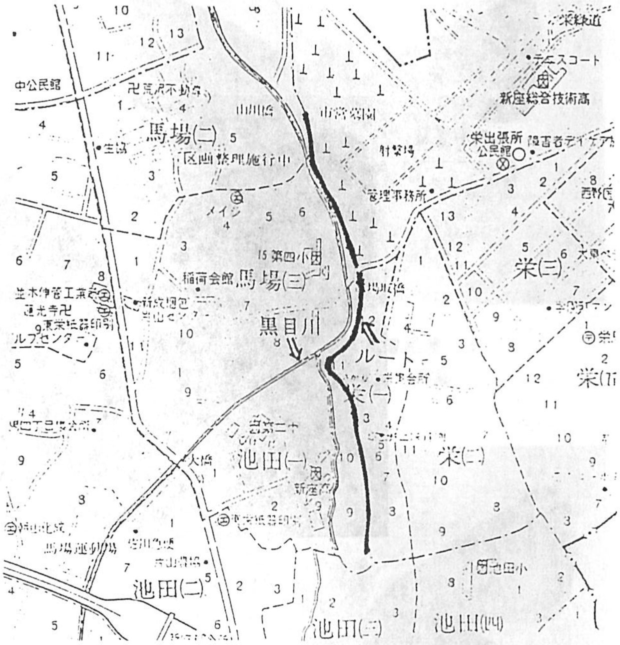


図1　調査地域

［3］調査結果

表1に示されているのはチョウの種名と各調査あたりに確認されたチョウの種類別個体数,観察時間，1回調査あたりの補正個体数,月平均補正個体数，年間補正総個体数となっている(平成5年度の一部のみ)。

1回の調査で観察された各種の個体数は，まずすべて150分間値に補正し調査時間の長短などによる差をなくして比較検討が可能になるようにする。調査回数は月によって異なる場合があるので，これを月平均値でいったん補正しさらに年間集計して年間補正総個体数とする。

これらをまとめるとつぎのようになる。

1回調査あたりの補正個体数＝観察個体数×150(分)／観察時間(分)
月平均補正個体数＝その月の補正総個体数／その月の調査回数
年間補正総個体数＝1年間の月平均補正個体数の合計

この報文は，1993年度の“埼玉県理科研究発表会”で同様のタイトルで発表された内容のまとめです。朝霞高校生物部は当会の会員ではありませんが，大変興味深い調査結果を含んでおり，会員の巣瀬司氏が，顧問の三田先生に本誌への投稿を呼びかけ，快く応じていただきました。継続調査をおおいに期待したいものです。（編集担当）

表1　平成5年度　調査結果

モンキチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数	0															

キチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		3	0	0	0		0	2	1	1	1	3	4	1	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		11	0	0	0		0	6.0	2.2	2.3	3.3	12	14	6.0	0	
月平均補正個体数	11.3		0		0		3.0		2.25		7.55		10.0		0	
年間補正総個体数	4.26															

スジグロシロチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	8		4	7	3	2	6	12	11	0	0	
観察時間（分）			40	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	27		10	21	6.6	4.6	20	47	38	0	0	
月平均補正個体数	0		0		26.7		15.5		5.6		33.7		19.2		0	
年間補正総個体数	12.59															

モンシロチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		2	1	0	0		0	1	0	0	2	0	1		0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		7.5	4.3	0	0		0	3.0	0	0	6.7	0	3.5	0	0	
月平均補正個体数	7.5		2.15		0		1.5		0		3.35		1.75		0	
年間補正総個体数	2.03															

アオスジアゲハ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体		0	0	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	3.0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		1.5		0		0		0		0	
年間補正総個体数							0.19									

アゲハチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	3	0	1		1	1	0	8	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	1.3	0	3.3		2.5	3.0	0	19	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		6.45		3.3		2.75		9.25		0		0		0	
年間補正総個体数							2.72									

クロアゲハ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	2	2	0		0	1	1	2	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	8.6	5.2	0		0	3.0	2.2	4.6	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		6.9		0		1.5		3.4		0		0		0	
年間補正総個体数							1.48									

カラスアゲハ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数							0									

ベニシジミ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	3		0	4	1	11	0	1	2	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	10		0	12	2.2	25	0	3.9	7.0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		10.0		6.0		13.8		1.95		3.5		0	
年間補正総個体数	4.41															

ヤマトシジミ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		2	7	1	1		11	5	7	48	10	28	41	21	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		7.5	30	2.6	3.3		28	15	15	111	33	111	143	126	0	
月平均補正個体数	7.5		16.3		3.3		21.25		63.05		71.9		134.0		0	
年間補正総個体数	39.73															

ルリシジミ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	3.3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		3.3		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数	0.41															

ツバメシジミ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		1	0	0	1		0	0	1	2	8	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		3.8	0	0	3.3		0	0	3.4	4.6	27	0	0	0	0	
月平均補正個体数	3.75		0		3.3		0		3.4		13.35		0		0	
年間補正総個体数	2.98															

コミスジ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	2.2	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		1.1		0		0		0	
年間補正総個体数							0.14									

キタテハ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	1	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	3.3		0	0	0	0	0	0	3.5	0	0	
月平均補正個体数	0		0		3.3		0		0		0		1.75		0	
年間補正総個体数							0.63									

ミドリヒョウモン

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	3.3	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		3.3		0		0	
年間補正総個体数							0.21									

ゴマダラチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数							0									

テングチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数	0															

ヒメウラナミジャノメ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	3	24		0	0	0	4	1	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	7.8	8.0		0	0	0	9.2	3.3	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		3.9		80.0		0		4.6		1.65		0		0	
年間補正総個体数	11.27															

ジャノメチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	1	1	0	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	2.2	2.3	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		2.25		0		0		0	
年間補正総個体数	0.28															

ヒカゲチョウ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	2	0	0	4	2	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0	0	0	6.0	0	0	13	7.9	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		3.0		0		10.6		0		0	
年間補正総個体数	1.70															

サトキマダラヒカゲ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	5		0	0	0	14	3	0	0	0	0	
観察時間(分)		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	17		0	0	0	32	10	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		16.7		0		16.15		5.0		0		0	
年間補正総個体数	4.73															

ヒメジャノメ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	9	4		1	2	9	5	5	5	3	2	0	
観察時間(分)		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	23	13		2.5	6.0	20	12	17	20	1.1	1.2	0	
月平均補正個体数	0		11.65		13.3		4.25		15.7		18.2		11.25		0	
年間補正総個体数	9.29															

コジャノメ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
観察時間(分)		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		0		0		0		0	
年間補正総個体数	0															

ダイミョウセセリ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	2	2		0	1	6	0	1	0	0	0	0	
観察時間(分)		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
1回調査あたりの補正個体数		0	0	5.2	6.7		0	3.0	13	0	3.3	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		2.6		6.7		1.5		6.6		1.65		0		0	
年間補正総個体数	2.38															

コチャバネセセリ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	1	0	2	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	2.2	0	6.6	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		1.1		3.3		0		0	
年間補正総個体数	0.55															

キマダラセセリ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	1	0	2	1	0	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	3.0	0	4.6	3.3	0	0	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		1.5		2.3		1.65		0		0	
年間補正総個体数	0.68															

チャバネセセリ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	1	0		0	0	0	0	0	1	0	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	2.6	0		0	0	0	0	0	3.9	0	0	0	
月平均補正個体数	0		1.3		0		0		0		1.95		0		0	
年間補正総個体数	0.41															

イチモンジセセリ

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月	
観察個体数		0	0	0	0		0	0	3	0	47	10	3	0	0	
観察時間（分）		40	35	58	45		60	50	68	65	45	38	43	25	36	
１回調査あたりの補正個体数		0	0	0	0		0	0	6.6	0	157	40	11	0	0	
月平均補正個体数	0		0		0		0		3.3		98.1		5.25		0	
年間補正総個体数	13.33															

表２　平成４年度

種名	(T) 補正総個体数	生息分布度 α	β	γ	δ	指標値(I)	T·I	α·T·I	β·T·I	γ·T·I	δ·T·I
アオスジアゲハ	0.3	3	3	3	1	1	0.3	0.9	0.9	0.9	0.3
アゲハ	1.2	1	3	4	2	1	1.2	1.2	3.6	4.8	2.4
クロアゲハ	1.3	4	3	3	+	1	1.3	5.2	3.9	3.9	
カラスアゲハ	1.9	5	3	2		2	3.8	19.0	11.4	7.6	
モンキチョウ	0.4	3	3	3	1	1	0.4	1.2	1.2	1.2	0.4
キチョウ	3.6	1	4	3	2	1	3.6	3.6	14.4	10.8	7.2
スジグロシロチョウ	11.5	3	3	3	1	1	11.5	34.5	34.5	34.5	11.5
モンシロチョウ	5.5	1	1	6	2	2	11.0	11.0	11.0	66.0	22.0
ベニシジミ	3.0	3	2	3	2	1	3.0	9.0	6.0	9.0	6.0
ヤマトシジミ	29.3	2	2	4	2	1	29.3	58.6	58.6	117.2	58.6
ルリシジミ	0	3	3	2	2	1	0	0	0	0	0
ツバメシジミ	0.8	3	3	2	2	1	0.8	2.4	2.4	1.6	1.6
テングチョウ	0.2	5	3	2		2	0.4	2.0	1.2	0.8	
コミスジ	0.9		5	5		2	1.8		9.0	9.0	
キタテハ	5.0	2	3	3	2	1	5.0	10.0	15.0	15.0	10.0
ミドリヒョウモン	0	1	9	+		4	0	0	0	0	
ゴマダラチョウ	0.6		6	4	+	3	1.8		10.8	7.2	
ヒメウラナミジャノメ	38.9	2	6	2		2	77.8	155.6	466.8	155.6	
ジャノメチョウ	0.8	4	4	2		2	1.6	6.4	6.4	3.2	
ヒカゲチョウ	1.5	2	8			4	6.0	12.0	48.0		
サトキマダラヒカゲ	3.3	2	6	2		3	9.9	19.8	59.4	19.8	
ヒメジャノメ	7.1		6	4	+	3	21.3		127.8	85.2	
ダイミョウセセリ	2.6	1	6	3		3	7.8	7.8	46.8	23.4	
コチャバネセセリ	0	2	6	2		3	0	0	0	0	
キマダラセセリ	1.0	3	3	3	1	1	1.0	3.0	3.0	3.0	1.0
チャバネセセリ	1.0	3	2	3	2	1	1.0	3.0	2.0	3.0	2.0
イチモンジセセリ	5.0	2	3	3	2	1	5.0	10.0	15.0	15.0	10.0
						合計	206.6	376.2	959.1	597.7	133.0
							ER	1.82	4.64	2.89	0.64
								ps	as	rs	us

表３　平成５年度

種名	(T) 補正総個体数	生息分布度 α	β	γ	δ	指標値(I)	T·I	α·T·I	β·T·I	γ·T·I	δ·T·I
アオスジアゲハ	0.2	3	3	3	1	1	0.2	0.6	0.6	0.6	0.2
アゲハ	2.7	1	3	4	2	1	2.7	2.7	8.1	10.8	5.4
クロアゲハ	1.5	4	3	3	+	1	1.5	6.0	4.5	4.5	
カラスアゲハ	0	5	3	2		2	0	0	0	0	
モンキチョウ	0	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0
キチョウ	4.3	1	4	3	2	1	4.3	4.3	17.2	12.9	8.6
スジグロシロチョウ	12.6	3	3	3	1	1	12.6	37.8	37.8	37.8	12.6
モンシロチョウ	2.0	1	1	6	2	2	4.0	4.0	4.0	24.0	8.0
ベニシジミ	4.4	3	2	3	2	1	4.4	13.2	8.8	13.2	8.8
ヤマトシジミ	39.7	2	2	4	2	1	39.7	79.4	79.4	158.8	79.4
ルリシジミ	0.4	3	3	2	2	1	0.4	1.2	1.2	0.8	0.8
ツバメシジミ	3.0	3	3	2	2	1	3.0	9.0	9.0	6.0	6.0
テングチョウ	0	5	3	2		2	0	0	0	0	
コミスジ	0.1		5	5		2	0.2		1.0	1.0	
キタテハ	0.6	2	3	3	2	1	0.6	1.2	1.8	1.8	1.2
ミドリヒョウモン	0.2	1	9	+		4	0.8	0.8	7.2		
ゴマダラチョウ	0		6	4	+	3	0		0	0	
ヒメウラナミジャノメ	11.3	2	6	2		2	22.6	45.2	135.6	45.2	
ジャノメチョウ	0.3	4	4	2		2	0.6	2.4	2.4	1.2	
ヒカゲチョウ	1.7	2	8			4	6.8	13.6	54.4		
サトキマダラヒカゲ	4.7	2	6	2		3	14.1	28.2	84.6	28.2	
ヒメジャノメ	9.3		6	4	+	3	27.9		167.4	111.6	
ダイミョウセセリ	2.4	1	6	3		3	7.2	7.2	43.2	21.6	
コチャバネセセリ	0.6	2	6	2		3	1.8	3.6	10.8	3.6	
キマダラセセリ	0.7	3	3	3	1	1	0.7	2.1	2.1	2.1	0.7
チャバネセセリ	0.4	3	2	3	2	1	0.4	1.2	0.8	1.2	0.8
イチモンジセセリ	13.3	2	3	3	2	1	13.3	26.6	39.9	39.9	26.6
						合計	169.8	290.3	721.8	526.8	159.1
							ER	1.71	4.25	3.10	0.94
								ps	as	rs	us

表２・表３は観察された種名と生息分布度，α：原始段階，β：二次段階(非定住利用)，γ：三次段階(農村段階)，δ：四次段階(都市段階)の各環境階級指標価(Ｉ)，及び年間補正総個体数(Ｔ)を示す。これからＴ×Ｉ･･･(1)，α×Ｔ×Ｉ･･･(2)，β×Ｔ×Ｉ･･･(3)，γ×Ｔ×Ｉ･･･(4)，δ×Ｔ×Ｉ･･･(5) の値を計算し合計した。

各環境階級（α～δ）のＥＲ値は(2)～(5)のそれぞれの合計を(1)の合計で割った値となっている。

図２はこれをグラフにしたものである。（図３はモデルグラフ）

図２

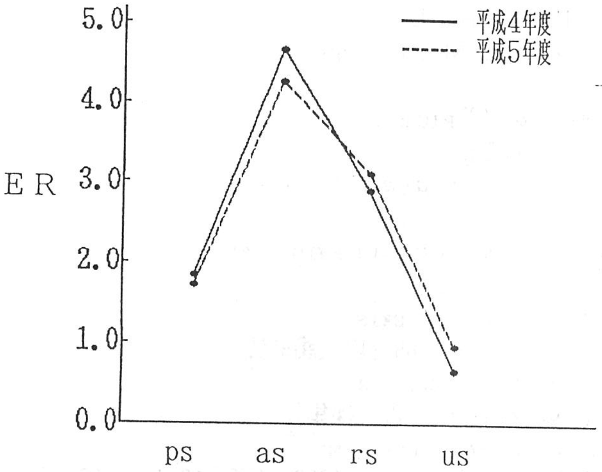
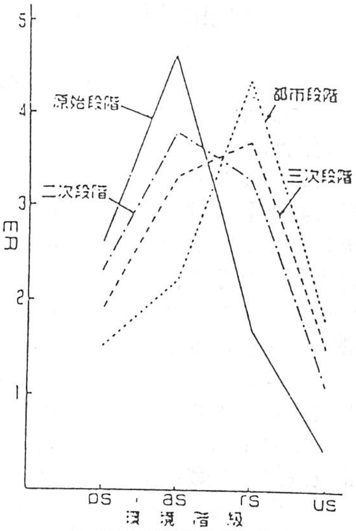


図３



ER－環境階級関係のモデルグラフ

［４］まとめと考察

私たちは２年間環境指標としてのチョウの調査を続けてきました。その中でわかったこととして，調査地域の環境階級は調査結果のグラフとモデルグラフとを比較したところ，原始段階と二次段階のあいだにあるという結論が出た。これは平成４年度，平成５年度ともほとんど数値にちがいがみられないことからもはっきりする。また平成４年と５年では気候がだいぶちがった。平成５年度は冷夏の影響か確認されたチョウの種類も個体数も大きく減少している。これに対しＥＲ値がほぼ同じといっていい値になったことはこのＥＲ法（私たちが行なった環境評価の方法）が，地域の環境をかなり正しく評価できる妥当性の高いものだといえるのではないのか。調査地域は黒目川の段丘崖の斜面にあたるがこのような人の利用しにくい地形の場所にわずかに残された雑木林が非常に良い環境を保っていることがわかった。調査地域は昨年遊歩道を作る計画があったが現在休止されている。このまま人の手を入れずに残していけたらと思う。

＊参考文献

環境指標としてのチョウ　田中蕃　日本の生物　3(6)，JUN. 1989

埼玉蝶の世界　埼玉昆虫談話会　埼玉新聞社

原色蝶類検索図鑑　猪又敏男　北隆館

以上は，平成５年度埼玉県理科研究発表会における発表要旨に数値等若干の訂正をおこない，抜粋したものです。調査はすべて田中蕃先生の「環境指標としてのチョウ」にもとづいておこなっており，ＥＲ法，生息分布度，指標価，環境階級等についての子細は割愛しましたので上記文献を御覧ください。なお，３種のチョウについては採集年月日を以下に特記しました。

テングチョウ：Ｈ４．７．24　　ミドリヒョウモン：Ｈ５．９．17

ジャノメチョウ：Ｈ４．８．17／Ｈ５．８．２／Ｈ５．８．23

（あさかこうとうがっこう せいぶつぶ　〒351　朝霞市幸町 3-13-65）

埼玉県産甲虫類の分布資料［4］

小田　博

今回はエンマムシ科・ハネカクシ上科の一部・マルハナノミ上科・マルトゲムシ科・ドロムシ上科・ナガクチキムシ科およびゾウムシ上科の一部について報告する．標本をお寄せいただいた小堀文彦・竹内崇夫・碓井 徹・内田正吉の各氏に厚くお礼申し上げる（※印は『埼玉県動物誌』に未記録）．

《エンマムシ科 HISTERIDAE》

1. ドウガネエンマムシ *Saprinus planiusculus* Motschulsky ※
【比企郡嵐山町】大平山，1頭，22. ix. 1980.
2. クロチビエンマンムシ *Carcinops pumilio* (Erichson)
【入間郡大井町】大井字東原，5頭，9. xii. 1985［腐植質］.
3. マルチビヒラタエンマムシ *Australomalus montivagus* (Lewis) ※
【富士見市】上沢３丁目，1頭，16. vii. 1983.
4. ヒメチビヒラタエンマムシ *Platylomalus mendicus* (Lewis) ※
【秩父郡荒川村】日野字下日野，7頭，23. iv. 1984［樹皮下］.
5. オオセスジエンマムシ *Onthophilus ostreatus* Lewis
【入間郡大井町】大井字東原，1頭，28. x. 1985；1頭，22. x. 1989［以上腐植質］.
6. キノコアカマルエンマムシ *Notodoma fungorum* Lewis ※
【秩父郡東秩父村】登谷山，2頭，20. vi. 1993［小堀文彦・洋子・貴文採集］.
7. チュウジョウチビエンマムシ *Binhister chujoi* Cooman ※
【入間郡大井町】大井・弁天の森，6頭，11. vii. 1982；1頭，29. vii. 1982；1頭，18. ix. 1982［以上カワラタケ］.
8. エンマムシ *Merohister jekeli* (Marseul)
【秩父郡荒川村】白久・荒川河原，1頭，7. viii. 1984［腐植質］.
9. ヒメエンマムシ *Margarinotus weymarni* Wenzel
【秩父市】武甲山，1頭，29. vii. 1992［掬網］.
10. キノコエンマムシ *Margarinotus boleti* (Lewis) ※
【富士見市】上沢３丁目，1頭，22. iv. 1984.【入間郡三芳町】上富・多福寺付近，1頭，6. v. 1984［朽木］.
11. コエンマムシ *Margarinotus niponicus* (Lewis)
【富士見市】上沢３丁目，2頭，12. iv. 1981；1頭，12. x. 1981［以上腐植質］；6頭，22. iv. 1984［糞］；12頭，8. vii. 1986［軟質キノコ］；2頭，27. vi. 1993；諏訪１丁目，3頭，11. vii. 1981［樹液］.
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，31. vii. 1988［内田正吉採集］.
12. ムナクボエンマムシ *Atholus depistor* (Marseul) ※
【入間郡大井町】大井字東原，1頭，6. x. 1981［腐植質］.
13. コツヤエンマムシ
Atholus duodecimstriatus quatuordecimstriatus (Gyllenhal) ※
【富士見市】上沢３丁目，2頭，12. iv. 1981［腐植質］；2頭，18. iv. 1981［既発表，本誌 (42):541］.
14. ヒメナガエンマムシ *Platysoma celatum* Lewis ※
【富士見市】上沢３丁目，3頭，12. v. 1985［ウロコタケ ?］.【入間郡三芳町】上富・多福寺付近，1頭，16. vi. 1985［多孔菌］；1頭，10. x. 1985；5頭，3. vi. 1986［以上アカマツ樹皮下］.
15. ニセヒメナガエンマムシ *Platysoma rasile* Lewis ※
【富士見市】水子，1頭，4. iv. 1984［朽木樹皮下］；上沢３丁目，1頭，27. iv. 1986；1頭，1. i. 1987［以上伐採木樹皮下］.
16. ヒラタエンマムシ *Hololepta depressa* Lewis ※
【秩父郡両神村】広河原付近，9頭，19. v. 1988［伐採木樹皮下］.

17. オオヒラタエンマムシ *Hololepta amurensis* Reitter
【秩父郡大滝村】秩父湖, 1頭, 14. vii. 1983 [朽木]; 川又, 1頭, 25. viii. 1983 [小田 晶採集].【秩父郡横瀬町】二子山, 2頭, 28. viii. 1984 [倒木上]; 2頭, 20. viii. 1986 [倒木樹皮下].【秩父市】浦山字毛附, 2頭, 8. viii. 1989 [伐採木樹皮下].

《ムクゲキノコムシ科 PTILIIDAE》

1. ニホンムクゲキノコムシ *Baeocrara japonica* (Matthews) ※
【入間郡三芳町】上富・多福寺付近, 1頭, 18. iii. 1985; 1頭, 3. vi. 1986 [以上アカマツ伐採木樹皮下].【秩父市】蓑山, 5頭, 28. viii. 1987 [伐採木樹皮下].
2. コゲチャムクゲキノコムシ *Acrtotrichis fusculus* (Matthews) ※
【秩父郡荒川村】白久, 1頭, 9. v. 1983 [落葉下].
3. ムナビロムクゲキノコムシ *Acrtotrichis lewisii* (Matthews) ※
【秩父郡横瀬町】二子山, 1頭, 8. xi. 1992 [朽木下:篩法].

《タマキノコムシ科 LEIODIDAE》

1. チャイロヒメタマキノコムシ *Pseudoliodes strigosulus* (Portevin) ※
【秩父郡横瀬町】二子山, 1頭, 13. vi. 1982; 1頭, 6. viii. 1982; 11頭, 28. viii. 1984 [サルノコシカケ類など].【秩父郡大滝村】大血川, 2頭, 27. viii. 1983 [既発表, 本誌 (41):517, No. 9 で次種と同定した3頭のうち, 2頭は本種の誤りであったので訂正する]; 三十場, 3頭, 6. viii. 1984; 三峰山, 4頭, 21. viii. 1988 [アカキクラゲ].【秩父郡荒川村】熊倉山, 2頭, 17. vi. 1985 [軟質キノコ]; 1頭, 3. xi. 1990 [アシグロタケ]; 1頭, 11. viii. 1992 [ヒラタケ].【秩父市】武甲山, 1頭, 31. vii. 1988 [軟質キノコ].
2. ウスイロヒメタマキノコムシ *Pseudocolenis hilleri* Reitter
【秩父郡大滝村】大血川, 1頭, 27. viii. 1983 [既発表, 本誌 (41):517].【秩父郡荒川村】熊倉山, 18頭, 26. vii. 1984; 6頭, 17. vi. 1985 [軟質キノコ].【秩父郡両神村】広河原付近, 2頭, 23. vii. 1984 [軟質キノコ].【秩父市】武甲山, 9頭, 31. vii. 1988 [サツマモドキ他].
3. セマルタマキノコムシ *Crytoplastus seriepunctatus* (Brisout) ※
【浦和市】秋ヶ瀬公園, 1頭, 16. x. 1982.
4. アカバマルタマキノコムシ *Sphaeroliodes rufescens* Portevin ※
【秩父郡大滝村】入川渓谷, 1頭, 9. x. 1987.
5. オオマルタマキノコムシ *Agathidium subcostatum* Portevin ※
【秩父郡荒川村】熊倉山, 1頭, 1. x. 1984 [軟質キノコ].
6. ツヤマルタマキノコムシ *Agathidium sublaevigatum* Portevin
【秩父郡横瀬町】丸山, 1頭, 21. ix. 1987 [伐採木樹皮下].

《コケムシ科 SCYDMAENIDAE》

1. シリブトヒメコケムシ *Euconnus fustiger* (Sharp) ※
【富士見市】上沢3丁目, 1頭, 2. xi. 1992 [落葉下:篩法].

《タマキノコムシモドキ科 CLAMBIDAE》

1. ツヤチビタマキノコムシモドキ *Lorycaster glaber* Portevin
【入間郡大井町】大井・弁天の森, 10頭, 6. iv. 1982 [ケヤキ樹皮下].【富士見市】上沢3丁目, 1頭, 5. v. 1985 [ウロコタケ ?]; 2頭, 29. iv. 1986 [伐採木樹皮下].【大里郡寄居町】桜沢字中小前田, 1頭, 30. v. 1983 [内田正吉採集].

《マルハナノミダマシ科 EUCINETIDAE》

1. ツマアカマルハナノミダマシ *Eucinetus haemorrhoidalis* Germar
【入間郡大井町】苗間・大井陸橋, 1頭, 21. viii. 1981 [灯火].【秩父郡東秩父村】白石, 1頭, 11. viii. 1993 [竹内崇夫採集].

《マルハナノミ科 HELODIDAE》
1.キムネマルハナノミ *Helodes protecta* Harold
【富士見市】上沢3丁目, 2頭, 3.v.1994 [叩網].
2.クロチビマルハナノミ *Cyphon mizoro* Nakane ※
【秩父郡大滝村】三峰山, 1頭, 19.vi.1983 [落葉下]; 入川林道, 1頭, 26.vii.1983 [叩網].【秩父郡荒川村】熊倉山, 1頭, 14.v.1994 [叩網].
3.クロマルハナノミ *Sarabandus monticola* Nakane ※
【秩父郡荒川村】熊倉山, 1頭, 5.v.1986 [落葉下]; 1頭, 14.v.1994 [叩網].【秩父郡両神村】広河原付近, 1頭, 19.v.1988 [落葉下].

《マルトゲムシ科 BYRRHIDAE》
1.シラフチビマルトゲムシ *Simplocaria bicolor* Pic
【入間郡大井町】苗間・大井陸橋, 1頭, 4.x.1980; 2頭, 7.x.1980 [以上灯火].【富士見市】諏訪1丁目, 1頭, 25.iv.1982.
2.ドウガネツヤマルトゲムシ *Lamprobyrrhulus hayashii* Fiori ※
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田, 1頭, 12.iv.1986 [内田正吉採集].

《ナガハナノミ科 PTILODACTYLIDAE》
1.エダヒゲナガハナノミ *Epilichas flabellatus* (Kiesenwetter) ※
【秩父郡横瀬町】二子山, 1頭, 13.vi.1982; 7頭, 4.vii.1983 [以上既発表, 本誌 (42):541].【秩父郡大滝村】入川・矢竹沢, 1頭, 30.vii.1984 [灯火].【秩父市】武甲山, 1頭, 29.vii.1992 [掬網]; 2頭, 28.vii.1993 [内田正吉採集].
2.ヒゲナガハナノミ *Paralichas pectinatus* (Kiesenwetter)
【秩父郡大滝村】三峰山, 2頭, 19.vi.1983 [落葉下]
3.クリイロヒゲナガハナノミ *Pseudoepilichas niponicus* (Lewis) ※
【秩父郡大滝村】三峰山, 2頭, 19.vi.1983 [既発表, 本誌 (42):541]; 1頭, 30.vi.1984 [灯火]; 大滑, 1頭, 5.vii.1992 [内田正吉採集].【秩父郡両神村】白井差, 1頭, 10.vii.1993 [内田正吉採集].

《ヒラタドロムシ科 PSEPHENIDAE》
1.ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus* (Matsumura)
【入間郡大井町】苗間・大井陸橋, 1頭, 13.xi.1981 [灯火].
2.クシヒゲマルヒラタドロムシ *Eubrianax granicornis* Lewis
【本庄市】栗崎, 1頭, 7.v.1983 [内田正吉採集].【大里郡江南町】押切・荒川中洲, 1頭, 7.v.1994 [内田正吉採集].
3.マルヒラタドロムシ *Eubrianax ramicornis* Kiesenwetter ※
【秩父市】武甲山, 1頭, 28.vii.1993 [内田正吉採集].

《ヒメドロムシ科 ELMIDAE》
1.アワツヤドロムシ *Zaitzevia awana* (Kono) ※
【大里郡寄居町】風布, 1頭, 5.ix.1989 [内田正吉採集].

《チビドロムシ科 LIMNICHIDAE》
1.オオメホソチビドロムシ *Cephalobyrrhinus japonicus* Champion ※
【秩父郡両神村】広河原付近, 1頭, 23.vii.1984 [朽木].【秩父郡大滝村】大滑, 1頭, 5.vii.1992 [内田正吉採集].

《ナガクチキムシ科 MELANDRYIDAE》
1.ヨツボシヒメナガクチキ *Holostrophus lewisi* Csiki ※
【入間郡越生町】高取山, 1頭, 18.iv.1983 [叩網].

2.マルモンニセハナノミ　*Orchesia diversenotata* Pic ※
【秩父郡大滝村】三峰山，3頭，28.viii.1983 [既発表，本誌 (41):518].
3.アカオビニセハナノミ　*Orchesia imitans* Lewis ※
【秩父郡東秩父村】皆谷，1頭，5.vii.1993 [竹内崇夫採集].
4.コイチャニセハナノミ　*Orchesia marseuli* Lewis ※
【秩父郡大滝村】三峰山，1頭，27.viii.1983.
◆かつて，本誌 (41):518 No.21 に<チビホソナガクチキムシ>として記録したものは本種の誤りであったので訂正する．また，本誌 (42):543 No.39 の<オオメホソナガクチムシ>も他科の甲虫を誤同定したものなので，記録を削除する．
5.オオクロホソナガクチキ　*Phloiotrya bellicosa* (Lewis)
【秩父郡荒川村】熊倉山，3頭，28.vii.1986 [樹皮下].
6.クロホソナガクチキ　*Phloiotrya rugicollis* (Marseul)
【入間郡大井町】苗間，2頭，15.v.1981 [街灯:小田 晶採集]；1頭，26.v.1981 [街灯]；1頭，10.v.1982 [街灯].【富士見市】上沢3丁目，1頭，14.vii.1984.
7.コメツキガタナガクチキ　*Paramikadonius crepusculus* (Lewis) ※
【秩父郡大滝村】栃本，1頭，3.viii.1991 [灯火:内田正吉採集].
8.キイロホソナガクチキ　*Serropalpus niponicus* Lewis ※
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，4.vi.1989；1頭，31.viii.1993 [以上内田正吉採集].
9.アカアシナガクチキ　*Melandrya mongolica* Solsky ※
【秩父市】橋立渓谷，1頭，15.v.1983 [既発表，本誌 (42):543].【秩父郡大滝村】入川・矢竹沢，1頭，11.vi.1984 [薪].
10.ヒメホソナガクチキ　*Serropalpus filiformis* Marseul
【秩父郡大滝村】将監峠，1頭，2.viii.1985 [碓井 徹採集]；栃本，1頭，3.viii.1991 [灯火:内田正吉採集].
◆本種は未記載種らしい[木村・中村・水野(1991)]が，学名は従来のままとした．
11.ミヤケヒメナガクチキ *Symphora miyakei* Nomura et Hayashi ※
【秩父郡大滝村】秩父湖，1頭，14.vii.1983 [叩き網].

《ヒゲナガゾウムシ科 ANTHRIBIDAE》

1.マダラヒゲナガゾウムシ *Opanathribus tessellatus* (Boheman)
【秩父郡大滝村】入川・矢竹沢，1頭，30.vii.1984 [倒木樹皮下].
2.キノコヒゲナガゾウムシ *Euparius oculatus oculatus* (Sharp)
【秩父郡大滝村】入川・矢竹沢，1頭，30.vii.1984 [灯火].【富士見市】上沢3丁目，2頭，10.x.1986 [多孔菌].【秩父郡横瀬町】芦ヶ久保，10頭，8.xi.1992 [多孔菌].
3.ウスモンツツヒゲナガゾウムシ　*Ozotomerus japonicus* Sharp ※
【富士見市】上沢3丁目，1頭，14.vi.1981 [既発表，本誌 (42):544].【大宮市】大谷，1頭，11.vi.1988 [竹内崇夫採集].【小川町】金勝山，1頭，20.viii.1993 [灯火；内田正吉採集].
4.セマルヒゲナガゾウムシ *Phloeobius gibbosus* Roelofs ※
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，3.vi.1990 [内田正吉採集].【秩父郡皆野町】水潜寺，1頭，16.v.1993 [竹内崇夫採集].
5.シロヒゲナガゾウムシ　*Platystomus sellatus* (Roelofs)
【大里郡寄居町】風布，1頭，21.viii.1993 [竹内崇夫採集].
6.シリジロヒゲナガゾウムシ　*Androceras flavellicorne* (Sharp) ※
【大里郡寄居町】小林，1頭，31.x.1993 [内田正吉採集].
7.チャマダラヒゲナガゾウムシ　*Acorynus latirostris* (Sharp) ※
【入間郡越生町】黒山三滝，3.iv.1983 [既発表，本誌 (42):544].

8. キマダラヒゲナガゾウムシ *Tropideres naevulus* Faust ※
【秩父市】破風山，1頭，23.v.1991 [掬網]．【秩父郡小鹿野町】納宮，1頭，12.vi.1993 [竹内崇夫採集]．【秩父郡両神村】白井差，1頭，10.vii.1993 [内田正吉採集]．

9. クロフヒゲナガゾウムシ *Tropideres roelofsi* (Lewis) ※
【入間郡越生町】高取山，1頭，3.v.1982 [既発表，本誌 (42):544]．【秩父郡大滝村】大滑，5.vii.1992 [内田正吉採集]．

10. カオジロヒゲナガゾウムシ *Sphinctotropis laxus* (Sharp)
【富士見市】上沢3丁目，2頭，7.vi.1981；5頭，20.v.1984 [朽木上]；1頭，5.vi.1988 [多孔菌]．【秩父郡大滝村】川又，1頭，25.vii.1983 [薪上；小田 晶採集]；三峰山，1頭，28.viii.1983 [既発表，本誌 (41):518]；2頭，30.vi.1984 [朽木]．【秩父郡東秩父村】粥新田峠，3頭，14.x.1984 [ｶﾜﾗﾀｹ]．【秩父郡皆野町】破風山，1頭，23.v.1991．【大里郡寄居町】末野，1頭，24.v.1992 [内田正吉採集]．【秩父郡小鹿野町】納宮，2頭，28.xi.1992；6頭，12.vi.1993 [以上竹内崇夫採集]．【比企郡吉見町】八丁湖，2頭，7.viii.1993 [竹内崇夫採集]．

11. コモンマダラヒゲナガゾウムシ *Litocerus multiguttatus* Nakane ※
【比企郡小川町】笠山，1頭，24.v.1994 [内田正吉採集]．

12. スネアカヒゲナガゾウムシ *Autoropis distinguenda* (Sharp)
【富士見市】上沢3丁目，1頭，24.iv.1982 [叩網]．【入間郡大井町】大井・弁天の森，11頭，16.v.1982 [叩網]．【秩父郡荒川村】白久・鹿の湯付近，1頭，9.viii.1982 [既発表，本誌 (42):544 No.50 に〈コセマルヒゲナガゾウムシ〉として記録したものは，本種の誤りであったので訂正する]．【浦和市】秋ヶ瀬公園，1頭，4.vii.1991；3頭，1.vi.1992 [以上叩網]；1頭，24.v.1993 [フジ蔓の揺り網]．【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，22.iii.1981 [内田正吉採集]．【北足立郡伊奈町】小室字丸山，2頭，4.v.1993 [竹内崇夫採集]．【秩父郡皆野町】水潜寺，4頭，16.v.1993 [竹内崇夫採集]．【上尾市】西原，1頭，30.v.1993 [竹内崇夫採集]．【深谷市】仙元山，2頭，10.vii.1993 [竹内崇夫採集]．【児玉郡神泉村】下久保ダム，1頭，10.viii.1993 [竹内崇夫採集]．

13. エゴヒゲナガゾウムシ *Exechesops leucopis* (Jordan) ※
【富士見市】上沢3丁目，1頭，4.viii.1981．【入間郡大井町】大井・弁天の森，1頭，24.viii.1981．[以上既発表，本誌 (42):544]．

14. ヨリメチビヒゲナガゾウムシ *Uncifer akashii* Morimoto ※
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，22.vi.1986；1頭，1.vi.1993 [以上内田正吉採集]．

15. ウスグロチビヒゲナガゾウムシ *Uncifer truncatus* (Sharp) ※
【秩父郡横瀬町】二子山，2頭，13.vi.1982 [既発表，本誌 (42):544 No.52 に〈キアシヒゲナガゾウムシ〉として記録したものは，本種の誤りであったので訂正する]．【秩父市】武甲山，1頭，29.vii.1992 [掬網]．【秩父郡荒川村】熊倉山，1頭，11.viii.1992．

16. エグリコブヒゲナガゾウムシ *Gibber incisus* (Sharp) ※
【秩父郡小鹿野町】納宮，2頭，28.xi.1992；3頭，12.vi.1993 [以上竹内崇夫採集]．

17. クロホシメナガヒゲナガゾウムシ *Phaulimia aberrans* (Sharp) ※
【秩父市】橋立渓谷，1頭，15.v.1983 [既発表，本誌 (42):544]．

18. キスジヒゲナガゾウムシ *Aphaulimia debilis* (Sharp) ※
【秩父郡横瀬町】二子山，2頭，13.vi.1982 [枯木の叩網]．【秩父郡大滝村】川又，1頭，24.viii.1985 [灯火]．【秩父市】浦山字毛附，2頭，9.viii.1989 [薪上]．【秩父郡東秩父村】登谷山，1頭，20.vi.1993 [小堀文彦・洋子・貴文採集]

19. ナガアシヒゲナガゾウムシ *Habrissus longipes* (Sharp)
【秩父郡小鹿野町】納宮，1頭，12.vi.1993 [竹内崇夫採集]．

《ミツギリゾウムシ科 BRENTIDAE》

1. ムツモンミツギリゾウムシ *Pseudorychodes insignis* (Lewis)
【秩父郡大滝村】入川・矢竹沢，1頭，21.viii.1993 [灯火；内田正吉採集]．

《ホソクチゾウムシ科 APIONIDAE》

1. マメホソクチゾウムシ *Apion collare* Schilsky
【富士見市】水子，1頭，5.v.1993［掬網］.
2. アカクチホソクチゾウムシ *Apion pallidirostre* Roelofs
【入間郡大井町】大井・弁天の森，2頭，25.iv.1982；1頭，21.v.1984［以上叩網］.
3. ヒゲナガホソクチゾウムシ *Apion placidum* Faust ※
【秩父郡横瀬町】二子山，1頭，8.v.1982［叩網］；1頭，13.vi.1982；1頭，8.xi.1992［多孔菌］.【秩父郡大滝村】三峰山，1頭，19.vi.1983；秩父湖，3頭，14.vii.1983［以上叩網］.【大里郡寄居町】秋山~中間平，1頭，18.vi.1985；桜沢字中小前田，1頭，5.iv.1992［以上内田正吉採集］.【秩父郡荒川村】熊倉山，2頭，22.vi.1987［掬網］；1頭，14.v.1994［叩網］.【飯能市】天覧山，1頭，19.ix.1993［竹内崇夫採集］.
4. セアカホソクチゾウムシ *Apion sulcirostre* Sharp ※
【大里郡寄居町】桜沢字中小前田，1頭，18.vii.1989［内田正吉採集］.
5. ケブカホソクチゾウムシ *Apion griseopubescens* Roelofs ※
【秩父郡横瀬町】二子山，1頭，8.v.1982［叩網］.【秩父郡両神村】広河原付近，4頭，19.v.1988［掬網］.【浦和市】秋ヶ瀬公園，1頭，1.vi.1992；5頭，19.iv.1993［以上叩網］.
6. ヒレルホソクチゾウムシ *Apion hilleri* Schilsky ※
【北足立郡伊奈町】小室，6頭，17.iv.1994［叩網］.
7. ヒメケブカホソクチゾウムシ *Apion praecarium* Sharp ※
【入間郡越生町】高取山，1頭，18.iv.1982［叩網］.【比企郡小川町】勝呂字天神前，3頭，27.v.1986［叩網］.

《オサゾウムシ科 RHYNCHOPHORIDAE》

1. オオゾウムシ *Sipalinus gigas* (Fabricius)
【入間郡大井町】苗間・大井陸橋，1頭，15..vii.1982［樹液；小田 晶採集］.【秩父郡大滝村】川又，1頭，26.vii.1983；大血川，4頭，31.vii.1984［伐採木下］.
2. トホシオサゾウムシ *Aplotes roelofsi* (Chevrolat)
【入間郡大井町】大井・弁天の森，1頭，22.vi.1980.【富士見市】水子，1頭，7.vi.1981.
3. ココクゾウムシ *Sitophilus zeamais* Motschulsky ※
【秩父郡大滝村】川又，1頭，10.viii.1986［腐果実］.【富士見市】上沢3丁目，1頭，14.viii.1988；水子，1頭，16.viii.1988.
4. ササコクゾウムシ *Diocarandora sasa* Morimoto ※
【入間郡大井町】大井・弁天の森，1頭，11.v.1982；1頭，18.ix.1982［以上既発表，本誌（42):545］.
5. コササコクゾウムシ *Diocarandora elongata* Roelofs ※
【東松山市】岩殿，1頭，12.vii.1988［内田正吉採集］.

《ナガキクイムシ科 PLATYPODIDAE》

1. ヤチダモノナガキクイムシ *Crossotarsus niponicus* Blandford
【秩父郡大滝村】栃本，1頭，3.viii.1991；川又，1頭，21.viii.1993［内田正吉採集］.【秩父郡両神村】白井差，1頭，10.vii.1993.

前回の訂正：《ケシキスイムシ科》No.18 の和名〈カクヒホソヒラタケシキスイ〉は〈カクホソヒラタケシキスイ〉に，また，標本を採集・提供された竹内氏のお名前「崇夫」はすべて「崇夫」と改めるとともに，同氏に対する非礼を深くお詫び致します.

（おだ ひろし 〒354 富士見市上沢 3-6-15）

・・・・・・・・・・・・

再び“カゲヤンマ”について

上原市郎

・・・・・・・・・・・・

先に，本誌No. 70で「“カゲヤンマとスミガケトンボ”」と題して拙文を連ねてみたが，その後，“カゲヤンマ”について新たな知見が得られたので追加しておきたい。

今回も，ある特定の種類には行き着けなかったが，呼称の性格からも１種類だけには限定できそうもない。古くより越谷市増林～越ケ谷にお住まいの方々によると，昼間，樹林や草本の陰になっているような空間にぶら下がっているオニヤンマのような黒色を黄色のだんだら模様をした大型トンボの総称。流水・止水に拘わらず，ということなので，サナエトンボ科・オニヤンマ・ヤンマ科・エゾトンボ科に跨って該当種を窺うことができる。前回の拙文までは越谷市内の古利根川流域を中心に，この呼称が行き渡っているというくらいのものだったが，本年３月に金曜セミナーでお目に掛かった本会会員である関根和行氏によると，春日部市赤沼の古利根川流域でも通じる呼称であるということだ。赤沼は，関根氏の母堂の御実家とのことで，昔日から“カゲヤンマ”と呼んでいたらしい。果たして，この呼称がどのくらいの範囲まで分布しているのか興味津々である。

また，新たに“ジュウベイヤンマ”と“シャミセントンボ”という呼称が市内越ケ谷の方々から出てきた。“ジュウベイヤンマ”はたぶん柳生十兵衛から来たものだろう。話し振りと標本による現物合わせからはオニヤンマのようだった。一方の“シャミセントンボ”は，当初，チョウトンボを連想した。国語辞典によると，『三味線をひく；勝負ごとで，心中の作戦を見破られないように，相手をまぎらわすようなことを言ったりそぶりをしたりする．』とある。チョウトンボなら和名もトンボでありながらチョウという名前が付いているし，飛翔もゆっくりヒラヒラ漂っているが，いざ捕獲しようとすると非常に敏感で容易ではない。という理由で勝手に納得していたのだが，これが全くの見当違い。改めてお訊きすると，何とイトトンボの総称なのだそうな。何故シャミセンなのか？　今のところ，姿を見掛けても直に見失ってしまう，ということぐらいしか思い浮かばないのだが・・・・・。

おわりに，関連する談話を戴きました関根和行氏に誌上をお借りしてお礼申し上げます。

（うえはら　いちろう　〒343 越谷市花田 1-19-2）

埼玉県産のトンボ数種の記録

松木 和雄

1993年末に碓井徹氏より依頼を受け，暇をみて手元にある埼玉県産のトンボ標本を整理してみたところ，以下の6科21種86個体があることが分かったので古い記録ではあるが埼玉県の一資料として報告する。

＜記録種＞

I. CALOPTERYGIDAE　カワトンボ科

1. *Mnais pruinosa costalis*, SELYS, 1869　ヒガシカワトンボ
伊豆ケ岳花桐：2♂（f. ogumai）　3♀（f. asahinai）；9.VI.1968, 山崎章．飯能市平戸：4♂（f. ogumai）　4♀（f. asahinai），6.VII. 1984, 松木和雄．入間郡鎌北湖：1♂（f. costalis），12.V.1968, 西川勝

II. GOMPHIDAE　サナエトンボ科

2. *Anisogomphus maacki* (SELYS, 1872)　ミヤマサナエ
比企郡嵐山町：1♂2羽化殻, 2.VII.1984, 松木和雄．東松山市高坂：1羽化殻, 14.VI.1980, 植村好延

3. *Asiagomphus melaenops* (SELYS, 1854)　ヤマサナエ
飯能市天覧山：1♀, 6.VII.1984, 松木和雄

4. *Davidius nanus* (SELYS, 1869)　ダビドサナエ
伊豆ケ岳花桐：2♀, 9.VI.1968, 山崎章

5. *Davidius fujiama*, FRASER, 1936　クロサナエ
伊豆ケ岳花桐：1♀1羽化殻, 4.V.1969, 山崎章

6. *Sinogomphus flavolimbatus* (OGUMA, 1926)　ヒメサナエ
飯能市平戸：3♂2♀, 6.VII.1984, 松木和雄

7. *Stylogomphus suzukii* (OGUMA, 1926)　オジロサナエ
飯能市平戸：3羽化殻, 6.VII.1984, 松木和雄

8. *Nihonogomphus viridis* OGUMA, 1926　アオサナエ
比企郡嵐山町：2♂, 2.VII.1984, 松木和雄

9. *Onychogomphus viridicostus* (OGUMA, 1926)　オナガサナエ
東松山市高坂：4羽化殻, 14.VI.1980, 植村好延

10. *Sieboldius albardae*, SELYS, 1886　コオニヤンマ
比企郡嵐山町：7羽化殻, 2.VII.1984, 松木和雄

III. CORDULEGASTERIDAE　オニヤンマ科

11. *Anotogaster sieboldii* (SELYS, 1854)　オニヤンマ
飯能市天覧山：2羽化殻（2♀），6.VII.1984, 松木和雄

IV. AESCHNIDAE　ヤンマ科

12. *Oligoaeschna pryeri* (MARTIN, 1909)　サラサヤンマ
飯能市天覧山：3♂, 6.VII.1984, 松木和雄

13. *Aeshna juncea* (LINNAEUS, 1758)　ルリボシヤンマ
飯能市天覧山雨乞池：2幼虫, 6.VII.1984, 松木和雄

14. *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus* OGUMA, 1915　クロスジギンヤンマ
飯能市天覧山雨乞池：1幼虫, 6.VII.1984, 松木和雄

V. CORDULIIDAE　エゾトンボ科

15. *Somatochlora uchidai*, FORSTER, 1909　タカネトンボ
飯能市天覧山雨乞池：2羽化殻（1♂1♀），6.VII.1984, 松木和雄

VI. LIBELLULIDAE　トンボ科

16. *Lyriothemis pachygastra* (SELYS, 1878)　ハラビロトンボ
飯能市天覧山：1♂1♀, 6.VII.1984, 松木和雄

17. *Sympetrum pedemontanum elatum* (SELYS, 1872)　ミヤマアカネ
秩父郡横瀬町芦ケ久保：1♀, 12.VIII.1984, 松木和雄

18. *Sympetrum eroticum eroticum* (SELYS, 1883)　マユタテアカネ
飯能市宮沢湖：1♂, 13.VIII.1984, 松木和雄

19. *Sympetrum parvulum* (BARTENEF, 1912)　ヒメアカネ
飯能市宮沢湖：1♂, 13.VIII.1984, 松木和雄

20. *Sympetrum speciosum speciosum*, OGUMA, 1915　ネキトンボ
飯能市天覧山雨乞池：6幼虫, 6.VII.1984, 松木和雄

21. *Pseudothemis zonata* BURMEISTER, 1839　コシアキトンボ
岩槻市岩槻公園：21羽化殻, 16.VII.1984, 伊藤智

（まつき かずお
〒274 船橋市飯山満町 3-1575-14）

【訂正】

■ 寄せ蛾記71号　p. 1623-1629. 上原市郎：埼玉県浦和市秋ケ瀬で記録したトンボ

p. 1623, 左欄5行目：いことが皺けきた。　→　いことが確認できた。
同,　同19行目：御教授で　→　ご教示で
同,　同33行目：16♂8♀（全て成　→　16♂8♀（全て未成
同, 右欄3行目：目撃でかなかった。　→　目撃できなかった。
同,　同30行目：ヤンマの方に機　→　ヤンマの方に気
同,　同35行目：いずれもどこからか　→　いずれもどこかから
p. 1624, 左欄18行目：ネアカヤン　→　ネアカヨシヤン
同,　同42行目：♀だった。　→　♂だった。
p. 1625, 左欄3行目：た。また，ちょど　→　た。また，ちょうど
同, 右欄5行目：1時間近くも　→　1時間近くにも
p. 1626, 左欄29行目：この点の関して　→　関して　を削除
同,　同47行目：47.5㎜老熟　→　老熟　を削除
同,　同48行目：43.5㎜老熟　→　老熟　を削除
同, 右欄36行目：顔のから見る　→　顔の正面から見る
p. 1627, 左欄17行目：テレトリー　→　テリトリー
同,　同26行目：結局他のヤは執着　→　結局他のヤンマは目撃できず，群飛は見られなかった。ギンヤンマは未発生のようだったのでもう少し各々の池に執着
同, 右欄6行目：容易でなかろうか。　→　容易ではなかろう。
同,　同21行目：現実にできるに　→　現実にできるの
同,　同38行目：当然であろう　→　当然である
p. 1628, 左欄32行目：86夏に　→　86頁に
同,　同40行目：大型で，根　→　大型で翅の根
同,　同43行目：とも思ったにだが　→　とも思ったのだが
同,　同44行目：追尾していた。　→　追飛していた。
同, 右欄10行目：間ということなので　→　間の差であり東京都の記録そのものも誤差1・2分間ということなので
p. 1629, 左欄12行目：黄昏活動性のヤンマ3種　→　黄昏活動性のヤンマ3種の記録

■ 寄せ蛾記71号　p. 1643-1645. 上原市郎：千葉県野田市とその隣接地域で記録したトンボ

p. 1643, 左欄13行目：1991年初めて　→　1991年に初めて
同,　同24行目：小山：　→　小山：1♂1♀
同, 右欄22行目：舟形　→　船形（以降全て舟→船）
同,　同23行目：差以内沼　→　さんない沼
p. 1644, 右欄21行目：這入るのからくに　→　這入るので楽に
同,　同24行目：の160項に　→　の160頁に
p. 1645, 右欄36行目：松本和雄　→　松木和雄

■ 寄せ蛾記71号　p. 1657-1658. 上原市郎：東京都練馬区練馬及びその周辺で出会った虫たちの想い出

p. 1657, 左欄33行目：の奥ではヒラク　→　の奥ではヒラタク
同, 右欄39行目：しい掎麗な　→　しい綺麗な
同,　同40行目：その数を減いて　→　その数を減じて
p. 1658, 右欄36行目：いた頃は　→　いた頃の夏休みは

毛呂山町及び周辺地域における甲虫の記録

吉越　肇

このたび会員の一人で双翅目の大碩学，玉木長寿氏から御自宅のある埼玉県入間郡毛呂山町周辺で採集されてきた甲虫標本をお預かりした。この場をかりてその記録を報告させていただく次第である。なお採集者は断りの無い限り玉木氏御自身あり，以下の記録については，同一採集地は地名を繰り返さず，"；"でつないで連記している。また，1993年７月現在，標本は筆者が保管している。

Cicindelidae　ハンミョウ科

Cicindela japana Motschulsky　ニワハンミョウ
毛呂山町大谷木：1983年５月22日，１♂；1983年５月27日，１♂

Carabidae　オサムシ科

Carabus albrechti esakianus Nakane
エサキオサムシ
越生町大高取山：1975年５月11日，１♂；1975年６月８日，１♀

Carabus insulicola Chaudoir　アオオサムシ
毛呂山町前久保：1974年９月，１♂．毛呂山町箕和田：1975年６月７日，１♀；1975年６月21日，１♂１♀

Leptocarabus procerulus Chaudoir
クロナガオサムシ
毛呂山町箕和田：1975年６月21日，３♂．毛呂山町前久保：1975年６月11日，１♀；1975年10月20日，１♀

Damaster blaptoides oxuroides Schaum
ヒメマイマイカブリ
毛呂山町前久保：1975年５月７日，１♀；1975年５月28日，２♂

Campalita chinense Kirby
エゾカタビロオサムシ
坂戸市（坂戸駅構内），１♀

Histeridae　エンマムシ科

Saprinus speciosus Erichson　ルリエンマムシ
毛呂山町前久保：1975年８月25日，1 ex.（腐肉トラップ）

Merohister jekeli Maruseul　エンマムシ
毛呂山町前久保：1975年８月29日，1 ex.（腐肉トラップ）

Cerambycidae　カミキリムシ科

Prionus insularis Motschulsky
ノコギリカミキリ
鳩山村小用：1975年８月３日，1 ex.．毛呂山町前久保：1975年８月21日，1 ex.

Arhopalus rusticus Linne　ムナクボカミキリ
毛呂山町川角～武州長瀬（電車々中）：1976年７月21日，1 ex.

Spondylis buprestoides Linne　クロカミキリ
毛呂山町：1 ex.

Corymbia succedanea Lewis
アカハナカミキリ
毛呂山町権現堂：1975年８月10日，3 ex.．毛呂山町大谷木（大平２号）：1980年７月20日，1 ex.．毛呂山町大谷木（大久保），1980年６月15日，1 ex.

Lemula decipiens Bates
キバネニセハムシハナカミキリ
毛呂山町大谷木（鎌北湖）：1977年５月２日，3 exs.

Idiostrangalia contracta Bates
ミヤマホソハナカミキリ
毛呂山町大谷木（大久保）：1980年６月15日，1 ex.．毛呂山町大谷木（大平２号）：1980年６月15日，1 ex.．毛呂山町大谷木（大久保）：1980年６月22日，2 ex.

Parastrangalis nymphura Bates
ニンフハナカミキリ
毛呂山町権現堂（字）北山：1982年６月５日，1 ex.

Marthaleptura scotodes Bates
ツヤケシハナカミキリ
毛呂山町大谷木（大平２号）200~210m：1980年６月29日，1 ex.

Leptura dimorpha Bates　クロハナカミキリ
毛呂山町岩井（重殿）：1979年５月20日，１♂１♀；1980年５月19日，１♀

Leptura ochraceofasciata Motshulsky
ヨツスジハナカミキリ
毛呂山町大谷木（大平2号）：1980年6月22日, 2 ex.

Leptura arcuata Panzer　ヤツボシハナカミキリ
毛呂山町箕和田：1977年6月5日, 1 ex.
＊ subsp. *tsumagurohana* Ohbayashi とされるもの

Megaleptra regalis Bates
オオヨツスジハナカミキリ
毛呂山町大谷木（大平2号）：1980年7月20日, 1 ex.
＊低地における記録として注目すべきである（写真）

Mallambyx raddei Blessig　ミヤマカミキリ
毛呂山町箕和田（灯火）：2 ex.

Pseudaeolesthes chrysothrix Bates
キマダラカミキリ
川越市下赤坂：1982年6月19日, 1 ex.

Xylotrechus chinensis Chevrolat
トラカミキリ
毛呂山町沢田：1975年8月10日, 1 ex.. 毛呂山町大谷木：1980年8月24日, 1 ex.

Cyrtoclytu scaproides Bates
キスジトラカミキリ
毛呂山町大谷木：1980年6月15日, 1 ex.

Grammographus notabilis Pascoe
キイロトラカミキリ
東松山市：1977年5月, 1 ex.,玉木浩一郎採集. 毛呂山町前久保：1980年6月24日, 1 ex.

Rhaphuma japonica Chevrolat
エグリトラカミキリ
毛呂山町箕和田：1975年6月15日, 2 ex.；1980年6月, 1 ex.

Rhaphuma xenisca Bates　ホソトラカミキリ
毛呂山町大谷木（大平2号）250~260m：1980年6月15日, 1 ex.；1980年6月22日, 2 ex.

Purpuricenus temminckii Guerin-Meneville
ベニカミキリ
毛呂山町大久保：1980年6月15日, 2 ex.；1980年6月22日, 2 ex.

Psacothea hilaris Pascoe　キボシカミキリ
毛呂山町沢田：1975年8月10日, 1 ex.. 毛呂山町前久保：1975年8月22日, 1 ex.；1975年8月27日, 2 ex.

Batocera lineolata Chevrolat
シロスジカミキリ
毛呂山町前久保：1975年6月16日, 1 ex.

Anoplophora malasiaca Thomson
ゴマダラカミキリ
毛呂山町岩井：1980年6月24日, 1 ex.

Mesosa longipennis Bates
ナガゴマフカミキリ
毛呂山町阿諏訪2区：1978年7月9日, 3 ex.

Mesosa hirsuta Bates
カタシロゴマフカミキリ
毛呂山町箕和田：1975年8月3日, 2 ex.；1975年8月9日, 1 ex.；1975年8月9日, 1 ex.. 毛呂山町阿諏訪2区：1978年7月9日, 3 ex.

Monochamus subfasciatus Bates
ヒメヒゲナガカミキリ
毛呂山町箕和田：1977年6月5日, 1 ex.. 毛呂山町大谷木, 1981年7月6日, 1 ex.

Rhodopina lewisii Bates
セミスジコブヒゲカミキリ
毛呂山町箕和田：1977年6月5日, 1♀（古田久子 採集）

Pterophia caudata Bates
トガリシロオビサビカミキリ
毛呂山町岩井（重殿）：1980年6月28日, 1 ex.

Pterophia zonata Bates　アトジロサビカミキリ
毛呂山町前久保：1980年6月19日，1 ex..
鳩山村小用，1975年8月3日，1 ex.

Oberea japonica Thunberg　リンゴカミキリ
毛呂山町大谷木（鳥岳）：1985年7月14日，1 ex.. 毛呂山町大谷木（亀石）：1985年7月14日，1 ex.

Oberea hebescens Bates　ヒメリンゴカミキリ
毛呂山町大谷木：1983年5月29日，1 ex.

Nupserha marginella Bates
ヘリグロリンゴカミキリ
毛呂山町大谷木（大久保）：1980年6月15日，1 ex.

Phytoecia rufiventris Gautier des Cottes
キクスイカミキリ
毛呂山町岩井（重殿）：1979年6月24日，1 ex.. 毛呂山町岩井：1982年6月5日，1 ex.

Glenea relicta Pascoe　シラホシカミキリ
毛呂山町大谷木：1979年6月24日，1 ex..
毛呂山町箕和田：1981年6月21日，1 ex.

Epiglenea comes Bates　ヨツキボシカミキリ
毛呂山町箕和田：1980年6月，1 ex.

Anthribidae　ヒゲナガゾウムシ科

Platystomus sellatus Roelofs
シロヒゲナガゾウムシ
毛呂山町箕和田：1975年8月14日，1 ex.

Tropideres flabellicornis Scharp
シリジロヒゲナガゾウムシ
毛呂山町箕和田：1977年6月5日，1 ex.

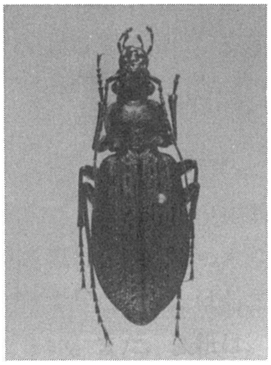
（よしこし はじめ
〒336 浦和市高砂 3-14-9-402）

アカガネオサムシを伊奈町で採集

吉越　肇

アカガネオサムシ（*Carabus granulatus telluris* Linne）が埼玉県浦和市で発見されて6年になる[1)]。その後川口市からも記録されたが[2)]，今のところ県下における産地は見沼の周囲にのみ知られているようである。その後筆者は次のように伊奈町でも本種を採集しているので報告しておく。

1♀；　埼玉県北足立郡伊奈町丸ノ内，
1989年8月13日，吉越肇　採集（写真）



知人の車で夜8時ごろ現地を通りかかったとき，水銀灯の下を横切る，アオオサムシにしてはやや小型な歩行虫の影をみとめとりおさえたところ本種であった。

ところで，本州において本種の生息地は基本的に湿地でありこの採集地は周囲が畑であった点やや特殊とおもわれたが，その後現地の地形を観察したところ，水田が取り巻いている台地の一部であることがわかった。ここは見沼の産地とは直線距離にして10ｋｍ離れているが，両方とも大宮台地の縁部にあたり，かつてはその周辺に湿地が形成されていたと考えられる地形である。このことから，これらと共通した環境で新たな産地が発見される可能性もあると思う。

なお，当時周囲の休耕田に若干数のトラップを設置してみたが，本種を追確認できなかった。標本は筆者が保管している。

文献）

1）吉越肇（1988）：寄せ蛾記No.53，948
2）岩木晃三（1990）：寄せ蛾記No.56，1032

後記）　山崎章氏により蓮田市黒沼で多くのアカガネオサムシが得られたことは，本誌.70に述べられているとおりである。本報告は接近した時期に投稿されたため，不適当な表現となっている部分がある事をおことわりしたい。

（よしこし はじめ
〒336　浦和市高砂 3-14-9-402）

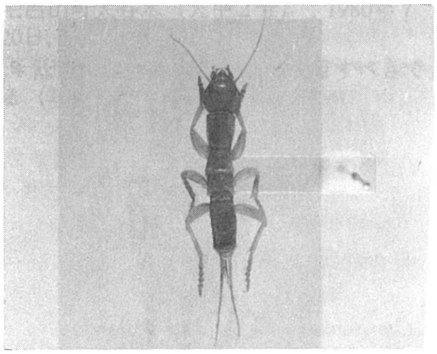
ガロアムシの生態，一知見

吉越　肇

ガロアムシの生態について筆者は多くを知らないが，冬季に朽ち木より採集したことがあるので報告しておきたい。

1 ex.；　埼玉県秩父市坊平，
　　1988年11月20日，吉越採集

オサムシを採集するすがら道路脇の松の朽ち木（直径20cmほど）を崩したところ，中から顔をのぞかせたものである。



余談だが，頭の部分を見てムカデを掘り出したものと勘違いした記憶がある。この個体（写真，雌雄未同定）は採集された状況から考えると，越冬していた可能性もあるが，どなたかご意見を聞かせていただければ幸いである。なお，標本は筆者が保管している。

（よしこし はじめ
〒336　浦和市高砂 3-14-9-402）

板橋区の甲虫4題

吉越　肇

埼玉県に隣接する東京板橋区の北部は，荒川と新河岸川が形成した低湿地に工場や人家が密集し，一部の小面積の公園，緑地を除き現在ではかなり自然度の低い地域となっている。区では環境調査の一環として，今まで2度にわたり昆虫類等の生息調査を実施しているが[1)2)]，筆者自身が同地区内，坂下にある事業所に勤務するかたわら確認することができた若干の甲虫について述べてみたい。

1．ヒメカンショコガネ
（*Apogonia amida* Lewis）

文献1)では成増3丁目付近における1958年の2例があげられているが，次のように最近の生息を確認している。

1 ex.　；板橋区坂下3丁目，1987年9月，吉越採集
1 ex.　；同　　上　　，1992年6月30日，吉越採集

いずれも事業所の建物の周囲で死骸を拾った。夜間燈火に飛来したものだろう。

2．ノコギリクワガタ
（*Prosopocoilus inclinatus* Motschulsky）

文献（1958年及び1969年，成増3丁目）[1)]以後，最近の記録として次の2例をあげる。

1♂；板橋区四葉，1992年8月13日，尾崎正彦採集
1♂；　同　上　，1992年8月22日，尾崎正彦採集

3．シロテンハナムグリ
（*Protaetia orientalis* Gory et Perchelon）

夏期に出現し飛行中の個体をしばしば目撃するほか，秋口には庭先のイチジクの実に来襲しているのが見られる。

ところでいつも不思議に思うのは，これらの発生する環境のことである。一般にハナムグリ類の幼虫は腐植質を餌としているが，腐用土を形成するような林地などはこの近傍に無いのである。

菊栽培用の腐用土などを利用している可能性も否定しきれないが，みかける個体数の多さはそれだけでは説明がつかないようにも思える。それでは，意外と遠くから飛んできているとは考えられないだろうか？　やりきれないほど暑いアスファルトの反射熱の中を，元気にブンブンと飛びまわる彼らを見ているとそう想像したくなってくるのだが。

3 ex.（1 ex.は緑色タイプ）；
板橋区坂下3丁目，1986年9月4日，吉越採集

4．ヒラタクワガタ
（*Serrognathus platymelus* E.Saunders）

おそらく板橋区内では初記録である。

1♂；　板橋区四葉，1993年7月13日，尾崎正彦採集

上記のうち，ヒメカンショコガネ，シロテンハナムグリ及びヒラタクワガタの標本は筆者が保管している。本稿をまとめるにあたり，クワガタのデータ及び標本を提供していただいた同僚の尾崎正彦氏に感謝したい。

文献：

1）板橋区（1986）：板橋区昆虫等実態調査
2）板橋区（1991）：板橋区昆虫等実態調査（II）

追記：冷夏の昨年，ほとんどシロテンハナムグリを見なかった。彼らにはやはりギラギラの太陽がふさわしい。

（よしこし はじめ
〒336　浦和市高砂 3-14-9-402）

寄せ蛾記72号 目次

伊藤 修四郎・玉木 長寿：群馬県赤城山山頂部のミバエ科（1）・・・・・・・・・・1671-1676
松崎 雄一：皆野町国神ート星池付近のトンボ・・・・・・・・・・・・・・・・1677-1681
新井 裕：開翅姿勢で夜を迎えるヒガシカワトンボとミヤマカワトンボ・・・・1682-1683
石塚 正彦：秩父地方におけるウラミスジシジミとハヤシミドリシジミの新産地・1684-1685
長田 志朗：1993年浦和市市街地におけるヒョウモン類等の目撃記録・・・・・・1685
牧林 功：埼玉県産ハナノミの記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1686
長田 志朗：浦和市市街地で発生したミヤマカラスアゲハの記録・・・・・・・・1686
藤多 文雄：埼玉県産マメゾウムシ科既知種目録・・・・・・・・・・・・・・・1687
藤多 文雄：埼玉県産ホソクチゾウムシ科既知種目録・・・・・・・・・・・・・1688
小堀文彦・吉越肇：埼玉県平野部におけるクロカタビロオサムシの採集例・・・・・1689
吉越 肇：嵐山町におけるベニバハナカミキリの記録・・・・・・・・・・・・・1690
渡邊 光行：浦和市東部でギンイチモンジセセリを採集・・・・・・・・・・・・1690
訂正3件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1690
星野 正博：甲虫台紙の作り方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1691
上原 市郎：埼玉県越谷市とその周辺で記録したチョウ・・・・・・・・・・・・1692-1699
萩原 昇：埼玉県東部地域の蛾類・・・その2・・・・・・・・・・・・・・・・・1700-1713
柴崎信夫・中川利勝：埼玉県産蝶類記録（3）・・・・・・・・・・・・・・・・1714-1715
埼玉県立朝霞高等学校生物部：チョウを指標とした環境調査・・・・・・・・・・1716-1725
小田 博：埼玉県産甲虫類の分布資料[6]・・・・・・・・・・・・・・・・・・1726-1731
上原 市郎：再び“カゲヤンマ”について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1732
松木 和雄：埼玉県産のトンボ数種の記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・1733
訂正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1734
吉越 肇：毛呂山町及び周辺地域における甲虫の記録・・・・・・・・・・・・・1735-1737
吉越 肇：アカガネオサムシを伊奈町で採集・・・・・・・・・・・・・・・・・1737
吉越 肇：ガロアムシの生態，一知見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1738
吉越 肇：板橋区の甲虫4題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1738
会報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1739-1740
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1740
会員名簿の追加・訂正など　（付録，ページ数なし）

（埼玉昆虫談話会，1994年6月30日，70pp.）